昭和54年3月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

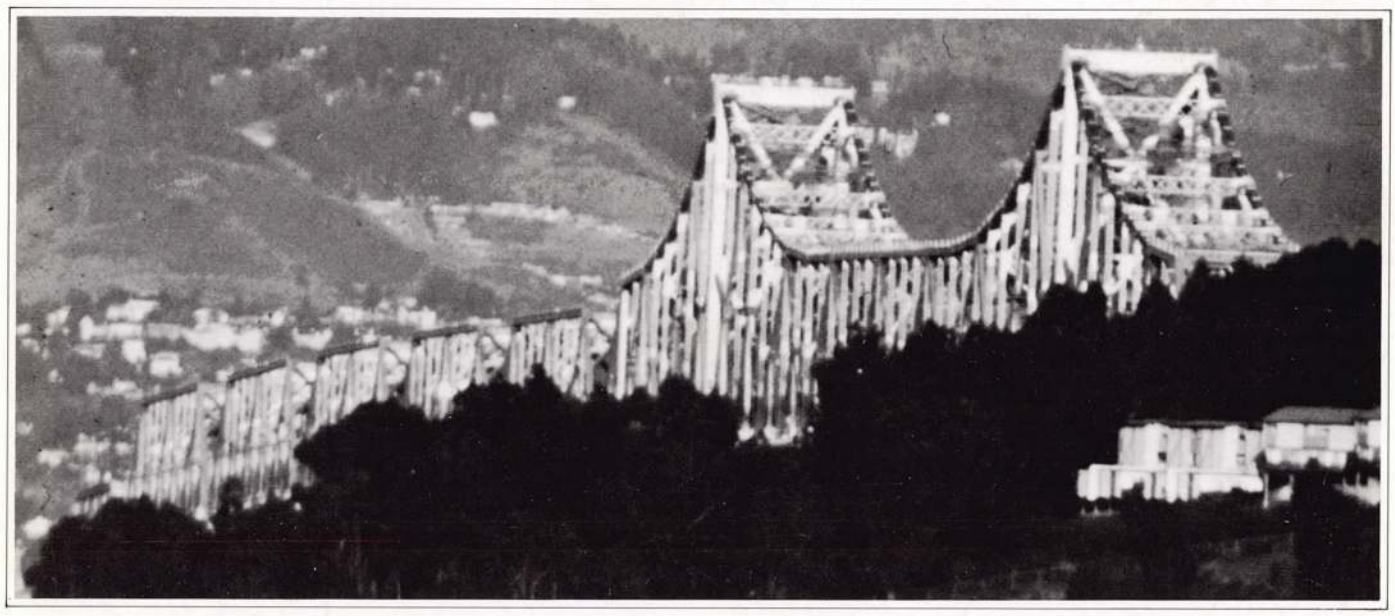
建築と社会

3

1979

VOLUME-60　NO.684

特集・商業空間



ARCHITECTURE AND SOCIETY

日本建築協会

National



新しいひかりハイカライトで照明用電力を低減

ハイカライトは落ちついた
あたたかみのある光色、しかも
色を鮮明に見せる放電灯タイプ
の新光源です。明るさと経済性にすぐれ
た高圧ナトリウム灯の技術を白熱電球の分野にまで広げ
ました。白熱電球にくらべて効率は約3倍、寿命は約9
倍に。(当社比) 照明設計に新しい可能性がひらけます。

●落ちついた光色「高演色形」
白熱電球と同様な親しみのある、あたたかい光色で肌色も美し
く見せます。屋内の商業空
間におすすめしたいランプです。(色
温度2500K、平均演色評価数Ra85)

●アイキャッチャー効果のすぐれた「高彩度形」
照明対象物の色を際立たせ、華やいだ雰囲気をつくる光です。
看板照明、ディスプレイ照明、壁面照明などにおすすめします。
(色温度2800K、平均演色評価数Ra78)



●新形放電灯ハイカライトは、150ワットタイプが6品種そろっています。専用安定器でご使用ください。●高演色形…透明形K-HICA150・G¥22,500、拡散形K-HICA150 F・G¥23,000、リフレクタ形K-HICA150R・G¥25,000 ●高彩度形…透明形K-HICA150・H¥22,500、拡散形 K-HICA150F・H¥23,000、リフレクタ形K-HICA150R・H¥25,000

ナショナルハイカライト

●お問い合わせ、カタログのお申し込みは、パルック、ハイカライトとも——
〒569 大阪府高槻局区内 松下電器管球事業部建築と社会係まで。

商業空間に新しいひかり2つ…



新しいひかりパルックで照明の質をレベルアップ。

物の見え方を大切にしたい商業空間やオフィス環境の照明を考えるとき。光の質も吟味ください。パルック蛍光灯は色覚に関する研究から生まれた、日本最初の3波長域発光タイプ。演色性(ものの色の見え方)と明るさを両立させました。より快適な照明環境づくりにお役立てください。

●パルック蛍光灯の3つの特長——
①色がより自然に美しくくっきり見えます。②さわやかな雰囲気をつくります。③あかるさ感が大幅にアップ。



●パルック蛍光灯は、今までの器具で使用できます。全体照明はもとよりディスプレイ照明などにもおすすめします。

●パッケージは、赤、青、緑のストライプが目印です。●直管=20W ¥850、40W ¥1,400、ラピッド40W ¥1,500、高出力110W ¥3,600 ●丸形=30W ¥1,200(このほか、直管10・15・30W、丸形20・32・40Wがあります。)

パルック

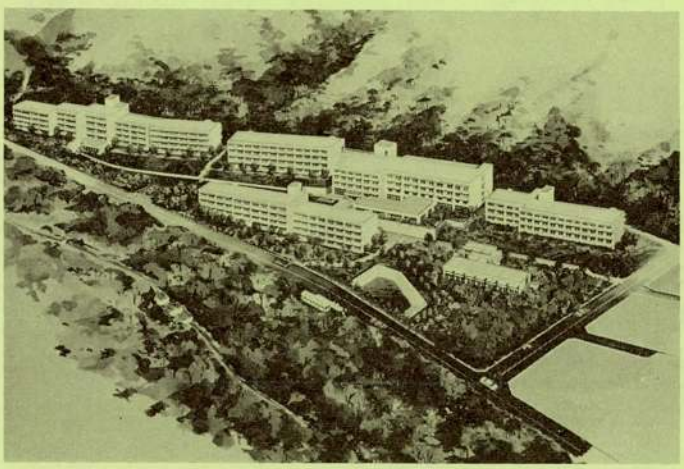
パルック
ナショナル蛍光灯

高齢者世話ホーム「宝塚・エデンの園」
特別養護老人ホーム「栄　光　園」
新築工事の見学会

自然の景観に恵まれた宝塚、ゆづり葉台に、関西ではじめての高齢者世話ホーム「宝塚・エデンの園」が誕生いたします。
建築主の社会福祉法人聖隷福祉事業団は静岡県浜松を発祥の地として、総合病院・健康診断センター・日本最大の看護短期大学・日本で最初の特別養護老人ホーム・その他各種身障者用施設・保育園などを有する、わが国屈指の総合福祉事業団です。

「宝塚・エデンの園」と名づけられたこの施設は、一般には有料老人ホームといわれますが、特に高齢者世話ホームと稱して、高齢者の生活、健康、生きがいを守るために管理、運営において特徴あるシステムがとられており、高齢者の住まいにふさわしい、おちついた人間味のある環境造りに重点がおかれ、自然公園の景観保持の基準に即して、最高で4階建の6棟に分散。また高低差のある地形を生かして日照と眺望を確保するとともに、進入路、散策路、緑地などを有効に設けて変化とまとまりのある構成がとられ、深い緑の中に白亜の建物が美しく見事な調和をみせております。
施設全体としては活気のある高齢者コミュニティーとするために、共用施設を設けて自由な出会いの場となるよう配慮されており、1階の中庭を中心にして食堂・集会室・大浴場などを開放的、連続的に配置し、2階には医療施設としての診療所が独立して設けられています。さらに専用部分（住居）については、非常警報錠システム、電磁式調理器、高齢者向バスユニットなどが設置され、高齢者の生活様式に対応し得るような間取りを基準とした、A～Fまで6種類のタイプがあります。

「特別養護老人ホーム・栄光園」はエデンの園に隣接して建てられ、1階を重症者用、2階を軽症者用に分け、機能的で明るい建物とするよう配慮がなされ、ねたきりの高齢者のため特に居室の環境、保全に重点がおかれ、ナースコールブザー・身障者用エレベータ・便所・スロープ・各所の手摺など安全面における各種の工夫がこらされております。



今回は聖隷福祉事業団事務局の特別のご厚意により、入居開始直前のご繁忙の中を見学させていただくことになりました。関西でも有数のすぐれた福祉施設の見学に、是非多数ご参加をお待ちしております。
この企画に際しては、設計事務所ゲンプランならびに㈱大林組に多大のご協力をいただきました。

日　　時　4月10日(火)集合13：20→解散16：30
集合場所　阪急電鉄・今津線「逆瀬川」駅前・目標会旗
〔参考〕交通費は各自ご負担願います。
神戸、大阪より……阪急電車・神戸線特急に乗車（10分間隔で発車）→西宮北口にて宝塚行普通電車に乗り替え→逆瀬川駅下車（大阪より所要約40分、運賃片道160円）
定　　員　30名
参加会費　会　員　400円
会員外　600円　（当日いただきます）
申　　込　今回は会誌発行遅延のため電話申込といたします。
4月3日(火)までに事業課宛に氏名・勤務先名・連絡電話番号・参加証発送先住所を明確にお申込願います。
●お詫び……すでに3月号掲載の予告をもとに往復はがきでお申込いただいた会員諸氏には深くお詫び申しあげます。
「注」集合場所より阪急バスを利用して現地に参りますが、バス発車間隔が30分に1本のため、遅刻をしないようにご参集願います。
●阪急バス逆瀬川駅前13：30発車（所要10分間位）

建築概要

所在地	宝塚市小林字西山
建築主	社会福祉法人　聖隷福祉事業団
設計監理	㈱設計事務所　ゲンプラン
施　工	㈱大林組
構造規模	エデンの園　RC造　地上4階または3階一部地下1階
	栄　光　園　RC造　地上2階一部地下1階
敷地面積	21,200.00㎡
建築面積	5,979.78㎡
延床面積	19,345.24㎡
工　期	昭和53年5月→昭和54年3月

予告・5月企画

「建築家のための〝みどり〟学習会(7)」
…奈良万葉植物園と春日奥山原始林を歩く

日　時　5月19日(土)集合10：00→解散16：30（1日コース）
ゲスト　奈良女子大学助教授　菅沼孝之氏（理学博士・植物学）
スケジュール　(1)奈良万葉植物園の見学
(2)昼食
(3)特別天然記念物春日原始林の現地見学……その他
参加会費　会員　700　円・会員外　900　円（弁当持参）
定　員　30名　●〆切　5月11日(金)
申込は早い目に往復はがきで……詳細問合せは事業課へ。
（TEL06－231－9640）

◀会員倍加にご協力お願い

大正６年３月、関西において呱々の声をあげてより62年、大阪に本拠をもつ本会では、会員各位のご協力によって機関誌「建築と社会」の発行、建築データシートハンドブック、建築技術選書刊行のほか、各種講演会、見学会、座談会、住宅展などユニークな事業活動を行っておりますが、創立62年を契機として会員倍加に努め、会勢の発展を図りたいと考えております。

本会は大正15年10月20日付をもって内務大臣より社団法人の認可を受け、現在、建設省所管の建築関係団体としては我が国で最も古い法人で、大正、昭和初期における関西の建築歴史を作ってきた団体でもありますので、この由緒ある日本建築協会育成のため、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

本号挟み込みの入会申込書ご利用の上、新入会員のご紹介を懇願いたします。

会費は下記のとおりです。

個　人　　年額　7,800円（月 650円）
会　社　　年額　１口につき　13,000円

◀「建築と社会」誌上に催しガイド新設

本誌では、建築に関する、講演会、研修会、講座、新製品、あるいは写真、絵画の展示会などの催しを、ご紹介する欄を４月号より後付頁に設けますので、ご利用下さい。

個人、団体、会社いずれも歓迎！なお、製作上の都合により、開催期日の２ヵ月以上前にご連絡下さい。(写真なども掲載します)

◀ガウディ神戸展

５月中旬開催。詳細４月号参照。

◀建築技術選書第８号「建具の知識と意匠」発刊

日本建築協会60周年記念事業の一環として刊行されている〝建築技術選書〟は「コンクリート工事の管理」(奥島正一編著)、「構造計画とやさしい力学（柱・はり編）」(須賀好富著）に引き続き、第８号として「建具の知識と意匠」(山片三郎著）が発刊されました。木製建具の図解をふんだんに使った内容で、実務家には好適の書となるものと思います。

ご講読をおすすめいたします。

なお、すでに発刊の７選書は、つぎのとおりです。

1. **茶室の話**／岡田孝男
2. **ビルの省エネルギー**／中村　猛
3. **建築とコンピューター１**／魚木晴夫
4. **都市の下水処理**／松永一成
5. **すまいの語録（ユニークなチェックポイント）**／茶谷正洋
6. **コンクリート工事の管理**／奥島正一
7. **構造計画とやさしい力学**／須賀好富

いずれも、Ａ５判、136頁～160頁、定価￥1000です。

企画：日本建築協会　発行：学芸出版社

ただし、日本建築協会会員または会員の紹介で事務局（大阪市東区北浜３－37電話06－231－9648)まで買いにこられた方に限り、１割引の 900円で頒布いたします。（送付希望の方は￥ 900＋送料（１冊につき 160円）が要ります。)

◀東京八重洲ブックセンターで「建築と社会」販売

東京方面の「建築と社会」読者のご要望に応えて、交通至便な八重洲ブックセンターで、１月号より本誌を販売しております。

八重洲ブックセンター　東京都中央区八重洲２－５－１　電03－281－1821

■日本建築協会の展示窓ご紹介

第43回展示写真
「南海電鉄 難波駅 なんばCITY」

昭和47年より、南海電鉄難波駅の改造整備建設工事がおこなわれていますが、昨年11月、同工事とあわせて建設が進められていた難波ターミナルビルのショッピングセンターが完成､「なんばＣＩＴＹ」と名づけられてオープンしました。

この「なんばCITY」は駅施設とショッピングスペースを有機的に結びつけるとともに、ファッション・文化・情報のまちとして 119の専門店をもち、バラエティーに富んだ魅力ある街づくりがなされています。

とくに、地下１階の広場には青空が見える大吹き抜け空間を設け、高さ33ｍのロケットを設置し、また、地下２階にはステージをデザインした花階段のあるイベント広場、ファンタジックなピラミッド型の噴水をもつ池など、ショッピングだけでなく、人々の安らぎとふれあいのあるユニークなスペースづくりがなされています。

なお、この第１次オープンに引き続き、昭和55年春には現在の約３倍の規模をもつショッピングセンターとなる予定で、大阪みなみの復権をめざした今後の躍進が期待されています。



▶展示期間
昭和54年２月24日より２ヵ月間（予定）
▶展示場所
京阪電鉄・地下通路
（ただし、東区北浜～淀屋橋間・北浜寄り南側ショーケース）

料金受取人払

郵便はがき

大阪東局
承認
2013

差出有効期間
昭和54年９月
30日まで
（切手不要）

5 4 1 - □ □

（受取人）
大阪市東区北浜3丁目37

社団法人 **日本建築協会**

編集委員会 行

〈キリトリ線〉

通信欄

料金受取人払

郵便はがき

大阪東局
承認
2014

差出有効期間
昭和54年９月
30日まで
（切手不要）

5 4 1 - □ □

（受取人）
大阪市東区
北浜三丁目三七

社団法人 **日本建築協会**

御中

社団法人日本建築協会 個人会員 / 団体会員 入会申込書

ふりがな	
氏名 会社名	㊞
代表者名	
生年月日 創立年月日	年　月　日
学位	資格
出身校名	校　科　年　月卒業
連絡担当者	口数　口（2口以上希望）
現住所 所在地	郵便番号 TEL（　）　局　番
勤務先	（所在地）郵便番号 （名称） TEL（　）　局　番
他会関係	建築学会・建築士会・その他（該当○印のこと）
（業種別）	官公庁　公社　設計　建設　電気　管工　設備 建材　会社営繕　学校　その他　（該当○印のこと）
（紹介者）	

上記入会申込みます。

昭和　年　月　日

〔註〕通信先を指定して下さい（自宅又は勤務先）

※黒字の処は個人、赤字の処は団体、（　）の処は個人、団体共ご記入下さい。

〈ミシン目線〉

読者の頁、ニュース欄用原稿

このハガキにて、ご自由にご感想、ご意見、注文、ニュースなどをお寄せ下されば、読者の頁またはニュース欄に掲載いたします。

氏　名

住　所　　電話

勤務先

〈キリトリ線〉

読者の頁用、ニュース用原稿募集！
右のハガキにて原稿をお寄せ下さい。

お問い合せ
〒541 大阪市東区北浜3-37
日本建築協会編集部
電話（06）231-9648番

建築と社会

©1917年創刊

通巻684号・第60集・1979

3

表紙デザイン：永田祐三

私の好きな景色 3

サンフランシスコとオークランドを結ぶベイブリッジです。洗練されたゴールデンゲイトブリッジよりもなぜか心引かれる橋です。

作品作風●

特集予告

■4月号／コンクリートのひびわれ
■5月号／日影規制
■6月号／ホテル建築と情報システム
■7月号／農村社会の変貌（仮称）

編集委員会（昭和53年度）

編集委員長	蒲田　弘
前川　陽一	＊中根　芳一
編集理事	●施工材料分科会
前川　陽一	高木　嗣郎
小林　清	＊野村　康治
井上　滉	柳生研太郎
松村　慶三	●法令分科会
今西　祥郎	＊岡田　七郎
窪田　祐	安井　市治
前野慶太郎	●作品作風小委員会
竹中　錬一	○奈良　鉄一
菅谷　健児	後藤　攻
尾亀清四郎	榊原　潤
渡辺　恵	沢田　伸
下山　丈彦	寺井　信夫
編集委員	山口　祥悟
○片倉　健雄	横尾　迪夫
●計画分科会	●投稿欄小委員会
池端　猛	○木村　康彦
稲垣　雅彦	稲毛　政信
杉本　昇	小笹　敏
谷口　康彦	関川　康
中林　浩	●広告企画小委員会
西村征一郎	○尾亀清四郎
＊藤本　尚久	安芸　洋一
山元　弘和	坂　啓智
●構造分科会	下前　裕一
井上　一朗	杉村　勝三
木本　英爾	西田　清
＊北村　俊男	平松　利一
谷尾　俊弘	岡本　弘之
●設備分科会	三原　清敬
河崎孝太郎	山田　雄祐
河津　隆之	吉田　正三
中村　正三	渡辺　恵

○印 副委員長　＊印 幹事

編集人　松井昭光
印刷　昭和54年3月20日
発行　昭和54年3月25日
発行人　吉田悦二
発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3－37
電　06－231－9648
振替口座　大阪 39975
印刷所　株式会社研文社
電　06－314－0151
大信印刷株式会社
電　06－451－7631㈹
日本写植印刷株式会社
電　06－692－3425㈹
売価　650円（送料別）

法令コーナー134
新建材紹介コーナー36
読者の頁

建築と社会ニュース

日本建築総合試験所だより
シリーズ
建築の眼

特集●

序論

各論

中国を訪ねて〈2〉
構造の頁56
設備の頁56
施工材料の頁56
月報

CONTENTS

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

ARCHITECTURE AND SOCIETY

特集・商業空間

SPECIAL FEATURES ON THE MOST RECENT TRENDS IN SHOPPING AREA

高齢者世話ホーム「宝塚・エデンの園」特別養護老人ホーム「栄光園」新築工事の見学会。予告「建築家のための"みどり"学習会(7)」…奈良万葉植物園と春日奥山原始林を歩く。会員増加にご協力お願い。「建築と社会」誌上に催しガイド新設。建築技術選書第8号「建具の知識と意匠」発刊。東京八重洲ブックセンターで「建築と社会」販売 …… 1

兵庫県都市住宅部営繕課作品20 1977～'79

兵庫県甲子園警察署　施工：阪神土木工業 …… 4
兵庫県立淡路勤労センター　施工：淡路土建 …… 8
兵庫県篠山総合庁舎　施工：曽根組 …… 12
兵庫県立播磨中央公園 たきのローンステージ　施工：原戸・中村・全建共同企業体 … 16
兵庫県立播磨中央公園 テニスコート管理棟、レストハウス　施工：神田組 …… 18
兵庫県皮革工業指導所　施工：三和建設 …… 20
兵庫県立但馬救急センター　施工：明生・川嶋・株本共同企業体 … 22
兵庫県動物管理事務所　施工：平尾工務店 …… 24
兵庫県企業庁津名臨海建設事務所　施工：行司工務店 …… 26
兵庫県フラワー・センター研修ホール　施工：高瀬組 …… 27
兵庫県都市住宅部営繕課作品スケッチブック …… 28

仮使用承認制度について（その1）/大阪府建築指導課 … 33
「エースウッド」「KGシート（長尺金属屋根用不燃断熱石こうフォームシート）」/松本英良 … 35
横浜市都心プロムナードのデザインについて/内藤惇之。マイ・フォトーパリ点描/瀬戸本淳。書評「塔」/川上貢。「都市設計のための新しいストラクチャー」/西村一朗。母子保健総合医療センター56年完成へ基本設計 … 36
駅舎再開発シリーズ－1－大阪駅改良ターミナルビル建設計画 / 植野昭雄。建設省救仁郷住宅局長との懇談会開催。財団法人大阪建築防災センター創立5周年の集い盛会裡に終わる。新建運動の新たな展開をめざして第8回大会開かれる … 38
優良断熱建材認定制度の申請状況と試験装置 … 39
歴史的集落と街路景観－6－街路網と街路景観 … 40
熱回収式給排気換気扇 / 金谷英一。持たせる / 稲村數矢
窓 / 上田宏二。　技能工待望 / 谷口尚武 … 42

商業空間

欧米の商業施設・コモンスペースの新しい動向 ……足立　孝 … 44
外国の商業空間事例 ― デ・ダルジャン/ル・テラス/クリスタルコート/ハイアット・リージェンシイ・ホテル、シティコープ・センター―ATRIUM 2例/ウォーター・タワー・プレイス/イーストリッジSC/クリスチャンサイエンスセンター/ハワイ・インターナショナル・マーケット・プレイス、キングスSC/ロアノマルム再開発/ホークカタライン計画、アーケード、ラインバーン/ノイハウザー通りのモール …… 47
最近の商業施設の設計論とその作品
なんばCITY/外海陸弘 …… 56
ロンモール布施 / 横山誠一　岩佐尚武 …… 62
商業空間の現在と将来
●アンケート――鴨居羊子/小泉康夫/田中敏之/田村春雄/福岡喜久雄/鳴海邦碩/水谷穎介/狩野忠正/竹山清明/東孝光/瀧光夫/富安秀雄/牛山勉/太田隆信/辻野純徳/山崎泰孝/遠藤剛生/吉村篤一/増田靖仁/北島道生/光安義光 … 71
●商業空間のありよう――1.都市のシンボルの創造 2.界隈空間の再生 3.建物の足元 4.交通結節点の商業核 5.ドライブインショッピング 6.定型から脱皮したニュータウンのセンター 7.ファッショナブルなもの 8.大規模店舗 …… 80

北京ひとり歩き / 王柏群 … 93
熱影響をうける高力ボルト接合部 / 巽昭夫 … 95
設備施工上の地震対策（その4）―消火設備 / 於田和光 … 96
新しい真空コンクリート工法による床スラブの施工 / 和美広喜 … 97
日本建築協会月間の動き（昭和54年1月分） … 98

兵庫県甲子園警察署

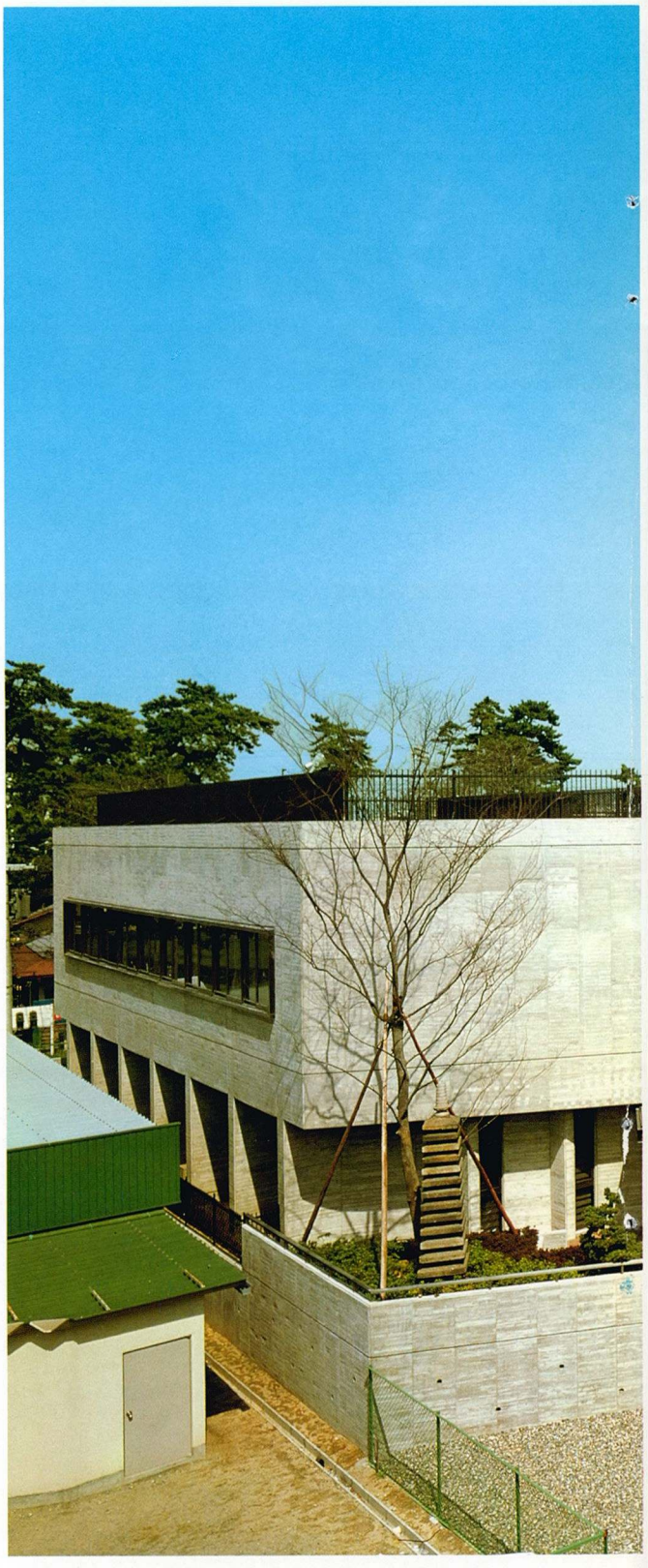
施工　阪神土木工業

甲子園球場として全国に名高いこの地は、大阪のベッドタウンとしてスプロールしてから中産階級の持家が建ち並び、国道43号線以南にはその後レジャー施設が開発され、春から夏にかけては、阪神間のマス・レジャーの場としての地位を確保してきている。一方、国道43号線は、その利便さとは裏腹にここの景観を汚し、南北軸のレジャー動線を分断しているため、車と人の道は混在している。生活の場であるはずのベッドタウンも、今や都市化の中で生活空間が侵蝕され、路上に散在されたおびただしい自転車や駅前にわずかに取り残された松林が、ちぐはぐさを物語っている。

その甲子園球場の斜め向いに位置するこの兵庫県甲子園警察署は、球場を初め多くのレジャー施設の警備が不定期ながらも大きな職務になっていて、ここを訪ずれる人々が安心してレジャーを楽しめるためのシンボルとして、また従来の警察のイメージから脱して気軽に立ち寄れる市民のものとして、さらには煩雑な街並の中に少しはリッチな感じのものとして、デザインされた。しかし外来関係と事務関係とは警察の特殊性から厳密に区分されていて、そこでの解決方法は、丁度銀行設計に通ずるものがある。ここでは外来部門の動線と空間を、コンクリートの可塑性とガラスの内外の連続性をフルに利用して、「自由な空間」を追求してみた。一つの自由な空間が人々の心を解放し、気軽さと落着きをもたらすとすれば、この建物にとって、またこの喧噪な街にとっても適切な解答かもしれない。

南面にはここ数年の内に阪神高速道路がさまざまな問題をかかえて建設される。その緩衝地帯として、丁度この庁舎の前面に植樹がされることになっている。そのときはもう少し快適な“都市環境”として出発することだろう。







左　北東よりみる
右　南面外観

撮影　東出清彦

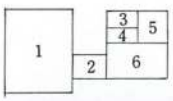

兵庫県甲子園警察署

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所 在 地　西宮市甲子園７番町－９
敷地面積　1991.08㎡
建築面積　 790.49㎡
延床面積　3037.78㎡
構造規模　ＲＣ、ＢＩ、４Ｆ
工　　期　昭和52年12月～昭和53年11月



配置図・1階平面図

1．玄関ポーチ
2．風除室
3．客溜り
4．公廨事務
5．会計事務室
6．署長室
7．交通指導室
8．当直室
9．印刷室
10．宿直室
11．食堂・喫茶
12．厨房
13．ドライエリヤ
14．十三重ノ塔

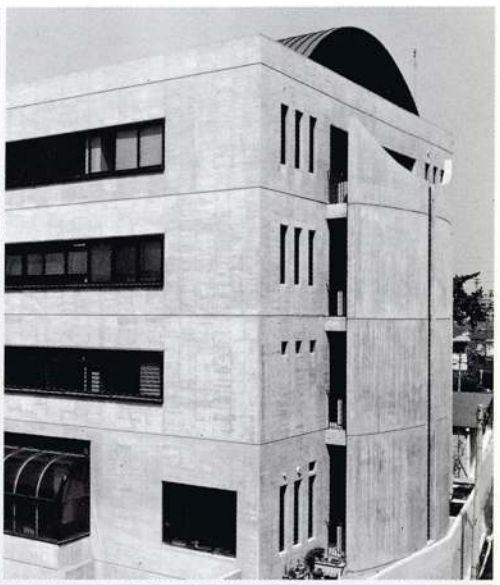


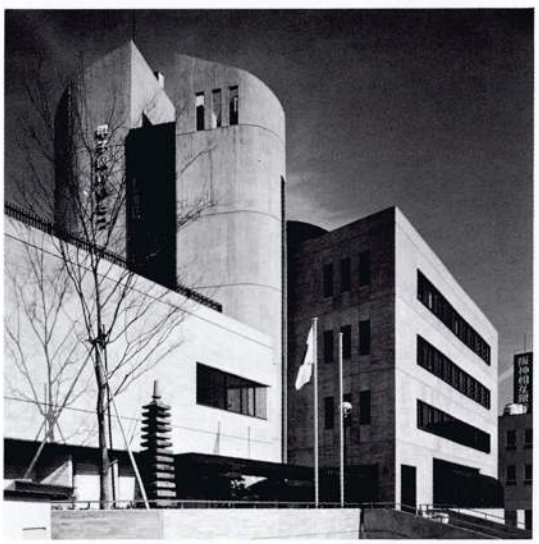
1．正面アプローチ
2．南西よりみる
3．東面ディテール
4．階段室見上げ
5．東面外観
6．客溜りと公廨

2.3.4.撮影 東洋クラフト











電　気	日光電気工事	神戸市東灘区魚崎西町3-5-31 TEL 078-811-2301	空　調	竹中工業所	西宮市甲子園6番町19号 TEL 0798-48-0121
戈、土工	吉岡組	西宮市与古道町6-17 TEL 0798-23-3727	型　枠	安武組	西宮市上大市2-17-11 TEL 0798-51-0639
鉄　骨	新栄工業	伊丹市東有岡3-160 TEL 0727-82-0601	生コンクリート	高橋商店	大阪市西区江戸堀3-1-31 TEL 06-443-6551
ブロック	小林ブロック	枚方市杉山手2-11-8 TEL 0720-58-5806	防　水	日建瀝青工業	神戸市兵庫区水木通8-2-7 TEL 078-576-0851
石	共栄テラゾ工業所	大阪市西淀川区竹島2-5-29 TEL 06-471-2181	タイル	阪神タイル商会	神戸市垂水区霞ヶ丘7-5-17 TEL 078-705-0662
造　作	山下工務店	神戸市東灘区岩屋北町1-5-7 TEL 078-881-0353	木材・建材	田和商店	西宮市甲子園浦風町11-3 TEL 0798-23-3301
屋根・銅	武長鈑金工作所	西宮市小松南町2-4-7 TEL 0798-41-0478	制作金物	鈴木製作所	東大阪市荒本205-1 TEL 06-782-3773
左　官	古川左官工業	守口市藤田町4-170 TEL 06-901-5937	木製建具	鎌田興業	大阪市西区南堀江立花通2-56 TEL 06-531-6641
サッシュ	岩住アルミサッシ	大阪市西淀川区千舟2-10-21 TEL 06-471-5123	硝　子	キムラ硝子建材	大阪市東区内平野町２-28 TEL 06-941-4181
塗　装	中村塗装	大阪市港区弁天4-12-12 TEL 06-574-1014	内装天井軽鉄	マルコマ工事	大阪市西区南堀江通2-48 TEL 06-538-7221
家　具	さんゆう	伊丹市安堂寺町1-11 TEL 0727-79-8803	流司、浴槽	濱田	大阪市西区江戸堀1-7-13 TEL 06-443-0971



兵庫県立淡路勤労センター

施工　淡路土建

兵庫県が提唱している『ＣＳＲ』活動は、若い人たちが中心となって地域の人々と手をたずさえて、文化（Culture）スポーツ（Sports）レクリエーション（Recreation）活動を積極的にすすめ主体的に心豊かな人生を創造してもらおうとするものでスポーツ施設＋文化施設である淡路勤労センターの設計にあたっても『勤労青年ＣＳＲ淡路委員会』のメンバー（50名）の人たちと一諸に、類似施設の設置状況などを考慮し、目的性格を明らかにした多目的ホールを含めたこの施設の基本計画から実施設計へと作業をすすめていった。敷地は淡路島の中心都市、洲本市の郊外にある洲本市営野球場に隣接しており周辺には陸上競技場、テニスコート、ゴルフ場などのスポーツ施設があり、みかんの実る山すそには大小の池が点在する自然に恵まれた環境に立地しており、風致地区に指定されている。各ブロックがそれぞれの機能に応じて特有の階高を持つ建物の外壁には、淡い色調のシャモットタイルと、濃いタイルペイント塗とし、自然との対比的調和を保つように心がけるとともに、野球場のゲームに支障がないように考慮した。施設の利用機能は、スポーツ（体育館）、講演会、演劇、音楽会、会議、美術展、茶華道、陶芸実習など多様なため、動の体育施設と静のホールをできるだけ離し　、その中央に玄関を配置したため正門から玄関までの進入路が長



くなるので途中に歩行者のための散策広場を設けるとともに緑の植樹帯の透導で利用者が自然に引き込まれるよう計画した。内部においては、とくにホールの舞台照明設備の充実、広い舞台の採用でコンパクトホールとしての内容の充実に努め、冷房については利用度の不規則なこのホールを一般系統と分けパッケージ型空調機を設置した。



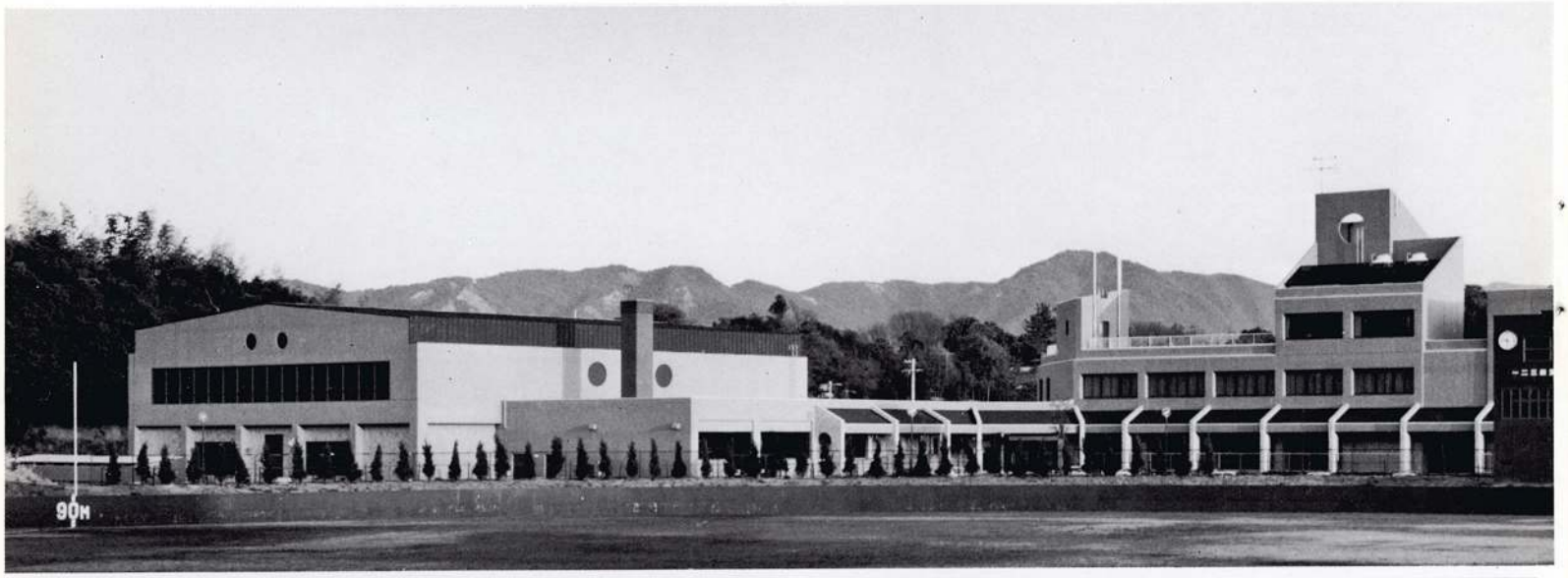




1
2
3
4
5

1．東南よりみる
2．玄関へのアプローチ
3．北西よりみる
4．正面西側外観
5．北面玄関附近をみる

撮影　東出清彦

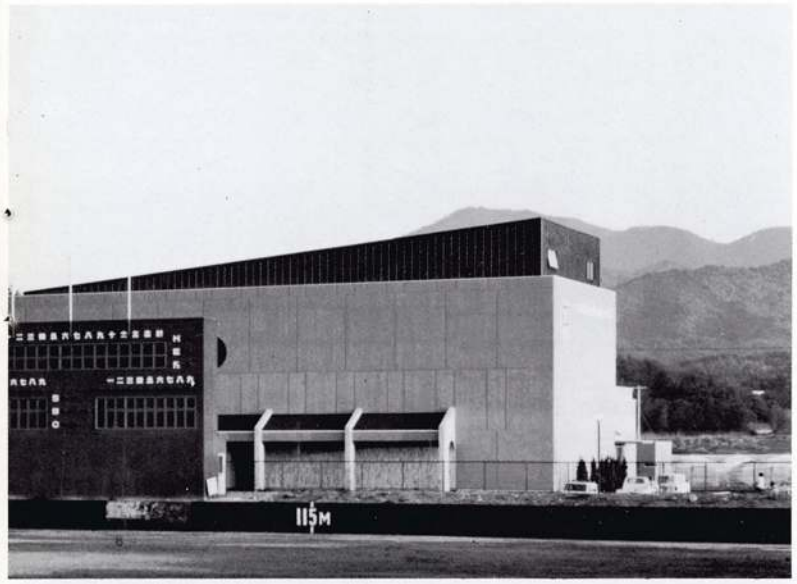

90M

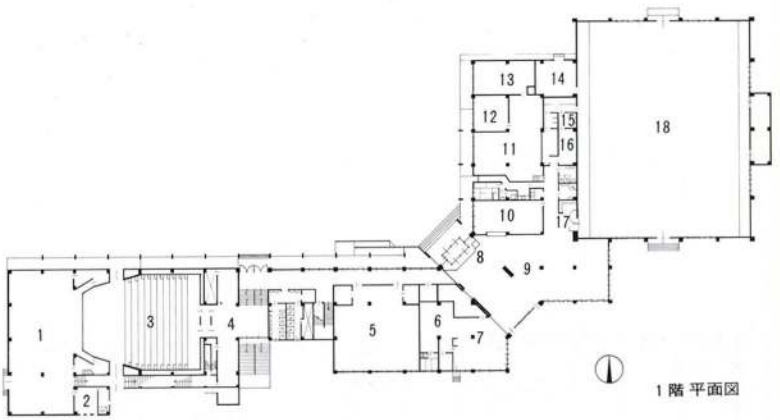






設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所 在 地　洲本市宇原
敷地面積　12,100㎡
建築面積　 2,940㎡
延床面積　 3,562㎡
構造規模　ＲＣ、３Ｆ
工　　期　昭和53年１月～昭和54年２月





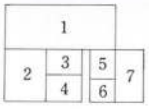
1階平面図

1．舞台
2．控室
3．ホール
4．ホワイエ
5．大会議室
6．厨房
7．喫茶
8．玄関
9．ロビー
10．事務室
11．機械室
12．ボイラー室
13．電気室
14．発電気室
15．シャワー室
16．更衣室
17．下足
18．体育館







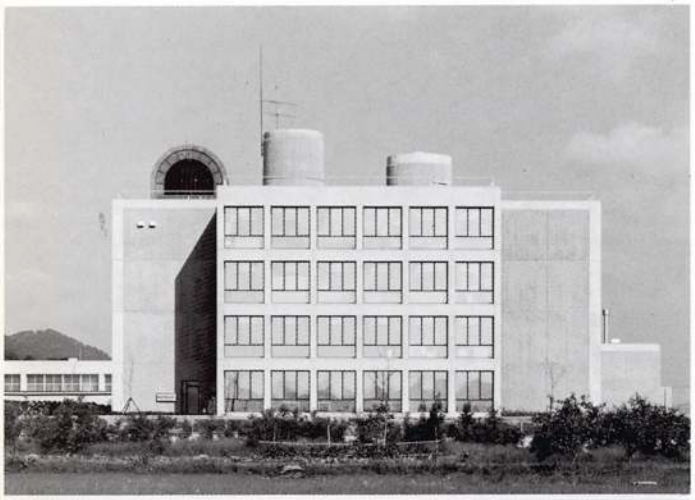


1．北側外観
2．回廊
3．玄関ロビー
4．ロビー
5．体育館
6．ホール
7．ホワイエ

兵庫県篠山総合庁舎

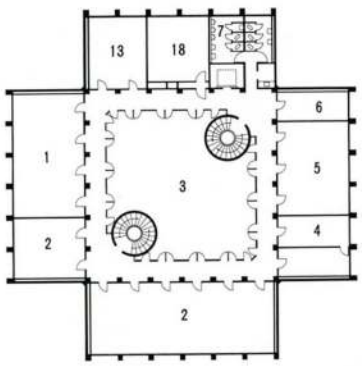
施工　曽根組

この庁舎には、篠山地区にある８つの兵庫県の地方機関の事務所や分室がはいっている。県の機関が集中しているため、災害が発生した場合には、この庁舎が災害対策本部になるであろうということと、この敷地が古い街並で知られている篠山の町からかなり離れているということから、町内であれば当然大きい注意を払わねばならないであろう街並とのデザインの調和などということにはあまりこだわらず、耐震性を考

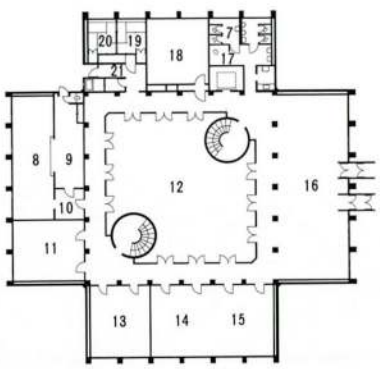








庁舎棟　２階平面図



庁舎棟　１階平面図

1．県民対話室
2．福祉事務所
3．中庭上部
4．電話交換室
5．応接室
6．記者室
7．便所
8．食堂
9．厨房
10．前室
11．入札室
12．中庭
13．会議室
14．財務事務所
15．県民局
16．入口ホール
17．身障者便所
18．機械室
19．用務員室
20．宿直室
21．通用口

配置図





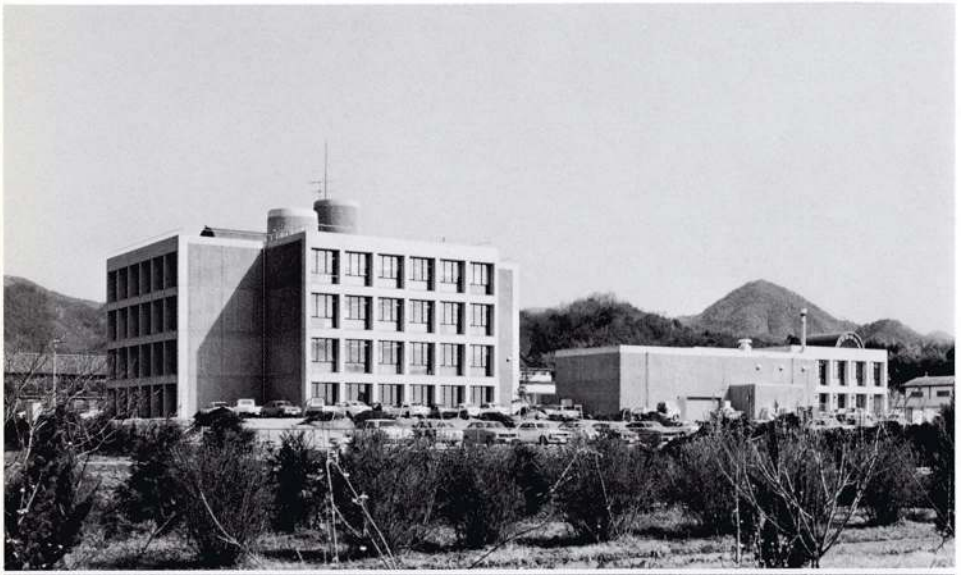
慮した構造計画を重視する形でデザインを進めていった。敷地周囲の空間の広がりや緑を享受できるよう、事務室の外部への開口はできるだけ大きくとり、腰壁や垂れ壁などは用いていない。これはまた、耐震性に大きい問題がある短柱を避けるということと、事務室のファサードをハリボテではない構造体のプロポーションでみせるということを意図したからである。水平力に対しては、十字型の平面の4隅にL型の長い壁をとることにより、解決を図った。このようにして合理的な構造計画をめざす中で、大きい中庭をとっているにもかかわらず、躯体コストを引き下げることができた。また、県の施設は一般に、予算上の床面積のうち専用部分の比率が高いため、入口ホールや待合などのパブリックスペースを広くとりにくく、ゆとりのある魅力的な空間がつくりにくいというううらみがある。今回の場合は、建築の面積的な条件は同様であるが、敷地が13,000㎡と広いため、庁舎棟や保健所棟などの各棟の配置上の構成により外部空間をデザインして、内部空間の不十分さを補うことを意図した。外部は、全体としてコンクリート打放しを基調としたグレーの色調でまとめられており、各ポイントに樹木やツタなどの緑を配して、落ち着いた空間となっている。大きい壁面についてはリブ斫りとしメンテナンスフリーと手仕事の味を出すことをねらった。



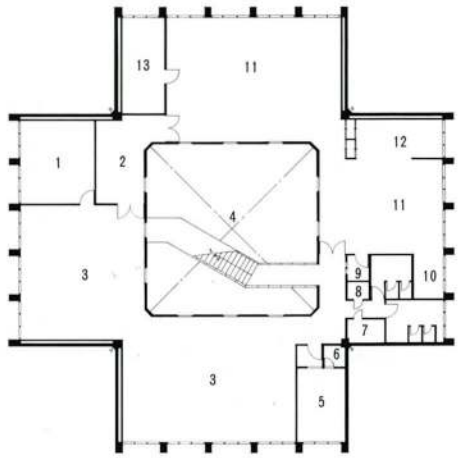
1	4
2	
3	

1．庁舎棟西面
2．庁舎棟中庭面を回廊よりみる
3．庁舎棟入口ホールと中庭
4．庁舎棟東面を保健所棟よりみる

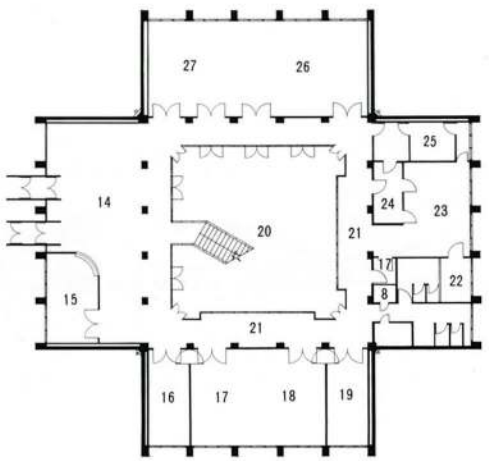
撮影　1. 高尾光画工房
2. 3. 4. 東出清彦







保健所棟 2階平面図



保健所棟 1階平面図

1. 所長室	10. 臨床	19. 衛生相談室
2. 書庫	11. 検査室	20. 中庭
3. 事務室	12. 滅菌洗浄室	21. 待合
4. 中庭上部	13. 機器分析室	22. 倉庫
5. ロッカー室	14. 入口ホール	23. X線室
6. シャワー室	15. 受付兼予診室	24. 操作室
7. PS	16. 処置室	25. 暗室
8. 汚物流室	17. 母子相談室	26. 栄養室
9. カウンター	18. 診療室	27. 会議室

上：南西より庁舎棟、機械棟、保健所棟をみる
下：庁舎棟会議室より保健所棟をみる

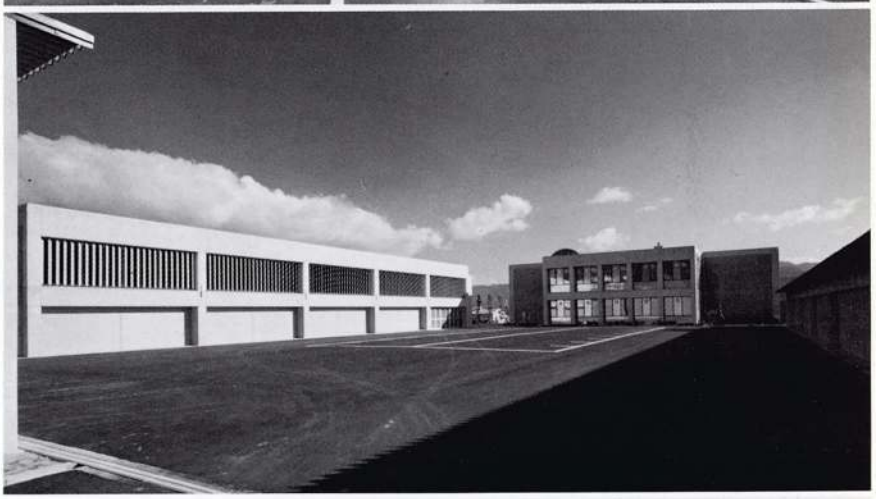
電気	明和工務店	神戸市生田区山手通5-17-6 TEL 078-351-0921	機械	中央工業	神戸市灘区城内通4-3-4 TEL 078-871-1551
昇降機	日立エレベータサービス	大阪市北区西天満4-8-17 TEL 06-361-9851	杭	河合産業	高砂市伊保町伊保崎 TEL 07944-7-3181
コンクリート	北浦商事	姫路市米田町15-1 TEL 0798-34-3425	タイル	三洋タイル商会	赤穂市加里屋466 TEL 07914-2-2621
壁・アルキャスト	建装センター	姫路市今宿五反長1522-99 TEL 0792-98-4332	サッシュ	岩住サッシ	大阪市淀川区西中島6-7-8 TEL 06-305-2011
硝子	田村硝子	門真市大字三番1097-4 TEL 06-909-7534	シャッター	三和シャッター工業	加古川市加古川本町字番造186 TEL 0794-73-2433
ステンレス製手摺	広栄技研システム	姫路市東今宿2017 TEL 0792-94-2022	塗装	姫路塗装	姫路市今宿五反長1522-156 TEL 0792-94-3112
自動ドアー	姫路ナブコ	姫路市飾磨区三宅字西浦291 TEL 0792-84-1172	内装	田代建装	加古川市新神野2-5-3 TEL 0794-38-1695
内装	タカハシ装飾	姫路市上久長町19-2 TEL 0792-22-3390	ガス	門野配管工業	神戸市長田区上池田3-7-11 TEL 078-611-2261
汚水処理	西原ネオ工業	神戸市兵庫区大開通2-3-18 TEL 078-577-1701	X線	西本産業	神戸市兵庫区三川口町1-92 TEL 078-651-2601
医療器機	宮野医療器	神戸市生田区楠町5-24-3 TEL 078-371-2121			

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
　　構造：平田建築構造研究所
所 在 地　兵庫県多紀郡篠山町郡家字練兵の坪
敷地面積　12,997.00㎡
建築面積　 2,304.913㎡
延床面積　 4,854.357㎡
構造規模　ＲＣ、4Ｆ一部Ｓ
工　　期　昭和52年12月～昭和53年９月

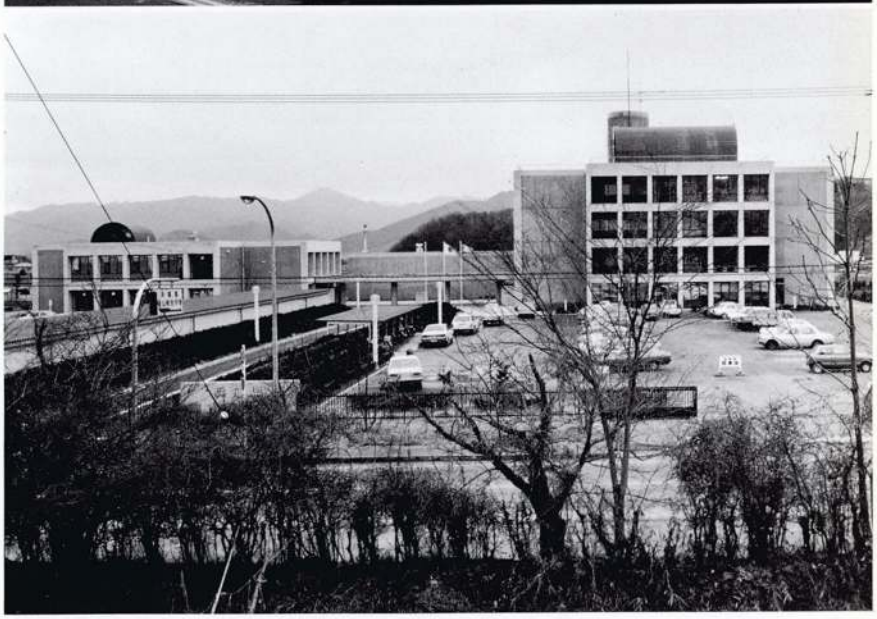












1	4
2	5
3	6

1．保健所棟待合と中庭をみる
2．保健所棟中庭
3．保健所棟入口ホール
4．保健所棟と庁舎棟渡廊下夕景
5．車庫と保健所棟
6．庁舎棟と保健所棟を北側よりみる

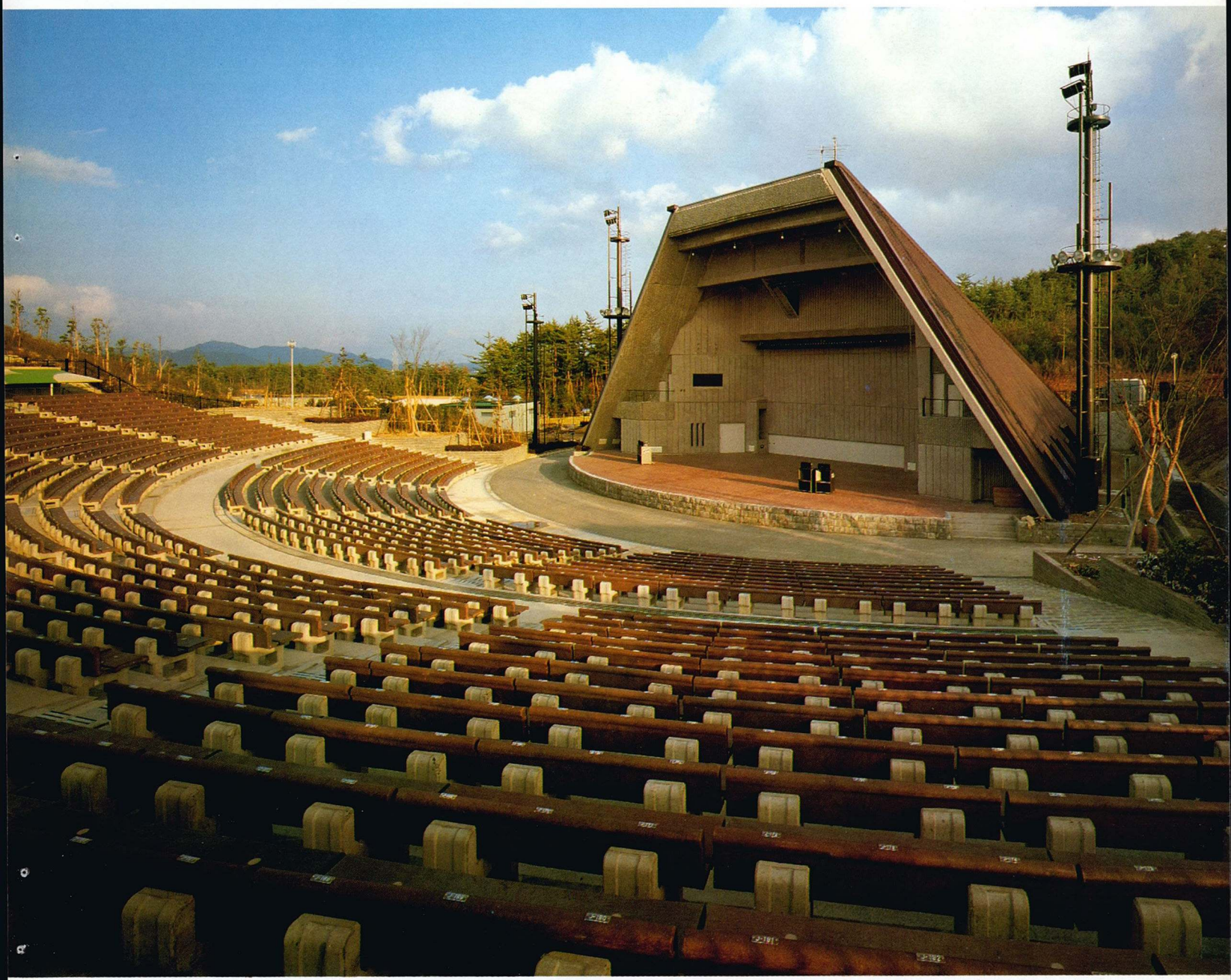


兵庫県立
播磨中央公園

たきのローンステージ

施工　原戸組・中村建設・全建開発 共同企業体

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
　　構造 和光建築事務所
所 在 地　兵庫県加東郡滝野町下滝野
敷地面積　30ha（オープン時公園全体面積）
建築面積　619.43㎡
延床面積　691.80㎡
構造規模　ＲＣ、コールテン鋼折版（ＷＰ仕上）葺、２Ｆ
工　　期　昭和52年12月～昭和53年７月



比較的雨が多く、夏の直射日光も強い、わが国での野外ステージの運営は、上演時期が春～秋に限定され、照明効果も夜間、８時以降にしか期待できないため、受電容量、雨天時の措置など使用頻度の割合に多額の投資を必要とする。採算性を民間資金ほど重視しない公共施設とはいえ、予算は限定される。そこで催し物を種々検討し、当初は音楽中心のものとして整備し、段階的に野外劇場として発展させていくことを考えた。神戸大学・前川教授の発案になり、このステージの最もユニークな設備である〝イメージ・スピーカー・システム（ステージ前面を反射面と想定した時の、虚点方向から少し遅らせた音を送ることにより残響感を高め、室内並みの高音質を提供する方式）〟により、このような考え方は、明確な骨格をえた。

ステージ全体の形は課内でアイデア・コンペを行い、前述のような考え方を象徴し、同時に自然の中に一定の秩序を与える、シンプルな形態として、メガフォンを連想させる形に落ち着いた。本来このような形と架構は、鉄骨構造あるいはシェルなどで処理したいところではあるがコスト、工期などを勘案して鉄筋コンクリート造となった。このため結果的には、施工者に多くの困難な仕事をしてもらうことになったが、現場担当者一人一人の熱意と努力で困難な問題に取り組み完成された。

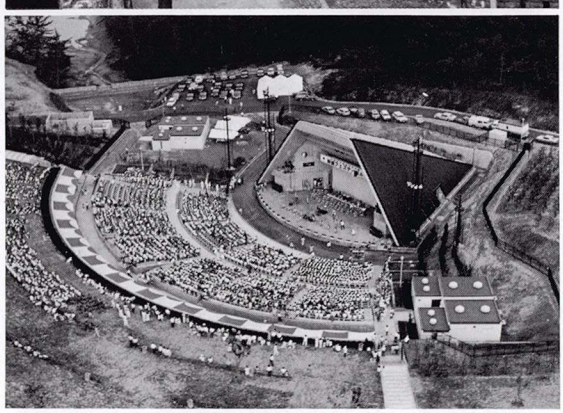
仕上材は「四季変化する公園の自然環境に素直に溶け込み、また催し物の背景として目立たないものを」と考え、コールテン鋼、コンクリート打放し、自然石といった材料が年々その特性を発揮してくれることを期待した。

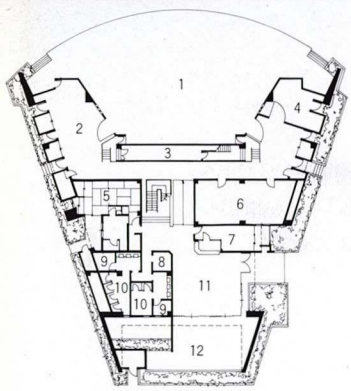
当初の限られた予算の制約の中で、将来ピンスポット、調音ブース、吊物用ハンガーなども設置し、このステージが本格的な野外劇場として整備されていくことを思い、音響装置、電源などが比較的容易にグレード・アップできるよう最少限の工夫を施した。ヨーロッパの種々の野外劇場のように、末永く、新しいアイデアのもとに、使われていくことを願ってやまない。





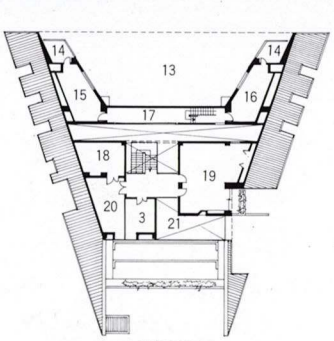






1 階平面図

1．舞台
2．溜り
3．倉庫
4．ピアノ庫
5．休養室
6．楽屋
7．受付事務所
8．身障者用便所
9．シャワー室
10．便所
11．ロビー
12．テラス
13．舞台上部
14．サブ・ステージ
15．調光室
16．調音室
17．連絡通路
18．受電室
19．リハーサル室
20．ポンプ室
21．ロビー上部吹抜



2 階平面図



1．ホールよりロビーをみる
2．調音室よりステージをみる
3．西側より観客席をみる
4．開演風景（航空写真）

撮影　東出清彦
航空写真　兵庫県提供

兵庫県立
播磨中央公園

テニスコート管理棟・レストハウス

施工　神田組

設　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所在地　兵庫県加東郡滝野町下滝野
建築面積　211.64㎡
延床面積　260.83㎡
構造規模　RC、壁式　2F
工　期　昭和53年3月～昭和53年7月

上：正面外観
下：北面外観





播磨内陸内園の東端に位置するこのテニスコート管理棟は、この一帯のスポーツゾーンの中心的施設であり、休憩所でもある。フタバ池を通して遠く播州平野が見渡せ、同時にコートが一望できる屋上広場や会議室、娯楽室を2階に、更衣・休憩室を1階に設け、この快適な環境の中で利用者が明るく健康的に汗を流してくれることを願ってデザインした。



配置図・1階平面図

1．休憩室
2．事務室
3．救護室
4．女子ロッカー室
5．男子ロッカー室
6．女子シャワー室
7．男子シャワー室
8．倉庫

設　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所在地　兵庫県加東郡滝野町下滝野
建築面積　174.91㎡
延床面積　235.71㎡
構造規模　RC、2F
工　期　昭和53年3月～昭和53年7月

上：正面外観
中：大池より東北面をみる
下：ステージ芝生席より南西面点景







一見して分かるとおり男女、身障者用と多すぎる便所。これは公園内施設としての要求を容れて設けられた。敷地は屋外ステージの行き帰りをはじめ、周囲から見られる位置にあり、とくにステージ芝生席、大池からの点景に意を払った。



配置図・1階平面図

1．客席
2．厨房
3．休憩室
4．PAC.
5．倉庫
6．LPG.

兵庫県皮革工業指導所

施工　三和建設





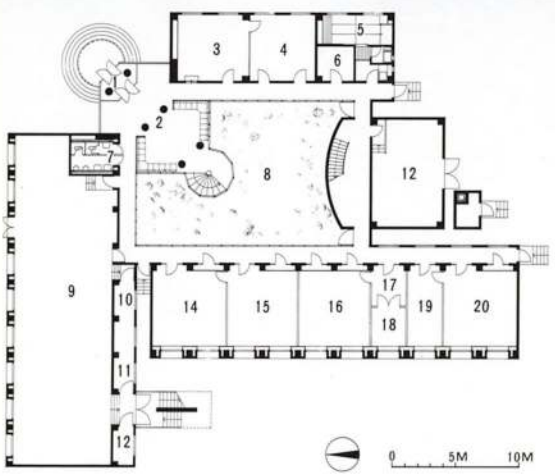
兵庫県は日本でも有数の皮革産地であり、例えば牛革では、全国の生産高の6割近くを産出している。それらの製革業は、姫路周辺などに集中しており、小規模企業が非常に多い。この施設の役割は、独自に皮革の研究を行うとともに、これらの製革業の技術指導や技術調査を行うことである。そういうことから、この施設には、各種実験研究室・実験設備とともに、さまざまな新鋭機械を擁する実験工場や研修室などがある。

プランニングのうえでは、これら諸室のモデュールや設備の種類などに応じて、事務研究棟・実験棟・工場棟・機械棟の4棟に分け、外部環境があまり良好とはいえないところから、それらの各棟をつなぎあわせて、内部に開いた形の平面計画とした。実験棟には縦の配管シャフトを、また各階廊下には露出の配管ダクトをとり、将来の模様替えに備えている。







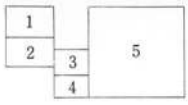


1．風除室
2．玄関ホール
3．事務室
4．所長室
5．宿直室
6．倉庫
7．W.C.
8．中庭
9．実験工場
10．薬品庫
11．調合室
12．機械室
13．配管スペース
14．なめし研究室
15．仕上応用加工研究室
16．恒温恒湿室
17．前室
18．恒温恒湿機械室
19．試料調整室
20．物性試験室

1階 平面図

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所 在 地　姫路市野里字東河原３
敷地面積　2,961.970㎡
建築面積　　766.598㎡
延床面積　1,483.010㎡
構造規模　ＲＣ、２Ｆ
工　　期　昭和51年10月～昭和53年４月



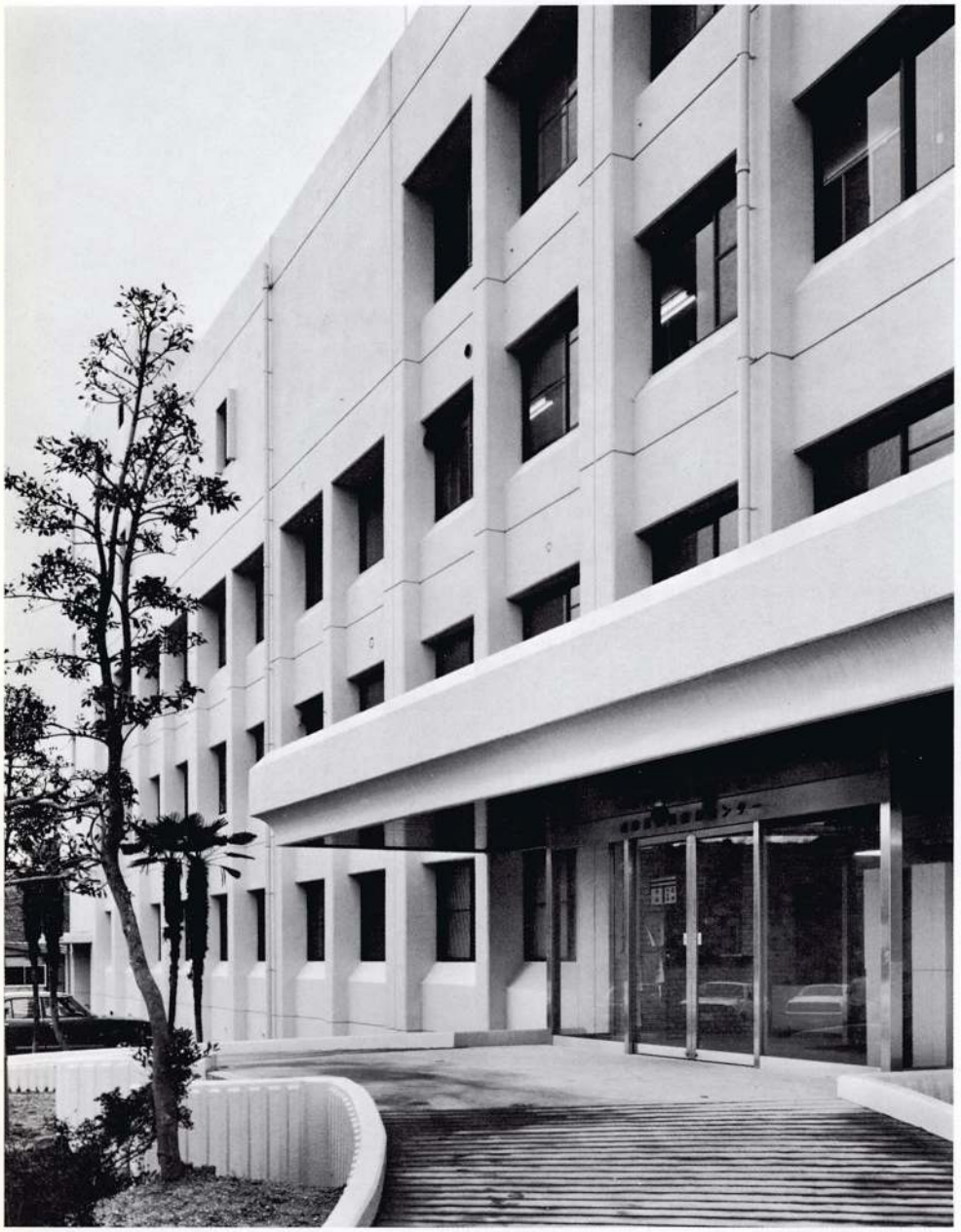


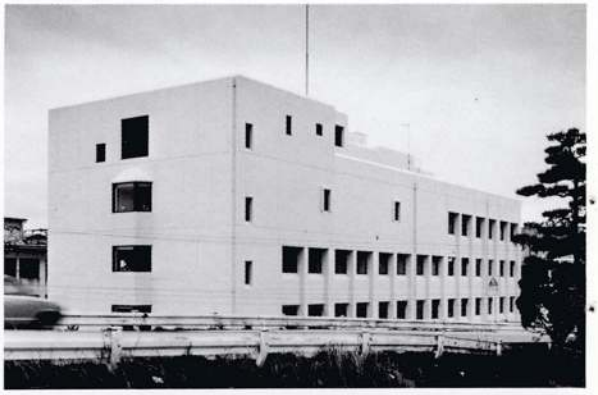
1．東面ディテール
2．玄関ホール
3．正面入口よりみる
4．機械室階段
5．中庭よりみる

撮影　1.2.5.東出清彦
　　3.4.東洋クラフト

兵庫県立但馬救急センター

施工　明生建設・川嶋工務店・株本建設 共同企業体









1階 平面図

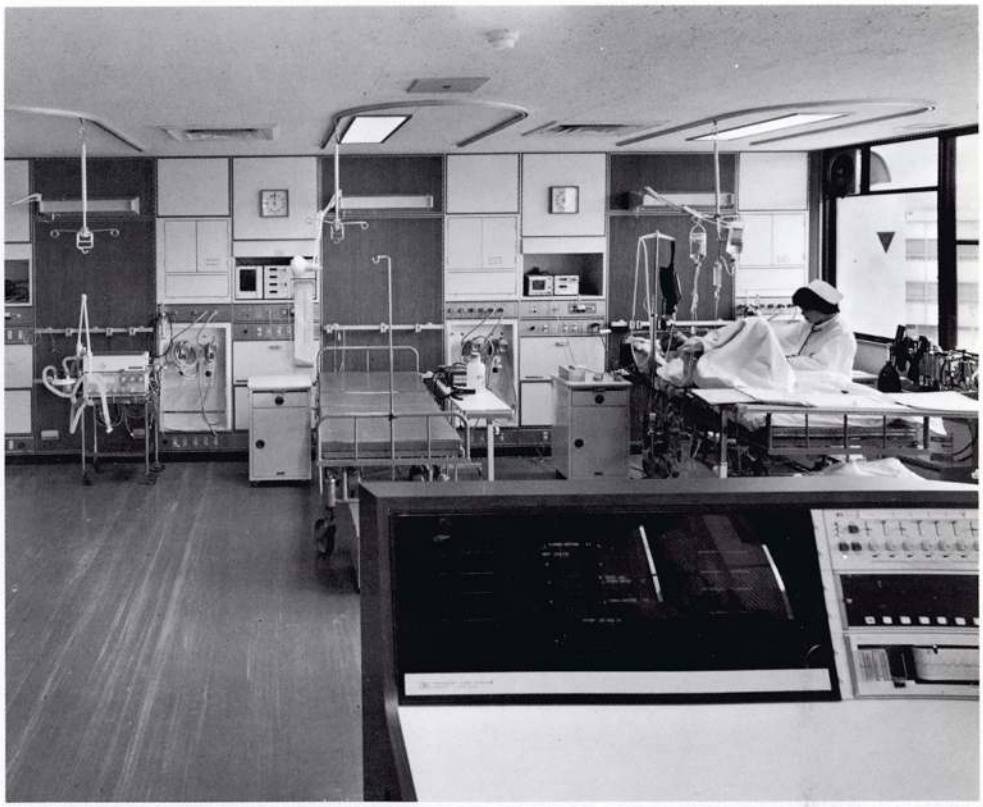
今日の複雑な医療需要に対応し、県民すべての人びとの健康をまもることは、県政の重要な課題であり、生きがいと安らぎのある福祉社会実現のための不可欠の条件である。行政は、これに応じた医療サービスを提供できる体制を整備しなければならない。この施策の一環として建設された「但馬救急センター」は、但馬地域における救急医療の確保と、医療水準の向上のため建設されたものである。またこの施設は、単独で機能するものでなく、地域の医療機関である公立豊岡病院との機能的連携の中ではじめてその効果が期せられる。設計にあたり総合病院である公立豊岡病院の敷地の一画に増築される格好で建設されるため豊岡病院との連携的動線外観のデザインの考慮、来院者に対する落着いた雰囲気を与えるようなプランニングと色調にとくに留意した。この施設が但馬地域医療の中核として県民の医療福祉向上に役立つことを願うものである。

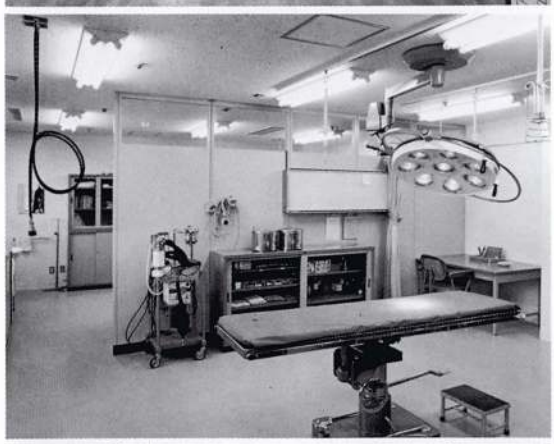
1．事務室
2．風除室
3．玄関ホール
4．受付
5．宿直
6．警備室
7．待合室
8．診察室(救急)
9．処置室
10．診察室
11．倉庫
12．休養室
13．渡り廊下
14．廊下
15．売店
16．E.Vホール
17．P.S
18．ギプス
19．医局
20．フィルム庫
21．電話交換室
22．外来食堂
23．別房
24．職員食堂
25．男子便所
26．女子便所
27．浴室
28．看護婦当直
29．婦長当直
30．薬局当直
31．医局当直

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所 在 地　豊岡市立野町６－36
敷地面積　29,064.00㎡
建築面積　　688.80㎡
延床面積　3,052.96㎡
構造規模　ＲＣ、５Ｆ
工　　期　昭和52年12月～昭和53年11月

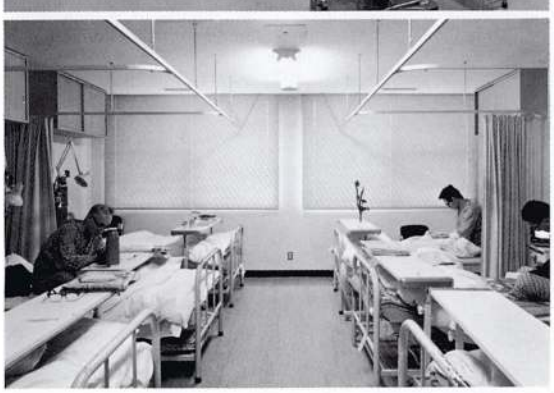












1	5
2	
3	6
4	

1．中材室
2．中央手術室前E.Vホール
3．救急診察室
4．病室
5．I.C.U
6．玄関ホール

撮影　東出清彦



兵庫県動物管理事務所

施工　平尾工務店

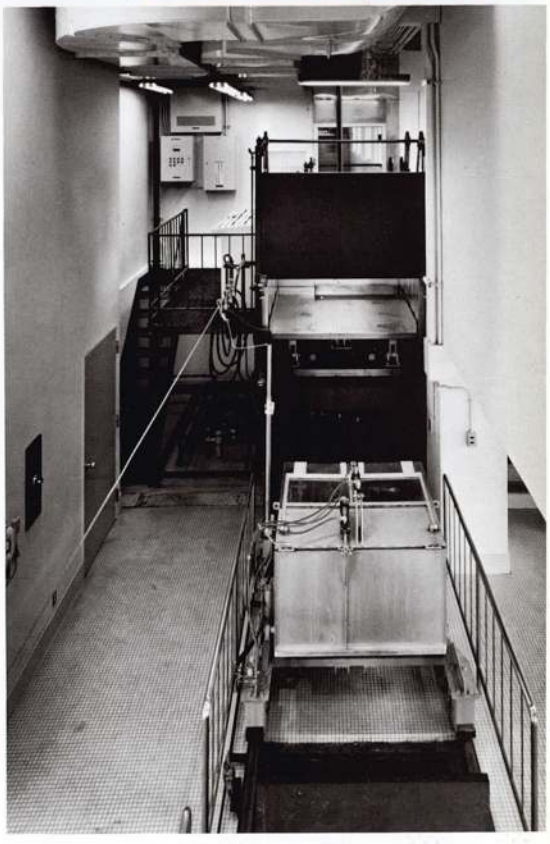
設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所 在 地　兵庫県加東郡社町藤田字北山
敷地面積　12,000㎡
建築面積　537㎡
延床面積　860㎡
構造規模　ＲＣ、３Ｆ
工　　期　昭和52年５月～昭和53年３月



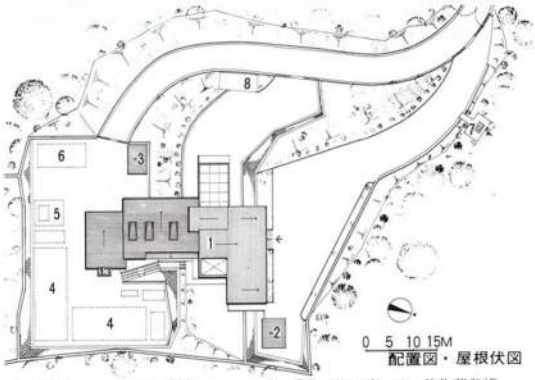
敷地一帯は丘陵地で、周囲には古墳群が点在する松林の中の12,000㎡の傾斜地を利用して建設された。施設は、県下全域の畜犬行政のセンター施設として、野犬や不用犬の収容、処分のほか、負傷動物の治療、ペット動物の病気など、研究施設としての機能をもっている。

設計計画においては、地形の利用、周辺環境と建物の景観との調和を計ることによって、犬抑留所のイメージをなくすことと、自然環境の保護に留意した。抑留、処分機能は機械化の導入により、作業の合理化を計り、臭気には脱臭装置を設け、汚水などの排水は場内処理することで公害防止の面にも配慮した。



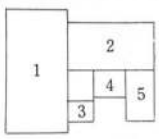






配置図・屋根伏図

1．本館　2．車庫　3．CO_2ボンベ庫　4．酸化槽
5．キュービクル　6．油タンク　7．犬魂碑　8．防火水槽



1．北東よりみる
2．南西面外観
3．機械操作盤
4．保護観察室
5．処置室

撮影　東出清彦

兵庫県企業庁津名臨海建設事務所

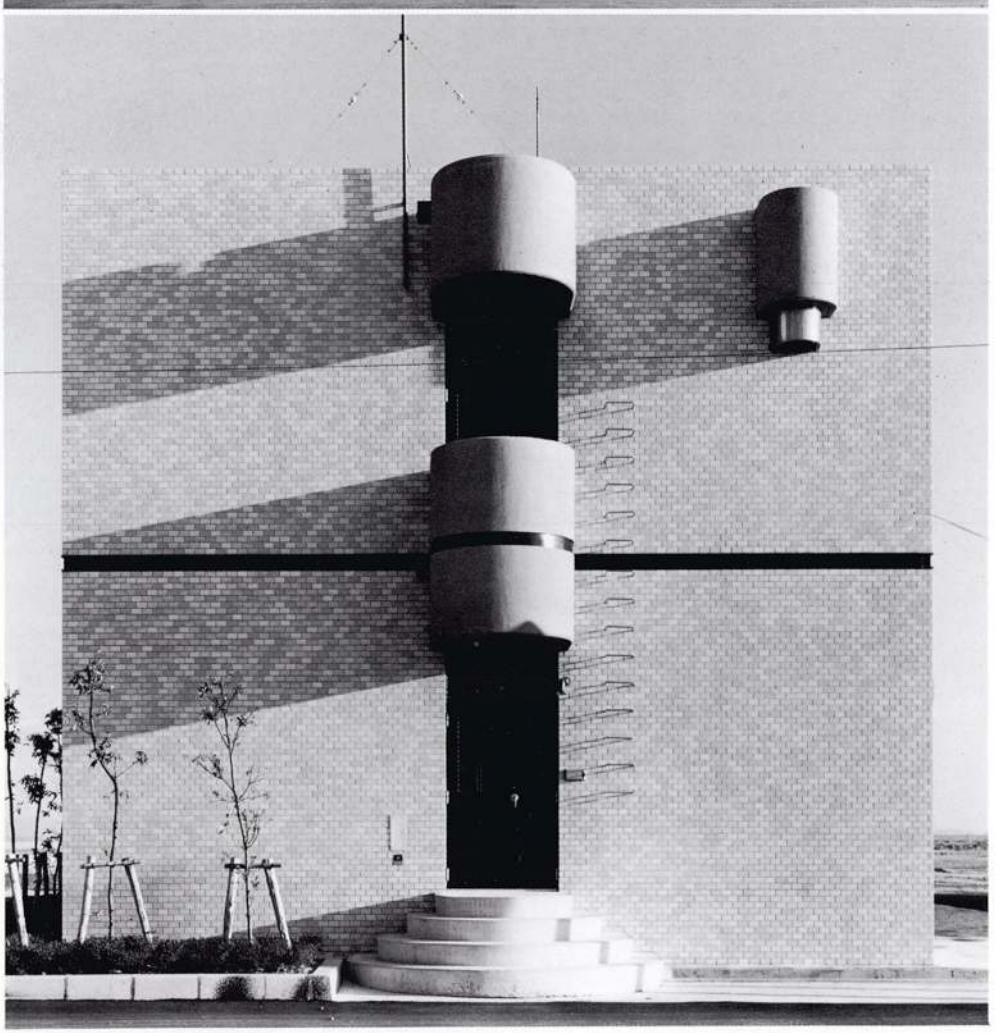
施工　行司工務店

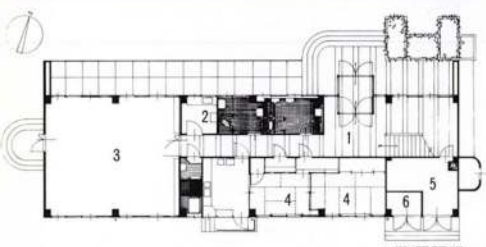
設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所 在 地　兵庫県津名郡津名町志筑
建築面積　314㎡
延床面積　510㎡
構造規模　ＲＣ、２Ｆ
工　　期　昭和52年10月～昭和53年３月

兵庫県企業庁が淡路島の津名町沖に進めている214万平方メートルの大型埋め立て地の中央幹線道路際に敷地があり、周囲は試験植樹帯が取り囲んでいる。島内には将来、機械金属関連加工流通基地をはじめ、自動車関連施設、スポーツ施設、公園緑地、などが予定されており、この島の造成工事、分譲業務を行なっているのが当事務所で、小世帯ながら活気のある事務所である。建物は、青い海と、湾を取り囲む山の緑の自然と対比的調和を保つよう白い磁器小口タイル貼とし、高潮を考慮して、１階フロアを高くすることによって生ずる外観の間延びを救うため、外壁に濃いブラウンのアルミラインを入れた。

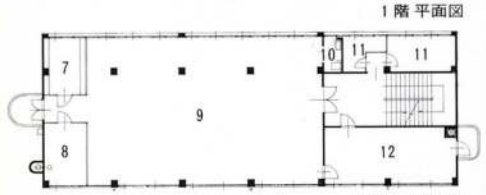






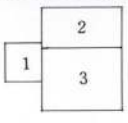


1階 平面図



2階　平面図

1．玄関ホール
2．試験室
3．入札・会議室
4．災害待機室
5．機械室
6．ボイラー
7．書庫
8．青写真室
9．事務室
10．湯沸
11．更衣室
12．応接・所長室



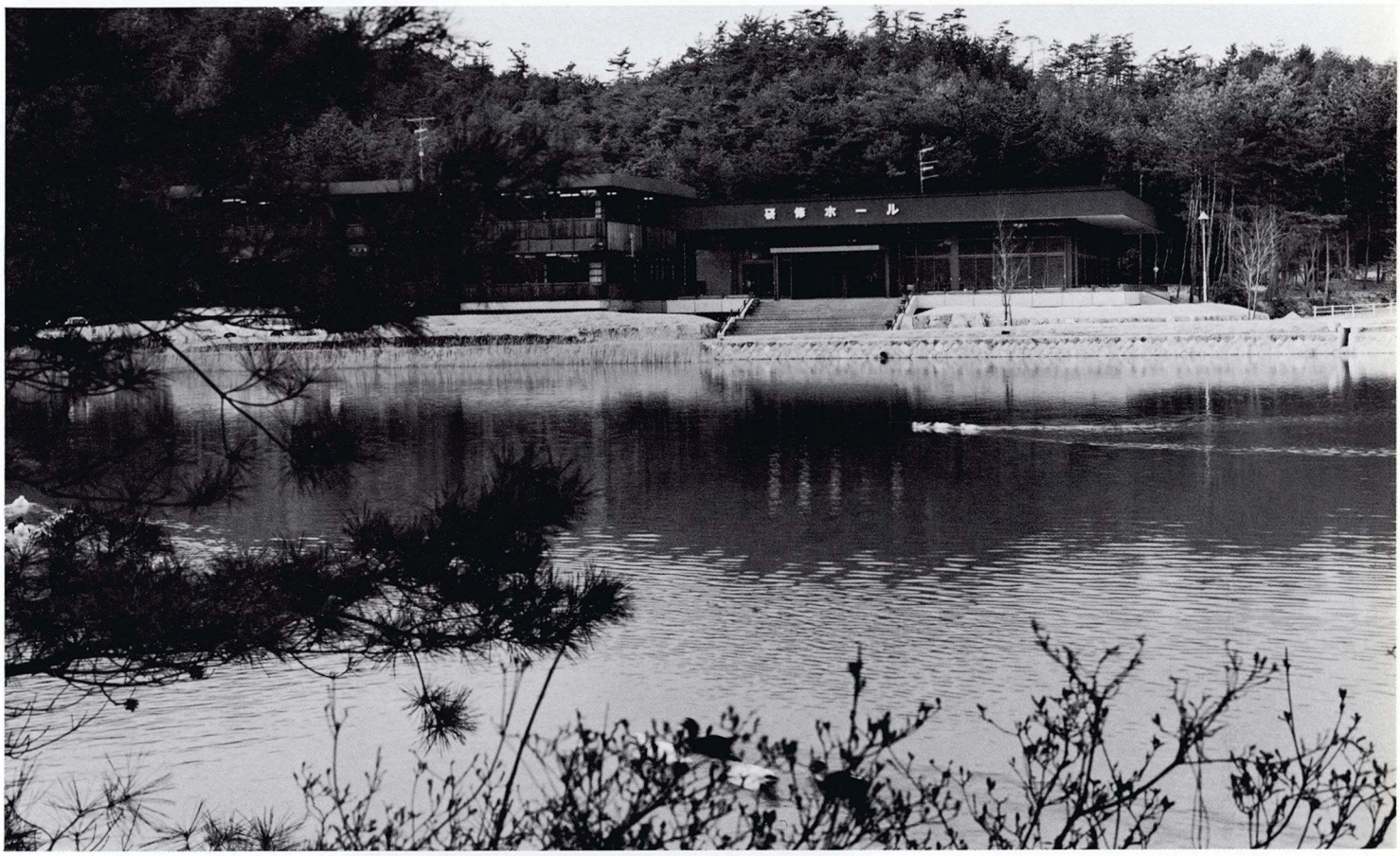
1．２階階段室
2．正面外観
3．西面外観

撮影　東出清彦

兵庫県フラワー・センター研修ホール

施工　高瀬組

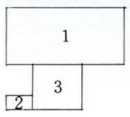
設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
所 在 地　加西市豊倉町
敷地面積　416,865㎡
建築面積　643㎡
延床面積　502㎡
構造規模　S、一部RC
工　　期　昭和52年12月～昭和53年5月



42万㎡の敷地に花壇と温室が配置され、年中世界の花が咲き誇るフラワー・センター。この研修館は、花の研修会・展示場として利用されているが、休憩所・雨やどりの空間としても役立っているようである。研修館の南には池、東には花壇、という眺望が十分楽しめるよう、全面ガラス貼とし、周囲には巾3mのベランダをめぐらした。建物西側にはサービスコア（便所・湯沸）を配置し、コンクリート砰り仕上として、大屋根の下にくみこんだ。なお、意匠的には、西隣の既存管理棟とも視覚的に共存できるよう配慮した。

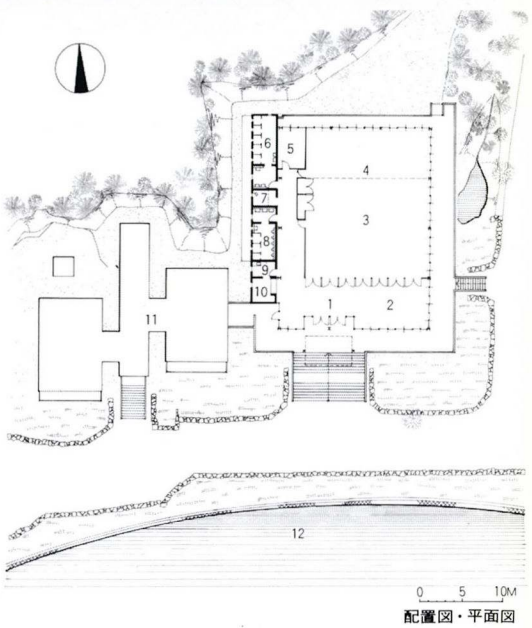






1．亀の倉池よりみる
2．談話コーナー
3．玄関回り

撮影　東出清彦



配置図・平面図

1．玄関ホール
2．談話コーナー
3．研修室
4．スライディングウォール
5．倉庫
6．WC(女)
7．WC(身障者)
8．WC(男)
9．湯沸
10．受付
11．既存管理棟
12．亀の倉池

兵庫県立栃の実温泉荘

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　株本・川嶋・山陰・建設企業体
所 在 地　兵庫県美方郡温泉町歌長
敷地面積　53,925.00㎡
建築面積　1,529.50㎡
延床面積　2,847.00㎡
構造規模　RC、B1、F3、PH
工　　期　昭和49年10月～昭和51年5月

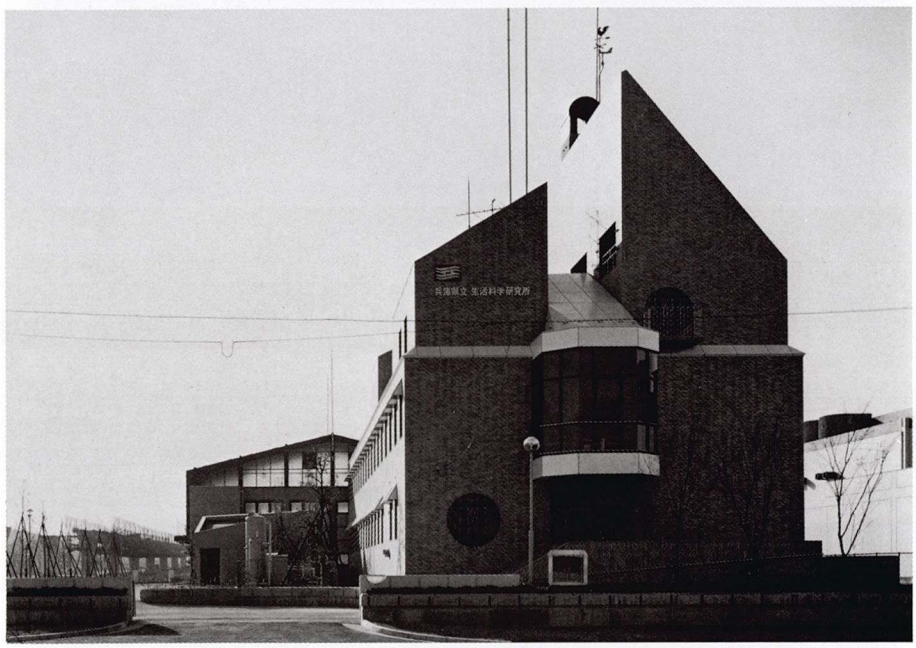


兵庫県の北部、但馬路の山は深い。その山々に囲まれた湯村のまちは、静かに「荒湯」の湯煙を見守っている。「栃の実温泉荘」は、このような但馬の自然、風土に融け込み、老人、身障者を中心としたすべての県民の保養所として、機能することを目的としている。設計に対する留意点として、最近、身障者問題が大きく取り上げられ、いろいろと文献なり、参考資料が出されているが、今回は、とくに身障者というのではなく、ハンディキャップを持った人という解釈で、誰でも、使用できる建物として、各部に「スペース」を確保することを主眼とした。もう一点は、但馬地方の自然に対して、できるだけ、融和し、保養の機能を満足させたいということである。

本誌　昭和52年12月号掲載

兵庫県立生活科学研究所

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課＋昭和設計
施　　工　母倉工務店
所 在 地　神戸市生田区港島中町4－2
敷地面積　3,480㎡
建築面積　1,195㎡
延 面 積　2,130㎡
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和51年12月～昭和53年11月



この研究所は、食品から日用品までのあらゆる商品の分析、性能、規格の試験、研究を目的に県下6ケ所にある生活科学センターの総合的な機関としての役割をはたすべく建てられたもので、敷地は神戸港沖の人工島「ポートアイランド」の市街地サービスエリア内にある。
実験室が多く室内の壁面を多く要求されるため窓が小さく、連なるため、工場を連想させないよう外壁は淡い色調のシャモットタイルと白いホーローの庇でアクセントをつけ新らしい海上都市にとけこむよう心がけた。

本誌　昭和53年12月号掲載

ピッコロシアター
兵庫県立尼崎青少年創造劇場

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　柄谷工務店
所 在 地　尼崎市南塚口町3丁目664－1
敷地面積　4,846.11㎡
建築面積　2,418.40㎡
延 面 積　4,999.70㎡
構造規模　RC、一部SRCおよびS、B1F、4F
工　　期　昭和52年5月～昭和53年7月



青少年のための演劇専用劇場として、また練習施設として中心的な機能を果す大ホール舞台・中ホール・小ホールの部分を、意匠上もこの施設の象徴としてあつかい、高さ20m、長さ72mのコンクリートリブ斫りの開口のない大きい壁とした。この壁は道路際にそそり立っており、自動車のスケールすなわち都市的スケールに対応したものとなっている。入口は北側の2つの半円筒の間からはいるようになっており、この部分は高さをおさえて、人間的なスケールとなるように配慮している。

本誌　昭和54年1月号掲載

兵庫県西宮総合庁舎

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　新井組
所 在 地　西宮市櫨塚町18－3
敷地面積　2,100㎡
建築面積　945㎡
延 面 積　4,287㎡
構造規模　RC、5F、P2
工　　期　昭和52年12月～昭和53年1月

敷地は付近に西宮市役所をはじめ、公共建築の集中する西宮市のほぼ中心部に位置し、交通の便もよく、総合庁舎として利用されやすい立地条件にある。
建物内部の構成は広く、外部に開かれた快適な執務空間を得るため、そして外来者にとっても利用されやすいセンターコア方式が採用された。外部空間の構成もシンプルで親しみやすく、県民が気軽に利用できるようオープンな感じにされている。また、この付近は地下5～6mの砂層を六甲から灘五郷へ向かう〝宮水〟の上部であることから、地下階は設けられず、そのため機械室などのスペースを塔屋1、2階に求めなければならなかった。



兵庫県立淡路高等看護学院

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　淡路土建
所 在 地　兵庫県三原郡緑町広田
敷地面積　10,477.72㎡
建築面積　1,171.33㎡
延 面 積　1,914.26㎡
構造規模　SRC、2F
工　　期　昭和50年6月～昭和51年4月

この建物は、淡路島に建つ県立高等看護学院である。
医療部門における看護婦不足が、社会問題化して、すでに久しいが、当学院もその対策の一環として計画されたものである。
平面計画は学習・管理・共用と機能別に三ブロックにまとめ、動線およびゾーニングの明確化を計った。
特徴的なベランダのルーバーは南国の強い日射しをさえぎるためのものであり、また清潔感のある白い外壁との快いコントラストを意識したものである。



兵庫県立のじぎく会館

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　村本建設
所 在 地　神戸市生田区山本通4丁目
敷地面積　2,847.00㎡
建築面積　1,074.75㎡
延 面 積　3,749.28㎡
構造規模　SRC、B1、3F、P1
工　　期　昭和50年6月～昭和51年3月

本建物は、事務スペース、大小会議スペース、宿泊スペース、駐車スペースおよびサービススペースより構成されている。設計に際しては、本敷地は北側隣地が低くなっている住居地域であり、隣地への日影の影響を最小にするために苦労した。また、そのために階高を最小限に抑えたので、400㎡の大ホールの天井高が4mになってしまい、音響効果や気積、各階の配管スペースに若干の無理を生じる結果となったことを反省している。



兵庫県立淡路精光園

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　淡路土建
所 在 地　兵庫県津名郡五色町広石北
敷地面積　16,000.00㎡
建築面積　1,393.50㎡
延 面 積　1,255.60㎡
構造規模　SRC、1F
工　　期　昭和52年12月～昭和53年7月



県立施設の整備計画にもとずき、淡路島の五色町に、精神薄弱者更生施設が設置された。敷地は、五色石で有名な五色浜海岸より東方約5kmに位置する丘陸地に、建設された。この地方は粘土質が多く含まれた地盤であり、淡路瓦生産による粘土がこの地方から採取されている。この敷地も瓦粘土が採取された後地である。
施設は、精神薄弱者に必要な生活指導および職業指導による、更生が目的である。軽度の精神薄弱者と重度の精神薄弱者とは分離しているが、共用ゾーンは、両者が利用できるように配慮した。また建物が低層により、廊下が、各棟との連絡路になり、更生指導の場として利用されている。今後この施設を社会復帰の第1歩のステップとして、更生していただきたいと思う。

兵庫県生田警察署

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　竹中工務店
所 在 地　神戸市生田区中山手通2丁目75の1
敷地面積　2,145.47㎡
建築面積　1,664.96㎡
延 面 積　7,334.13㎡
構造規模　SRC、11F
工　　期　昭和50年10月～昭和52年3月



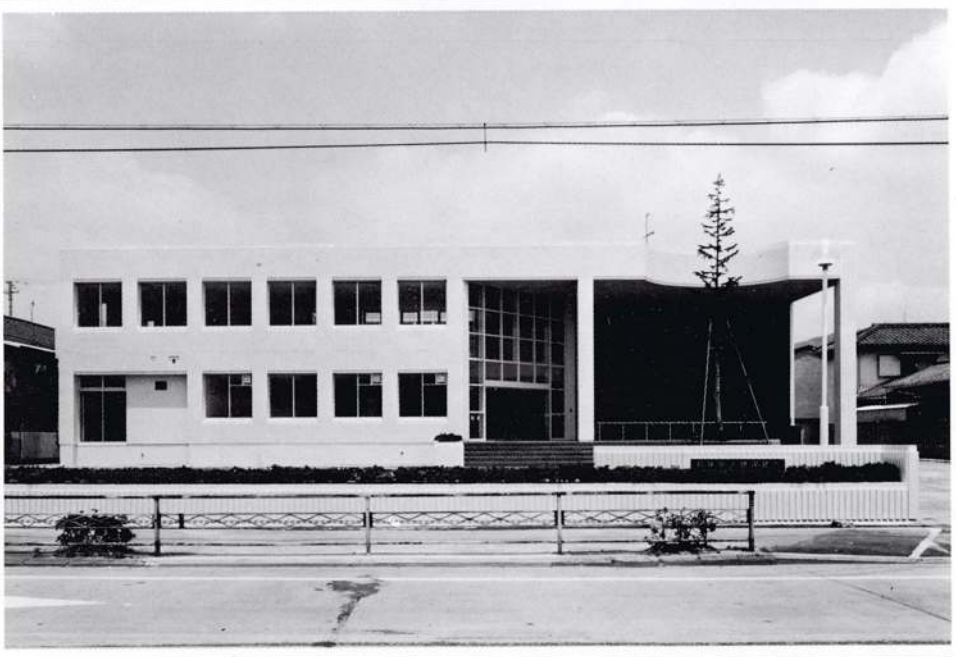
2階平面図



生田署は兵庫県、神戸の中心地域を管轄する重要な場所にあり、敷地の有効利用のため神戸市の計画する建物と合せた一団地設計とし、アプローチなども共用として計画した。強く、明るく、親しみやすさをテーマに、外壁は象牙色を基調とした濃淡3色のタイルで明るさを、架構を見せることで力強さを、玄関前の人工台地に緑の庭園やベンチ、ホールの照明などを明るくすることにより、入りやすさ、親しみやすさを意図とした。なお、1F～7Fに庁舎、8F～9Fが独身寮となっている。

兵庫県赤穂保健所

設　　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　小西工務店
所 在 地　赤穂市加里屋字新町98
敷地面積　2,002.92㎡
建築面積　516.20㎡
延 面 積　843.29㎡
構造規模　SRC、2F
工　　期　昭和52年10月～昭和53年4月



この保健所は、国鉄赤穂駅から西へ700mの国道250号線ぞいにあり、1市1郡、7万人を対象としている。アプローチの中央に大きな樹を設け、アイストップとし、玄関、ポーチを吹抜として、ゆったりした感じを持たせ入りやすさを計った。1階は来客専用としクリニック、検査、相談の各室、2階に事務管理部門と大きく分け、それらを中央に光庭を設けることで一体感のあるものにした。更にその廻りに待合・ホール・廊下を配することで、利用者の検査、検診待ちに対する不安感などの解消に役立てば幸いである。

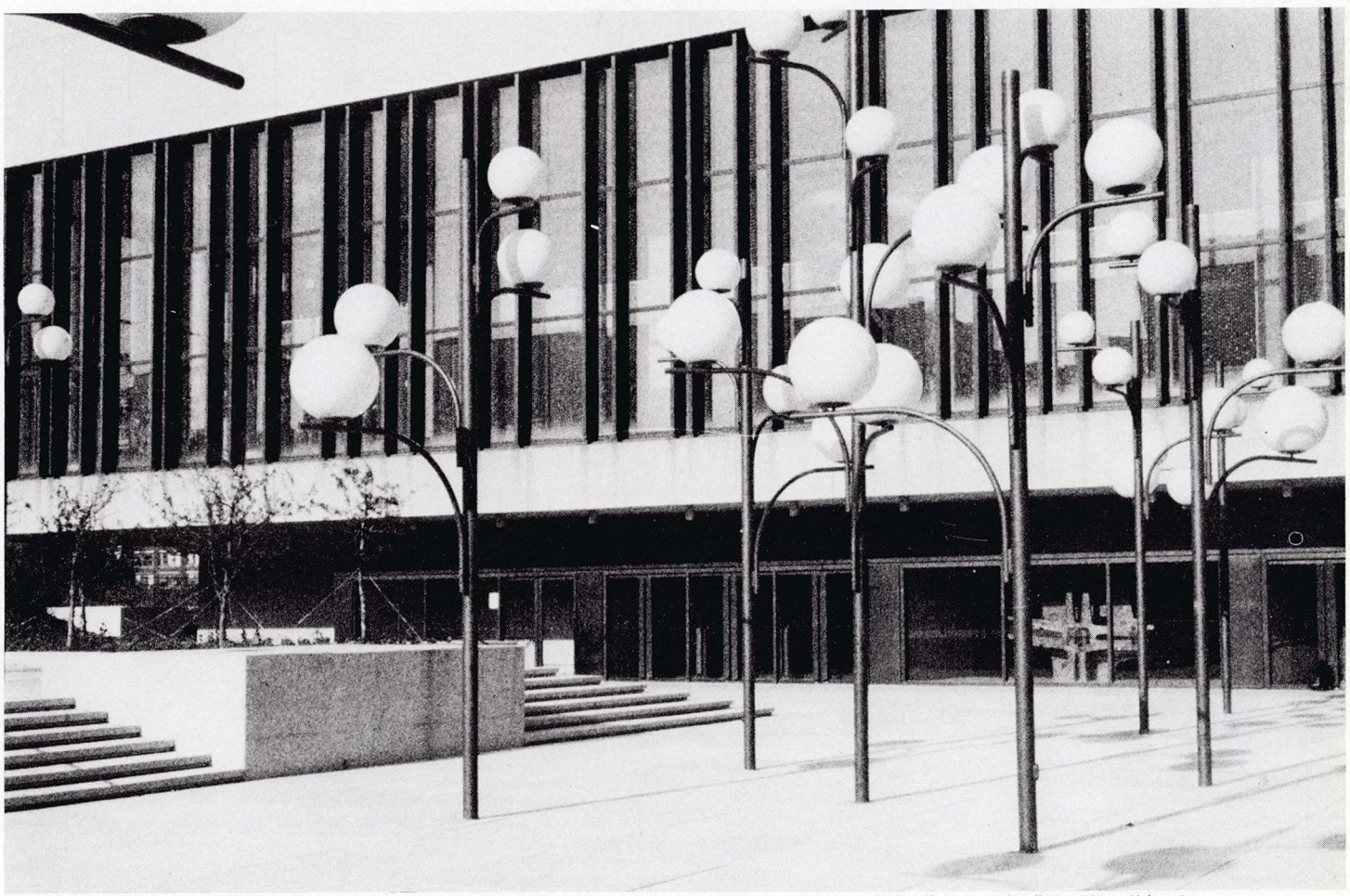
「建築と社会」誌バックナンバーのおしらせ

バックナンバーがそろっております。購入ご希望の方は日本建築協会まで（電話06－231－9648）お申し込み下さい。
なお、郵送料は実費いただきます。年間購読（12冊¥7,800・送料当方負担）のお申し込みも応じます。

＊印は欠号

巻／号	昭和46年(52集)	昭和47年(53集)	昭和48年(54集)	昭和49年(55集)	昭和50年(56集)	昭和51年(57集)	昭和52年(58集)	昭和53年(59集)
1	住宅－60年代の総括と70年代の展望	冬季オリンピックと札幌	建築教育	歴史的環境保全	図書館	＊証言'76－建築デザインの動向	＊デザインの動向－部分と全体	デザインの動向－新旧のコントラスト
2	都市エネルギと無公害化ビル	600号記念号	泉北ニュータウンのコミュニティ施設	明日の建築はどうなるか	東海の新建築	建築基礎構造の問題点	兵庫県－その風土と建築・建築界	水
3	建築基準法	インテリアデザイン	大阪大林ビルディング	保養所作品	＊インテリア	＊医療施設	日本建築協会60周年記念号・ニュータウンの管理	医療施設－病院建築と情報システム
4	都市生活とみどり	都市交通問題	レジャーと施設	既成市街地の住宅地整備の方策	PC板を使用した工業化住宅	床工法と材料	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	外壁塗装材料
5	＊企画と設計のプロセス	水利用	大阪国際ビルディング	北摂ニュータウン計画	社会・建築・法	建築防災と法	日影規制と法	電波障害と建築
6	解体工学	量産住宅の設備	老人コミュニティ	建築生産と流通機構の変容	都市の景観と施設	市街地整備	身障者施設	組合方式による集合住宅計画
7	都市と港湾	一般号（桂中学）	住宅－建築家のすまい	＊ビルの省エネルギ化	建築とプレストレストコンクリート	工場建築と設備	照明設備	住宅設備
8	転換期のニュータウン		＊新用途地域制と環境	高層プレハブ住宅の構造設計	生活排水処理施設のあり方	鉄骨構造のジョイント	埋立地における構造問題－大阪南港と霞屋浜高層フロジェクト	新しい耐震設計
9	軟弱地盤と震災	＊都市住環境へのアプローチ	＊構造と施工	＊みどり	＊人間環境としてのターミナル	＊集主体のハードとソフト	日本住宅公団と建築作品	CAD－設計とコンピュータ
10	変貌する建築生産	都市防災	＊仕上と材料	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	騒音対策と防音材料	結露防止対策と断熱材料	ミニ開発から計画的ミニ開発へ	一般号
11	第18回青年技術者	第19回青年技術者	第20回青年技術者	第21回青年技術者	第22回青年技術者	第23回青年技術者	建築における省エネルギー化	第25回青年技術者
12	＊自然とレジャー空間	北陸の新建築	ヨーロッパのまちづくり	ビル防災に関する12章	集合住宅の設備	＊設備からみた建築の問題点	第24回青年技術者	ビル環境

●昭和54年1月号「転換期の再開発」特集、2月号「大阪南港ポートタウン」特集もそろっています。



モントリオール市のアートセンター。デ・ダルジャンと道路をはさんだ位置にある。1978年にできたもの。人工地盤上の、樹木の代わりのような街燈の群れが特色である。

フリントコート®
マスチックフローリング
無公害な弾性床材



東京シューズ足立流通センター
設計監理：㈱ＫＯＡ設計事務所　施工：前田建設工業㈱
使用場所：床　仕様番号：Ｆ－９

特　長

1　耐久性：耐久性にすぐれている。
2　耐摩性：摩耗の度合が低く、ホコリなど生じない。
3　すべり抵抗性：すべり抵抗性にすぐれている。
4　弾力性：弾性があり、万一亀裂ができても使用している間に復元する。
5　粘着性：多少湿っていても、コンクリート、金属、木など、どんな面にもよく粘着する。
6　不燃性：引火のおそれがなく、ガス工場、爆薬工場の床に使用されている。
7　無毒無臭：完全無毒で各種食品工場、貯蔵庫に多く使用されている。

フリントコートについてのお問合せは下記へ

FLINTKOTE®

株式会社シエル石油大阪発売所
フリントコート部

大阪本部　〒530 大阪市北区堂島浜１丁目２の６(新大ビル９Ｆ)☎(06)343－0441
東　　京　〒104 東京都中央区京橋２丁目９の２(第一ぬり彦ビル)☎(03)562－4676
福　　岡　〒810 福岡市中央区舞鶴町１－１－５(舞鶴ビル３Ｆ)☎(092)771-1961

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

134

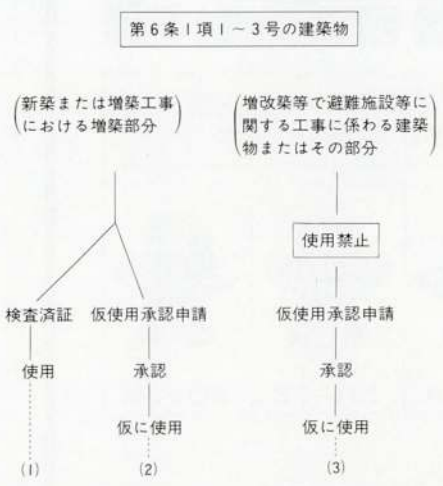
仮使用承認制度について（その１）

改正建築基準法は、51年11月、いろいろな話題を提供しながら公布された。日影規制条項はその最も主なものであるが、建築物の防災対策条項として、「工事中の建築物の使用制限」に関する条項も加わった。

工事中の火災事故は、割合に多い。既存部分を使用しつつ工事（増改築等）をする場合は、いったん火災がおきると大惨事になる危険性がある。熊本大洋デパートの場合、大阪千日デパートの場合、いずれも工事中の火災だったことが思い出される。工事中には、建築資材や残材が散積されており、各種の火気が使用される。熔接機、切断機、配管用のトーチランプ、冬だと暖房用のヒーターや直火、また作業員のタバコ、マッチなどの使用上の不注意が直接の原因となる。そして、増改築や修繕、模様替えなどの工事中は、往々にして、せっかくの各種防災設備が、つけ替えなどのため、機能しない状態になっていることがある。さらに、防火シャッター等が適切に作動しないなど、日頃の管理の悪さも火災を大きくする。工事に伴い使用勝手が変わり、従業員もとっさの場合の情報の早期伝達、お客の避難誘導にまごつくことになり、大惨事を引き起こす。

52年11月から施行された「工事中の建築物の使用制限」条項のうち、一番主な条項は、第７条の２である。（略）

その法文を図解してみると、以下のようになる。



図の (2) のケースは、従来一部竣工とか部分竣工として、建築主事が認めていたものが明文化されたものである。

たとえば、１階部分が店舗で、２階以上が共同住宅の新築で、建築主が共同住宅部分と１階部分の一部の店舗を、検査済証の交付を受ける前に使用開始した場合に、使用したい部分の検査が行われ、残工事についての安全上、防火上、避難上の措置が特定行政庁から承認されると、当該部分を仮に使用することができる。

なお、53年11月に建設省から承認基準が出されたので、各特定行政庁とも参考にされていると思われる。

●承認基準（新築の建築物等）

１．特定行政庁が承認を行う場合

仮使用の対象が、新築の建物物又は増築工事における増築部分である場合には、次の①から③までによるものとする。

① 仮使用部分は、下記項目について、建築基準法の規定及び消防法の規定にそれぞれ適合していること。

イ．建築基準法施行令（以下「令」という。）第112条の防火区画
ロ．令等５章第２節の廊下、避難階段及び出入口
ハ．令第５章第３節の排煙設備
ニ．令第５章第４節の非常用の照明装置
ホ．令第５章第５節の非常用の進入口
ヘ．令第５章の２の特殊建築物等の内装
ト．令第 129条の13の３の非常用の昇降機
チ．消防法第17条の消防用設備等

② 仮使用部分とその他の部分とは、建築物の構造、用途又は工事内容等に応じて、耐火構造の壁、不燃材料で造られた間仕切り等により、防火上有効に区画されていること。

③ 工事計画に応じて、工事に使用する火気、資材等の管理の方法、防火管理の体制等が適切に計画されていること。

２．建築主事が承認を行う場合

仮使用部分は、下記項目について現行の建築基準法の規定及び消防法の規定にそれぞれ適合しており、かつ、手直し工事等がある場合は、当該工事が避難施設等の機能に支障を及ぼさないものであること。

イ．令第 112条の防火区画
ロ．令第５章第２節の廊下、避難階段及び出入口
ハ．令第５章第３節の排煙設備
ニ．令第５章第４節の非常用の照明装置
ホ．令第５章第５節の非常用の進入口
ヘ．令第５章の２の特殊建築物等の内装
ト．令第 129条の13の３の非常用の昇降機
チ．消防法第17条の消防用設備等

図の (3) のケースは、従来、工事中の建築物の防災対策として、盲点となっていたものが明文化されたものである。

まず、建築確認申請に添付される設計図は、最終の完成図なのである。そのため増築工事の場合、建築物によっては、誰もチェックしないため、工事工程上、既存部分の外壁面にあった屋外階段が不用意にはずされ、救助袋のための窓がふさがるなど、防災上好ましくない状態に一時的になることがあった。そういった状態で既存部分が今までと変わりなく使用されていると、工事中においては建築物は著しく不適合な危険なものになっている。

つぎに、ごく新しい建物は別として、ほとんどの建物は、増築に伴い、既存部分は改修が必要である。建築基準法は過去幾度となく改正されているが、増築部分はもちろん、既存部分も、最も新しい改正法令に適合させなければならない。増築工事中、既存部分を全面的に使用停止することができる建物はまれであるので、避難施設その他の安全施設の移設、新設または改修工事にあった綿密な安全計画を作り、仮使用の承認をうける。

× ×

既存の建築物の承認基準を、次回で掲載し、引き続き仮使用承認申請手続き等について述べたい。

（大阪府建築指導課）

「建築関係法令の研究・７」刊行

日本建築学会建築計画委員は、53年秋に、「建築関係法の研究・７」を刊行した。

この号は、「建築関係法令の研究・５」「同・６」につながるものが多いが、次第に、建築関係法令のあり方にかかわる発表や討議が多くなってきている。

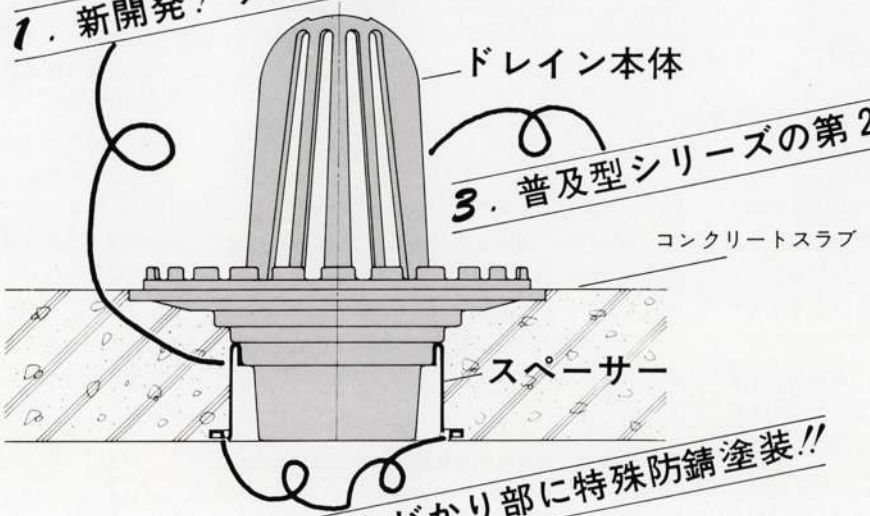
再び令 126条について／小嶋　宏
安全上必要な技術基準の意味／白石博三
兵庫県営アパートのベランダからの転落事件控訴について／白石博三
令 126条１項は一般規定か避難施設の規定か／富田泰夫
令13条の２の「避難施設等」に掲げられている事項と法35条の避難施設について／小嶋　宏
令 126条１項の一般規定解釈－補足－／富田泰夫
富田氏の「令 126条１項の一般規定解釈」に対して／小嶋　宏
ガードレール遊び転落事件のその後／小嶋　宏
日影規制の設定値と従来の日照判決との比較／南三一郎
日影規制による都市形態及び建築形態への影響／南三一郎
日影規制に関する条例制定状況／片倉健雄
用途地域つれづれ／富田泰夫
「防火上主要な間切壁」とは何か／小嶋　宏
防火上主要な間切壁－その２／小嶋　宏
建築基準法にみられる「その他これらに類する」などについて－３／高橋通男
屋外階段－その避難上の判断について／小嶋　宏
令22条の規定－建基法各条コンメンタール(1)／白石博三
法28条と令19条及び20条の採光規定－建基法各条コンメンタール(2)／白石博三、小嶋　宏
基準法に表われた数値／福田朝生
建築基準法のあり方（討論）
建築関係法令図書目録／片倉健雄、船越琢由
「建築雑誌」における法令関係記事総目録（その１）

なお、「建築関係法令の研究・７」(2,300円＋送料 200円）は、日本建築学会本部資料頒布所（電話 03－535－6511）と近畿支部（電話06－443－0538）で頒布している。

㊊は信頼のブランド

日本住宅公団指定型
BO－3A(E－321)，3B(E－316B)，3N(E－316)

1．新開発！ワンタッチ・スペーサー!!



3．普及型シリーズの第２弾!!

2．見えがかり部に特殊防錆塗装!!

㊊ルーフドレインに打込型が加わりました。

「ひと味違う打込型」

雨来よい！㊊ルーフドレイン

①スペーサーへのドレイン本体取り付けは差し込むだけ、ワンタッチで、容易にしかも完全にセッティングできるワンタッチタイプ・スペーサーを開発しました。
②従来の打込型ルーフドレインの場合、コンクリートスラブ打込み後、下部の見えがかり部分が錆びるという弱点がありました。ＢＯ－３型では、ここに特殊防錆塗装を施し、より完璧な製品としました。
③先に発売したＢＯ－１型に続く、普及型ルーフドレインの第２弾で、コスト的にも自信を持って開発された製品です。

ルーフドレイン打込型
BO—3型シリーズ



BO—3A　BO—3B　BO—3N

㊊株式会社 長谷川鋳工所

大阪営業所／大阪市北区南森町２－３－36 ☎(06)315-8900
本社／東京都千代田区神田淡路町１－２　☎(03)255-4051㈹
埼玉営業所(0482)23-3351／川口工場(0482)22-5175／横浜営業所(0467)78-3235・77-1402

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

《新建材紹介　No.57》

エースウッド　（別注）

宮崎木材工業株式会社
本社　〒616 京都市右京区太秦下角田町5　TEL 075－861－1585 (代)

■はじめに

エースウッドは天然木単板を化粧とする特殊仕上げの化粧シートで、合板はもちろん、モルタル・石綿板・硅酸カルシウム板・石こうボード・金属板等の表面に張り、建築・建具・家具等の表面化粧材として使用できる。単板は常に選択準備されており、設計者が単板を決定し、注文寸法、模様合わせをして製品化される。

■特長

1．木理の美しさを生かした生地仕上げで、着色塗装が自由にできる。
2．表面仕上りは化粧合板とまったく同じである。
3．耐水・耐熱・耐候性に優れ、内装仕上げ材として最適である。
4．汚れは水・洗剤等により清掃でき、表面塗装の補色・補修が可能である。
5．特殊処理構成のため下地からの汚染変色のおそれがない。
6．120℃以下のアイロンで直接熱圧できる。
7．曲面施工ができ、コーナーの折曲げも自由である。
8．製品とするための加工性がよい。
9．単板にできる樹種はすべて利用できる。
10．下地材により下地相当の防火性能をもつ。

■防火性能

商品名	下地の種類	防火性能	建設大臣認定番号
エースウッドA	不燃	不燃	第1103号
	準不燃	準不燃	第2107号
エースウッドB	不燃	準不燃	第2101号
	準不燃		

■寸法（単位mm）

厚さ　0.35～0.40
幅　910～1,220
長さ　2,430　2,740　3,040　3,640
（単板の樹種により4,000　4,550も可能）

■施工上の留意点および施工法

1．防火区分に適合する下地を選ぶ。
不燃基材：金属および不燃石こうボードを含む法定不燃材料
準不燃基材：準不燃石こうボードを含む法定不燃材料および法定不燃石こうボード
2．石綿板・硅酸カルシウム板・石こうボード等の継ぎ目、釘頭等はパテで修正する。
3．下地が石綿板・硅酸カルシウム板・モルタル等の場合はアスベストシーラーを塗布する。
4．防火規制区分の施工は、原則として認定条件に基づく標準防火施工法にしたがって施工する。標準施工法によらない場合は施工完了後防火認定表示ラベルが張れない。

■おわりに

著名な建物での使用実績もある。紹介にもれた詳細については標記に問い合わせていただきたい。

宮崎木材工業株式会社
本　社　(〒616)京都市右京区太秦下角田町5番地　電(075)861－1585～8
出張所　(〒541)大阪市東区北浜4丁目14番地　電(06) 231－5723～4
〃　(〒460)名古屋市中区大須町4丁目12－8　東洋殖産ビル2階　電(052) 262－4421
〃　(〒734)広島市翠町1141の1　電(0822)53－1101～2
陳列場　(〒604)京都市中京区河原町通三条上ル　京都朝日会館5F　電(075) 223－2260
製造元　アクメ化工株式会社　(〒593)堺市東山693　電(0722)36－1024

建材委員／松本英良（㈱竹中工務店　設計部情報課長）

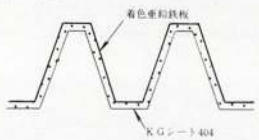
《新建材紹介　No.58》

KGシート（長尺金属屋根用不燃断熱石こうフォームシート）

株式会社　クラレ
〒530　大阪市北区梅田1－12－39（新阪急ビル）
TEL　06－348－2151（直通）

■はじめに

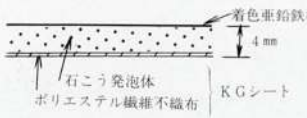
KGシートは石こうを主原料とした発泡シートで、労働安全衛生上および環境公害上も安全な製品である。鋼板と構成した複合品は不燃材料となり、長尺金属屋根の内張材として使われている。（図－1）



図－1　KGシート／鋼板複合品（折板鋼板）

■特長

KGシートの表面はポリエステル繊維不織布であり、折板加工等に必要な性能を持たせている。内面は石こうと酢酸ビニル系樹脂バインダーを主成分とする石こう発泡体である。建設省建築研究所の試験結果によれば、厚さ10mmまで不燃材となっている。ここでは商品として出ている品番404（厚さ4mm）について説明する。（図－2）



図－2　KGシート／鋼板複合品構成

1）亜鉛鉄板（着色亜鉛鉄板）をはり合わせたものは不燃材料となる。燃焼ガス試験（マウステスト）にも合格している。
2）不燃材としての通則認定をとっている。建設大臣認定番号：不燃第1131号。
3）多孔質のため保水性があり、防露性にすぐれている。
4）熱伝導率が0.051kcal／mh℃で、石こうボードのおよそ2倍の断熱性能がある。
5）多孔質のため吸音性があり、雨滴音その他の騒音を防ぐのにも有効である。（表－1）

表－1　各種シートの雨滴音防止効果

項目／試料	シート厚さ	Aレベル(bB) 測定値	Aレベル(bB) 効果	Cレベル(bB) 測定値	Cレベル(bB) 効果
（暗騒音）	－mm	38－41	－	57－64	－
カラー鋼板 0.6mm	－	79.5	－	81.6	－
鋼板／発泡ポリエチレン	4	76.7	－2.8	79.3	－2.3
鋼板／アスベストマット	5	73.3	－6.2	77.5	－4.1
鋼板／KGシート404	4	71.4	－8.1	74.0	－7.6

6）柔軟性があり、長尺巻きシートである。
7）クロロプレンゴム系その他の接着剤を用いて、鋼板と容易にはり合わせができ、はり合わせたものは通常用いられているロール成形機で容易に加工できる。
8）紫外線による劣化や風化を起こしにくく、耐久性にすぐれている。酸やアルカリに対しても安定している。
9）アスベストやガラス繊維を用いていないので労働衛生および環境安全上の心配がなく、不燃性と合わせて、安全性の高い材料である。
10）仕上りがきれいで、不燃性・防露性・断熱性・吸音性などの要求される内装材としても使える。

■性能（表－2）
■仕様（表－3）

表－2　KGシートの性能

厚さ	4㎜	
比重	0.24	
重量	1.0kg/㎡	
熱伝導率	0.051kcal/mh℃	JIS A 1412（0℃）
含水率	0.2%	20℃65%RH
保水量	300g／㎡	水中24時間浸漬
引張強力（タテ）	3.5kg／cm	JIS L 1068
（ヨコ）	0.4kg／cm	
伸度（タテ）	17%	JIS L 1068
（ヨコ）	25%	
吸音率	0.38	JIS A 1409（4000Hz）

表－3　KGシートの仕様

品番	404	長さ	100m／巻（外径　約750mm　紙管内径　76mm）
厚さ	4㎜		
幅	880mm、550mm	色	X：アイボリー（標準）

備考　上記以外の幅、長さ、色については、別途注文

■用途

折板鋼板屋根用・金属サイディング用内張り材・防露断熱材・壁内装材・吸音材その他の用途への利用が可能であるが、主として機械工場・倉庫・体育館等の長尺金属屋根や壁の内張り材として実績をあげている。

■おわりに

KGシートは不燃材料としての通則認定申請団体である断熱亜鉛鉄板工業会〔（株）カクイチ、三晃金属工業(株)、大同鋼板（株）、（株）淀川製鋼所、（株）東長、日本建築板金工業（株）、綿半鋼機（株）等18社が正会員として加入〕の会員会社によって、張り加工、折板加工または屋根、その他の用途に施工されている。なお詳細については標記に問い合わせ願いたい。

建材委員／松本英良（㈱竹中工務店　設計部情報課長）

読者の頁

横浜市都心プロムナードのデザインについて

横浜市が昭和49年度から〝楽しく歩ける道路づくり〟としてはじめた道路整備事業を都心プロムナードといいます。

この事業の目的は、これまでの道路が主として車の通行機能を中心につくられがちであったのを改め、人間中心・歩行者重視の考え方に立って道路を整備していこうとするものです。このような歩行者中心の道路づくりは欧米諸国では、ショッピング・モール、歩行者専用道路などとして実現しています。わが国においても旭川市の買物道路（昭和47年）などいくつかの例がみられるようになりましたが、まだまだ一般的でなく、歩道橋、歩行者天国、ノーカーデーなど基本的には道路機能のうち車を優先しつつその矛盾を少なくする方策が多い現状で、人間＝歩行者を優先した都市道路の確立までには至っておりません。この原因は、既存市街地内では土地利用や交通体系を全面的に改めなければならず、簡単には出来ないことにあります。都心プロムナードは、既存市街地内で道路体系を大巾に変えず、歩行者を最大限に重視した道路改造事業であります。



石川町ルートの絵タイルとサインポール



桜木町ルートのサインポール

さてプロムナードのデザインについては、次のような配慮がなされています。

(1) まず、人が歩きやすくする（滑らない、つまづかない）ために路面素材をこれまで一般的であったアスファルト舗装を改め、レンガタイル、平板ブロックなどとしました。

(2) 歩行者用の標識（サインポール）や、案内地図板を設置し、歩行者に周辺の地理や公共建築物、史跡などを案内する。

(3) 盲人や身障者等に対して、点字ブロック、車椅子のための歩道段差切り下げなどを行う。

(4) ガス灯風の街灯、街路樹、植込み等の植栽

(5) 歩く人に楽しさを提供し、プロムナードの方向性を出すために、ヨコハマにちなんだ絵タイル（30×30cm）の敷設などを行っています。デザインは、当初は、栗津潔氏に依頼いたしましたが、次年度は市民公募により絵タイルの絵柄を決め、道路づくりに市民の参加を得て行っています。

このような歩道の整備は、地域住民の協力がなければ実現しませんが、実現の後も、永く現在の機能や美しさ、楽しさを保っていくことが大切なことです。このためには、道路にかかわる直接、間接的市民の合意と協力が欠くことができません。このことは、都市づくりにも共通したことでもあります。

内藤惇之／（横浜市企画調整局企画課、主査）



石川町ルートの絵タイル

マイ・フォト

〝パリ点描〟



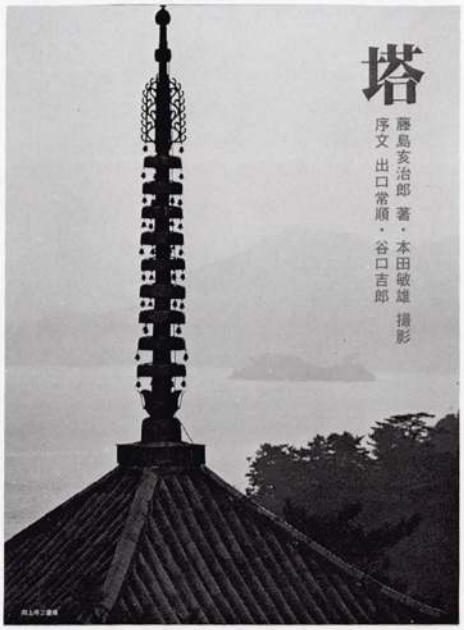
二重の厚い雲に包まれた街の底は思ったより暗い。かすかに乱反射してたどりついた光が、あの太陽のものだと想像するのも困難な感じだ。そんな知らない街を私はこんなに巧みに歩けるとは思わなかった。建物の壁面をはうように、なでるように、裏道を行く。寒い。もう観光客のいないＴＡＢＡＣのカフェで熱いエスプレッソを飲んで少しほっとする。初冬のパリは奇妙な街になる。いかにもお金のかかった服をむぞうさに着た中年の男が、若い見事な馬のように明るい青年と楽しそうにしゃべりながら食事をしている。人生にくたびれたような老人が少し肥りぎみだが、健康そうな黒人の娘と、手を組んで歩いている。これでもヨークシャテリアかと（絶対そう思うのだが）びっくりするぐらい大きな犬が中水道の側溝でウンチをしている。厚化粧をし、高価な毛皮をまとった女２人がいつのまにかこっちをじっと見てタバコをふかしていた。自分の靴音だけを聴きながら、人のいない街を歩く。橋の上で水の流れを、枝のすれ合う木立を、よろい戸が半分開いている窓を見る。そして、自分の心とだけ話す。どうも、よそ者は無責任な感傷にひたりすぎる。明日は晴れるだろうか。かわいい少女に会ったら少し微笑んでみよう。

瀬戸本淳／瀬戸本淳建築研究室



書評

「塔」



近年、大型の写真図版を多く収録した豪華図集が刊行されている。本書もその一つでありカラー・グラビヤの写真図版（撮影本田敏雄氏）が中心になり、藤島亥治郎氏の本文解説を添えた構成をもつ。写真図版は〝四季の塔〟、〝塔影と構成〟の二部に分かれ、日本各地に所在する木造仏塔を主題に、四季の変化、塔姿の変化のなかでそれぞれの塔の特徴をとらえ美しく表現されている。

本文は序文で石器時代の人々が素朴な石柱や樹木に原始信仰の拠り所を求めたことに始まって、地域、時代の相違のなかでそれぞれが独自の表現形式をそなえた塔の歴史を世界各地にのこされた諸例の紹介を通じて概説している。次に本論では序文で取上げている仏塔の発生から東漸の過程の終点であった日本の仏塔が主題であり、はじめに日本の仏塔の構造、構成、性格を説明し、つづいて飛鳥の地に最初に出現した大野の丘の刹柱を出発点に、飛鳥、奈良時代の仏塔諸例を紹介する。そして平安京遷都とそれにつづく古代・中世そして、近世の各時代に造立された諸例の実例を求めて山城・近江から各地方を巡路に沿って訪ね、それらの特色を解説している。著者は本文のなかで記されているように、類書に多く見るような塔の造立年代、建築形式の諸特徴を詳細に論じることよりも、著者の優れた感受性でとらえた塔の印象を、塔との対話として率直に記述されているところに特色をもつ。なお、著者は戦後に再建された大阪四天王寺、東京浅草寺の各五重塔の設計者として知られ、これらの塔の再建に際してその構造と意匠の多くの問題に取り組み苦心された打ち明け話を〝塔匠の記〟として本文に添えられていて、戦後の歴史の一コマを裏付ける貴重な記録として参考になる。

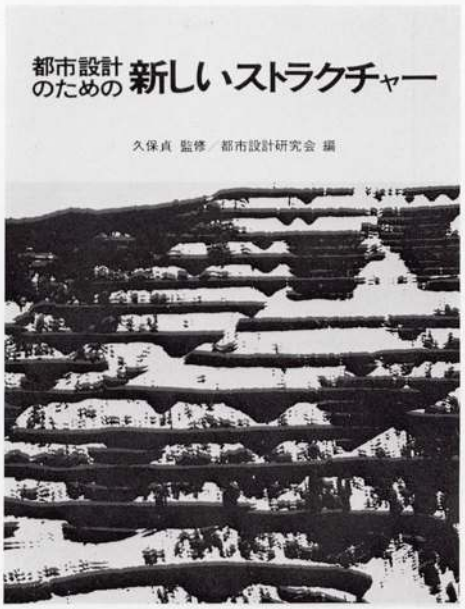
また、別に塔一覧を作成し、今日、各地に現存する木造塔のすべてを挙げ、石造各種塔の遺例にも拡大して、造立年代、所在地、特色を説明されているのも親切な心づかいである。

本書と前後して同じく日本の仏塔を対象にした図録、解説書が刊行されていて、偶然のことかも知れないが、日本の伝統的建築のなかでも、仏塔への関心の高まりをうかがえる。それら類書のなかでも本書は優れた好著と言える。

川上　貢／京都大学教授

著　者　藤島亥治郎
発行所　光村推古書院
B４判　カラー68頁グラビヤ48頁本文64頁塔一覧他44頁
　　総224頁
定　価　25,000円

「都市設計のための新しいストラクチャー」



本書は、神戸市の土木、造園、建築の若手技術者が、自主的に組織した「都市設計研究会」によって作られたものである。その素材は、自らの研鑽にもとづいて、『建築と社会』誌にも連載された。評者も、何回か研究会に出席したことがある。Ⅳ－６、海浜－入浜権－のあたりは、その時の討論等に基づいていると思われる。

本書の特色は、第一に、従来の土木技術には、比較的弱いと思われる「生活空間」的視点を大巾に取り入れていることである。評者も、前々から土木構築物が、単一機能で、大規模化（例、大ダム、高堤防、など）して来た結果もあり、非人間的になって来ていることに疑問を持っていたが、著者達はそれに対して、10ばかりの「現代都市土木工学の課題」を提起している。（P．22～29）

これらは、一口に言えば、市民生活の豊かさを、真に反映し、それを保障する土木技術への前進への提起である。

特色の第二は、高度の内容を平易に表現する努力がされている点である。すぐれた設計例が、豊富な写真や図面で紹介されている。課題や問題の整理も多くはわかりやすい表にまとめられている。読者は、これらによって具体的に理解出来、楽しく読みすすむことが出来るであろう。

特色の第三は、第二にも関連して、出来る限り実現可能性を追求している点である。これは、著者達が、自治体技術者でもあるということにも関係があろう。いくら、りっぱな「理論」でも実現から程遠ければ空虚に聞こえるであろう。

しかし、まだまだ「新しいストラクチャー」を整備していく上で、技術上も制度上も問題のあることも事実であって、「Ⅷ　都市づくり総力戦」（＝多正面作戦）も、まだかなり「持久戦」を行わねばなるまい。

「研究会」が、さらに総論から各論へと「重点正面」を移し、発展してゆくことが期待される。と同時に、本書が、技術者、学生、市民にも広く読まれて、新しい技術展望の役割を果たすとともに、「家」の前からの改善を一歩一歩進める指針となることを希望したい。

西村一朗／奈良女子大学助教授

監修者　久保　貞
編　者　都市設計研究会
発行所　鹿島出版会
A５判　234頁　定価 3,300円

母子保健総合医療センター 56年完成へ基本設計

大阪府衛生部は、府衛生対策審議会（山村雄一会長）で母子保健総合医療センターの第一期計画（周産期医療部門）について、建設基本設計の概要を発表しました。

それによると、同センターは母性病床100床、新生児病床 100床、集中治療看護用病床（ＩＣＵ）4床の計 204床を設置、付属施設として助産婦養成所のほか医師、助産婦、看護婦宿舎などが建設されます。センター本体の建築のべ面積は約16,700平方メートル。地上３階、地下１階の鉄筋コンクリート建て。防災計画も綿密にほどこされます。建設場所は、和泉市室堂町・泉北ニュータウン光明池地区内。約60億円をかけ、54、55年と工事をすすめ、56年度中にオープンの予定。

同センターは、妊娠から分娩期、乳幼児期、学童期にいたる母子の疾病と障害の予防、早期治療、発達訓練を総合的におこなう日本最初の〝命と健康を守る砦〟。第一期計画では、妊娠した時点から新生児に至る周産期の専門医療をおこなうことにしており、妊娠中毒症や出血妊産婦と子どもの救命、出産前、出産時の子どもの障害防止、あるいは障害の早期発見と高度治療、技術普及などその役割が広く期待されています。なお第二期、第三期では、小児専門医療、発達医療などが予定されています。

◀写真募集－投稿欄小委員会

投稿欄小委員会では、〝フォト・シリーズ〟として「マイ・フォト」のタイトルで写真を募集しています。街を歩いていて、ふと見つけた空間、人と建築・ひろば・環境との出あい、あるいは旅の思い出・記録など、国内外を問わず、傑作をどしどしお寄せください。

・内容は自由です。
・タイトルをおつけください。また撮影場所などを含めて200字程度のコメントをおつけください。
・サイズはキャビネ以上、コントラストのついた鮮明なモノクロ写真を希望します。（カラーでも結構ですが、印刷はモノクロになります）
・掲載分には規定の稿料をさしあげます。原則として写真の返却はいたしません。

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

駅舎再開発シリーズ—1—

大阪駅改良ターミナルビル建設計画

駅舎再開発シリーズについては、龍治弘国鉄工事局次長にご尽力いただきました。



大阪駅は大阪圏の表玄関であることはもとより、広く京阪神圏の交通の要衝として重要な役割を果たしてきており、新幹線開業後は大阪圏域内交通の結節点として、その機能はますます高まってきている。

当地区には、国鉄大阪駅をはじめ地下鉄梅田駅、東梅田駅、西梅田駅、阪急梅田駅、阪神梅田駅等があり、それらが一大ターミナル群を形成している。その乗降人員は国鉄の1日約67万人を含め、1日約238万人となっている。大阪駅はこれまで昭和45年万博開催にあわせ、大阪環状線内回線の新設、高架下駅施設の東口改良、出札室（オープンカウンター）の整備等を行っている。しかし、当駅の本屋はもともとホテルをもつ駅ビルとして、建設なかば戦争で中断されたものであり、経年37年で老朽、狭あいとなってきている。また、高架下の駅施設は従来から乗降客の増にあわせ順次改良を加え対応してきたため全体的に一貫した体系をなしておらず、抜本的改良が必要となっている。一方大阪駅周辺は、大阪市において昭和36年より駅前市街地改造事業に着手し、すでに第一ビル、第二ビルがそれぞれ完成し、引続き第三ビル、第四ビルが工事中であり、昭和57年完成する予定である。さらにすでに完成している堂島地下街、阪急梅田駅、三番街、梅田地下街、大阪マルビル、阪急グランドビルを含め梅田地区の再開発は着々と進められている。

このような状況の中で、この地区のほぼ中心に位置する大阪駅が低層であり、駅周辺と均衡をかいており、その整備は焦眉の急となっていた。

このようなことから、地元においてもかねてより、大阪の表玄関にふさわしい「顔」と「機能」をもった近代的なターミナルに整備されることを熱望しており、51年末大阪市としての基本的考え方を国鉄に提示された。

これらをふまえ、国鉄においてもターミナル施設の建設は関連事業の増大に資するところもあり、百貨店を含む商業施設およびホテルのほか、旅行サービス機能、交通情報等をとりこんだ、総合ターミナルビルを建設することとし、これと機を一にし、既存の駅設備等についても、旅客流動の適正化、旅客販売施設の集約化、狭あいな業務施設の改善等を行い、駅全体として総合的機能の向上をはかることとした。

I．駅改良計画

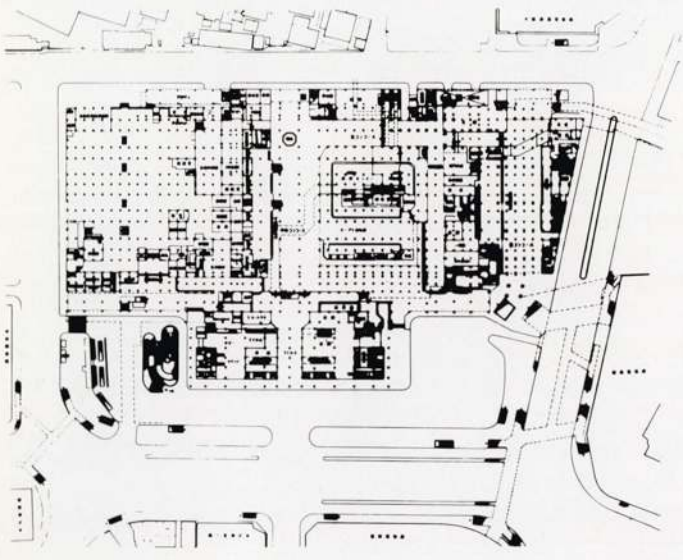
○ 計画概要

1)	高架北側業務施設（北ビル）S造5階建	延10,150㎡
2)	旅行センター移設（高架下模様替）	5,770㎡
3)	コンコース整備（高架下模様替）	
	北コンコース	1,020㎡
	・中央コンコース	5,350㎡
4)	在来本屋てっ去（SRC造）	延12,200㎡
5)	地下道整備	
	中央地下道拡巾	巾員 18m
	西地下道新設	巾員 7.5m
6)	駅前広場整備	約15,600㎡

II．ターミナルビル計画

○ 計画概要

1)	規　模	
	S造一部SRC造　地下4階、地上26階	
	建築面積	約 5,100㎡
	延 面 積	約 130,000㎡
2)	使用区分別面積	
	コンコース、ピロティ	約 2,000㎡
	ホテル	約30,000㎡
	店　舗（百貨店,飲食貸室を含む）	76,000㎡
	駐車場	約5,000㎡
	その他	約17,000㎡
3)	進入車路	1式
	付属駐車場	1式
4)	工　期	
	着手予定　駅改良	昭和53年10月
	駅ビル	昭和55年4月
	駅ビル開業予定	昭和58年3月
5)	建設費	約 500億円



なお、ターミナルビル建設運営は大阪ターミナルビル株式会社が行うこととなっている。

追記：本年10月より駅業務施設の移設工事、名神、中国ハイウエイバス、旅行センター等の仮設工事を着工している。

（植野昭雄／国鉄大阪工事局開発設計室）

新刊紹介

◇建築計画と設計システム

（コンピュータによるコストプランニング）

監　修　北村　弘

発行所　㈱清文社

B5判　389頁　定価　5,400円

第1章　設計プロセス概論

第2章　設計計画のシステム化

第3章　実施設計と省力化

第4章　コンピューターシステムの将来

建設省救仁郷住宅局長との懇談会開催

恒例による全国規模建築関係七団体代表者と、建設省住宅局長救仁郷斉氏との懇談会は、去る1月19日㈮正午より丸の内の東京会館12階カトレアにおいて行われ、本会会長塚本猛次氏ほか、日本建築学会梅村会長、日本建築士会連合会太田会長など16名が出席して建築界の当面する諸問題につき懇談した。

財団法人 大阪建築防災センター創立5周年の集い盛会裡に終わる

去る1月25日薬業年金会館3階大会議室で行われ、来賓祝辞の後、同財団育成に貢献した役員、および会員に感謝状が贈呈された。続いて建築防災マーク並びに標語の入選者の表彰があり、最後に、「最近の火災と問題点」について記念講演「煙から命を守るため」の映画が上映されて盛会裡に終了した。

新建運動の新たな展開をめざして第8回大会開かれる

新建築家技術者集団（代表幹事：西山夘三・武基雄・平松義彦・上林博雄）の第8回全国大会が、去る11月下旬、"ぎふ長良川ハイツ"にて、開かれました。17支部から47人の代議員、評議員とオブザーバを合わせて94人が集まり、2日間の日程で、なごやかなうちにも活発な論議がかわされました。大会2日前にオープンした、長良川を目の前に望む会場は大会の雰囲気を一層盛りあげ夜の交流会のあと、各室で夜ふけまで交換・論議が続きました。

広範な建築家・技術者とともに、新建の理念を日常的に実践し集約し普及する、新たな運動のイメージが確認し、10周年を迎える2年後の10大会を目指して、2ヶ年計画を決定しました。続いて、4つの決議※を採択、第8回大会期役員を選出して幕を閉じました。

大会終了後ただちに、第1回幹事会が開かれ、4名の代表幹事、10名の常任幹事などを選出し、年間のスケジュールを決めて、第8回大会期のスタートがきられました。

※1．職能確立のための連帯と共同の行動のよびかけ
2．「欠陥建築」を生みださぬための建築活動を展開しよう。
3．よりよい住環境をつくるために住民の信頼のもとに地域に根ざした建築活動を
4．建築という職能をその根本から否定する「有事立法」の動きに反対する決議

優良断熱建材認定制度の申請状況と試験装置

優良断熱建材(ＤＫ)マーク

前号本欄(昭和54年２月号)でそのあらましをご紹介した優良断熱建材認定制度の発足は制度要綱の発表された昭和53年４月ですが、その後、認定基準の審議、品質試験の項目の決定など、制度をレールに載せるための基礎作業にかなりの日数が経過し、同認定制度が具体的に動き出したのは審査申込みの受付けが開始された同年10月からのことです。

昭和54年２月末日現在、本制度に応募のあった建材は表に示すように60社105種(商品数)にものぼっています。それらの一部のものについては、すでに試験および工場検査を完了していますので、近く優良断熱建材としての認定を受け、その製品にＤＫマークが貼付される予定です。

当試験所では、本制度による断熱性能試験を実施するため図に示す４台の試験装置を準備し、建材あるいは構造体の熱流方向、製品寸法などに応じてそれらを使い分けています。

試験体を通過する熱量 Qt は、加熱箱内のファンおよびヒータの消費電力量から得ることができますが、装置ａ、ｂ、ｃではあらかじめ加熱箱自身からの流出熱量 Qw を実験的に求めておきます。装置ｄでは、加熱箱内の空気温度と高温室の空気温度に一致させますので、加熱箱自身の熱収支を考える必要はありません。消費電力をそのまま読み取ります。

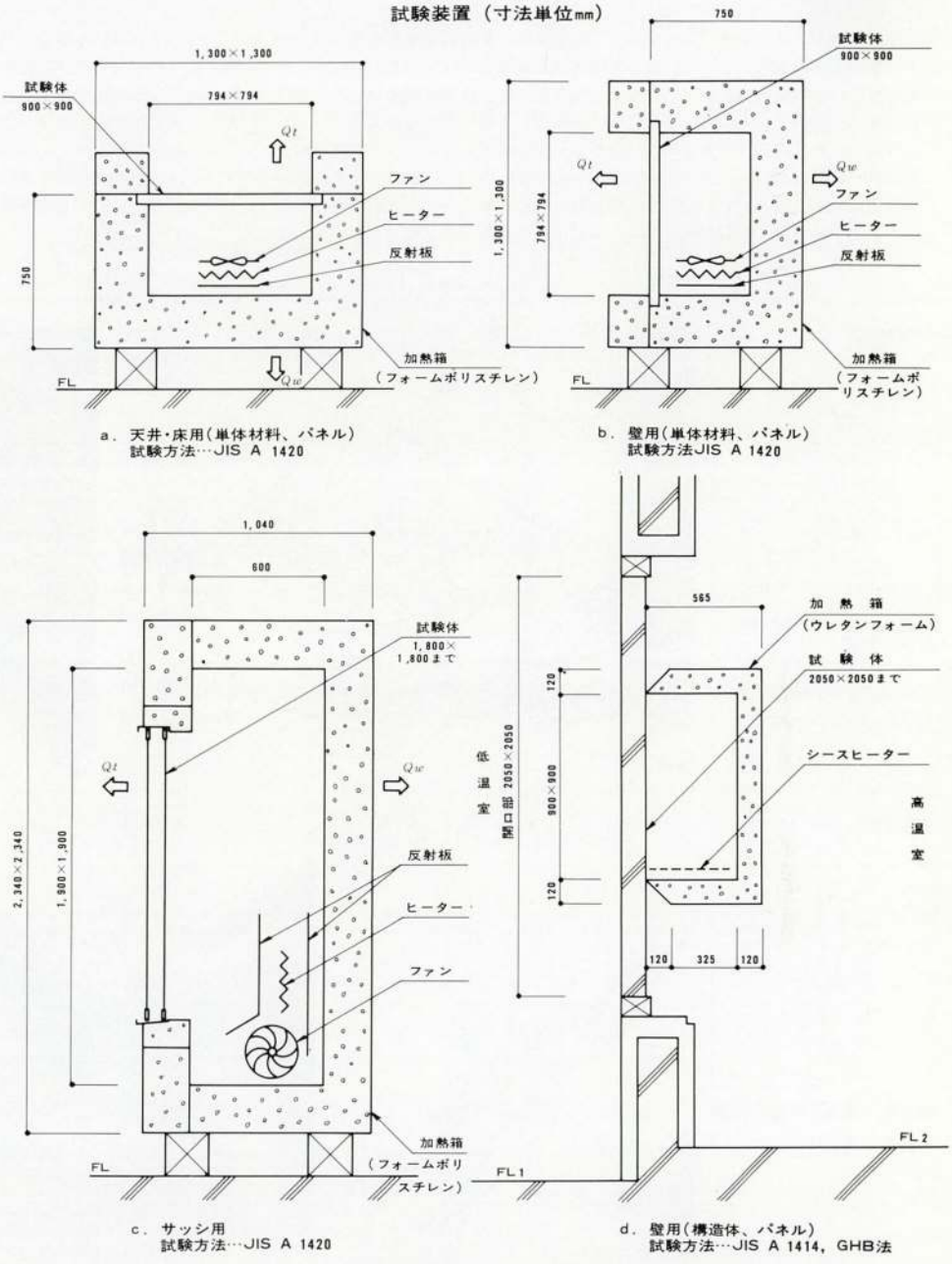
なお、紙数の都合でここでは示しませんでしたが、屋根・天井・床構造の場合には装置ｄと同様な方法で、上下２室を用いる装置ｅがあります。その場合の開口部寸法はＷ2000×Ｌ3300(mm)です。

優良断熱建材認定制度の申請製品一覧

(昭54年３月現在)

製品の種類	申請会社数	申請製品数
フォームポリスチレン	12社13工場	20
断熱サッシ	14社18工場	21
硬質ウレタンフォーム	7社8工場	10
黒曜石パーライト発泡板	1社1工場	1
軽石気泡コンクリート	1社1工場	2
ロックウール	4社4工場	11
グラスウール	11社13工場	29
発泡ポリエチレン	1社1工場	1
人工軽量骨材	7社7工場	7
石綿炭酸カルシウム板	1社1工場	1
ユリアフォーム	1社1工場	2
11種類	60社68工場	105

試験装置（寸法単位mm）



a．天井・床用(単体材料、パネル)
試験方法…JIS A 1420

b．壁用(単体材料、パネル)
試験方法JIS A 1420

c．サッシ用
試験方法…JIS A 1420

d．壁用(構造体、パネル)
試験方法…JIS A 1414，GHB法

■案内図



■道　順

●梅田からの場合

阪急梅田駅より北千里行きに乗車、北千里駅下車。北千里駅より北西約１km、千里東筋沿、国立循環器病センター西側。徒歩約15分。

バス利用の方は北千里駅より「青山台経由千里中央」行きに乗車、「青山幼稚園前」下車、あるいは、北千里駅より「下院の里」又は「粟生団地」行きで「循環器病センター前」下車。徒歩５分。車利用の方は北千里よりタクシー約２分。

●新大阪駅からの場合

地下鉄新大阪駅より千里中央行きに乗車、千里中央駅下車。千里中央駅よりバス「青山台経由北千里」行きに乗車「青山幼稚園前」下車。あるいは、千里中央駅より「粟生団地」行きで「循環器病センター前」下車。徒歩約５分。車利用の方は千里中央駅よりタクシー乗車約５分。

●大阪地下鉄からの連絡

御堂筋線で千里中央行、堺筋線で北千里行きに乗車。

■財団法人　日本建築総合試験所

本試験所　所在地●大阪府吹田市藤白台５丁目125番地の８
電　話●大阪(06)872－0391番（代表)(〒565)
道　順●左図参照

大淀分室　所在地●大阪市大淀区長柄西２丁目１－18
電　話●大阪(06)351－7217番（〒531)
道　順●阪急電車天神橋六丁目駅より線路沿いを北へ約700m

堺分室　所在地●大阪府堺市浜寺石津町西２丁302の４
電　話●石津(0722)44－3912番（〒592)
道　順●南海電車本線石津川駅線路沿い北へ約400m

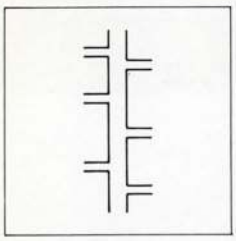
歴史的集落と街路景観— 6 —

紙野桂人　（大阪大学助教授）
長瀬信義　（大阪大学大学院卒）
渡辺豪秀　（大阪大学大学院生）
三木　亨　（大阪大学学生）

街路網と街路景観

街路網の構成が、地形条件とあいまって、街路景観の基本的な構造を生み出しており、集落全体の景観が与える印象を特徴づける結果となっている。
それらは、一本の主街道を軸にしたもの（街道型）と、縦横の網の目をなすもの（集落圏・界隈型）とがある。街道型には、主街道が直通しているもの（一文字型）と、主街道に折れ曲がりのあるもの（曲折型）とがある。さらに、主街道と交叉する神社・仏閣への参道があって（交叉型）、集落の中心をなす四っ辻と、その辻から神社・仏閣などに向いたヴィスタが、見る者に強い印象を与えるといった変化が認められる。集落圏・界隈型は、主街道からはずれた位置に集落独自の細街路網を形成している場合が多い。街路構成の型として、単純な縦横の格子状をなすもの（格子型）と、三叉路や街路の喰い違いの辻から成るもの（阿弥陀型）、不規則な形の道や辻の集ったもの（自然発生型）などが認められる。格子型の集落では、見通しの良い整った感じの街路景観が印象づけられる。阿弥陀型の集落では、辻々の景観が独立して強い印象を与え、閉鎖的な印象が強い。自然発生型の集落では、街路の微妙な曲折と道巾の変化によって、独特の印象が与えられる。辻々によって次に生じる景観に予測しがたい変化の妙があって興味深い。

一文字型



信濃・太子・広瀬・芥川・枚方・鎌福

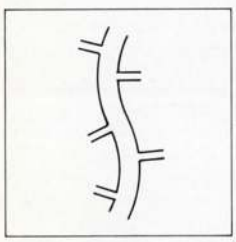


信濃



信濃　街道沿いの典型的な街路景観であるが、妻入り民家の連続が律動感を与えている。

曲折型



駒ヶ谷・飛鳥・灰塚・楠根・豊井・通法寺



駒ヶ谷

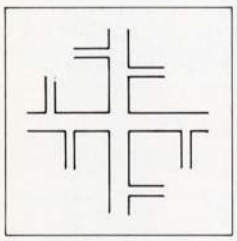


駒ヶ谷　ゆるやかに曲折する街道沿いの街路景観。



駒ヶ谷　街路の強い曲折は見通しを悪くするが、街路を明確に分節し、景観に展開性を与える。

交叉型(1)



恩智・池田・樽井



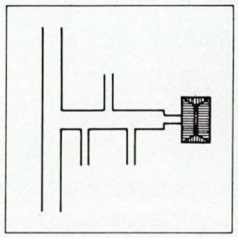
恩智



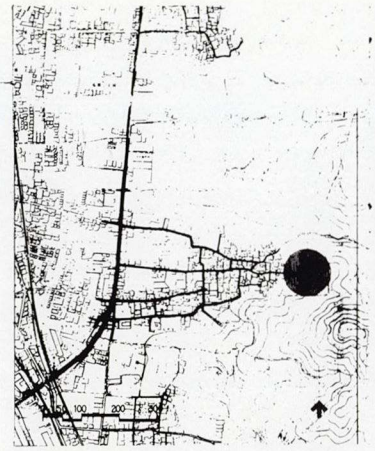


恩智　集落の中心に位置する四っ辻には、鳥居、地蔵などが配置され、まちの核として意識される。

交叉型(2)



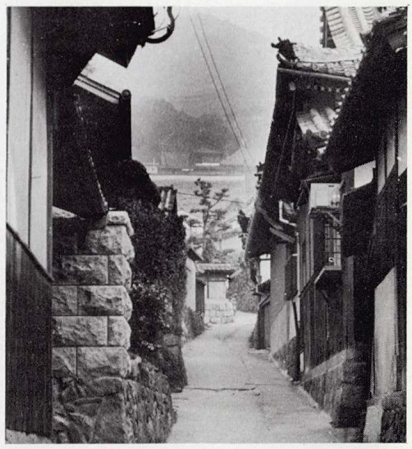
大平寺・大県・安堂



大平寺

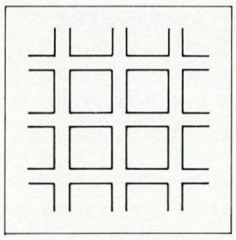


大平寺　集落へ通じる街路からは、目標となる寺院が遠望できる。

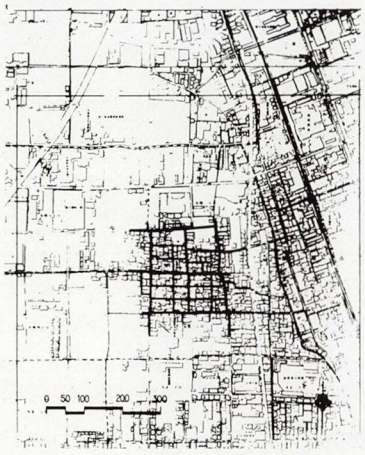


大平寺　集落内からも寺院を望むことができ、坂道とあいまって方向性を感じさせる。

格子型



柏原・富田林・平野・久宝寺・八尾・堺・貝塚



柏原

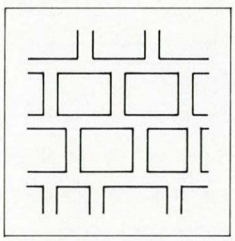


富田林　見通しの良い典型的な四つ辻の景観。

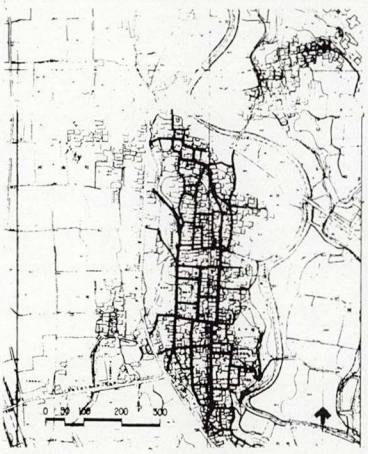


柏原　若干の喰い違いのある四つ辻が街路景観に変化を与えている。

阿弥陀型



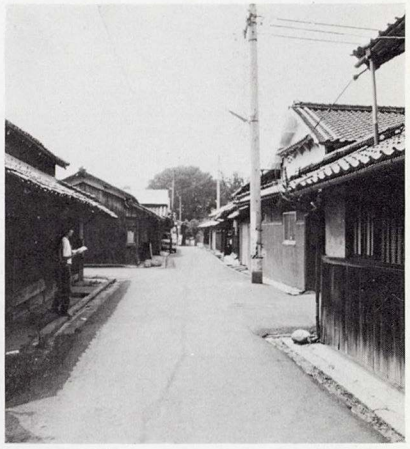
大ヶ塚・富田・招提・高槻・中小阪・畠中・岸和田



大ヶ塚



大ヶ塚　大きな喰い違いのある四つ辻の景観。

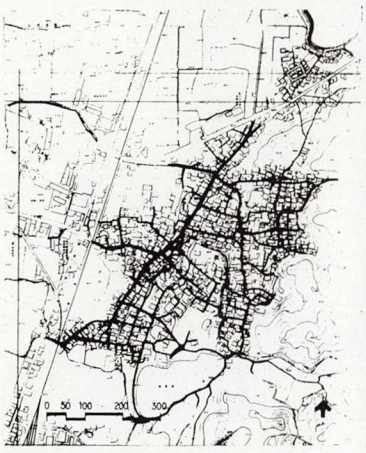


大ヶ塚（同左）

自然発生型

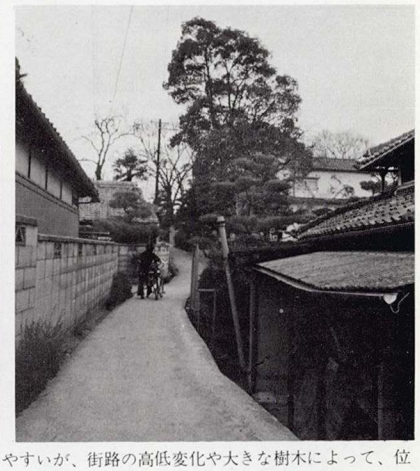


津田



津田





津田　不規則に構成された街路網は方向性を失ないやすいが、街路の高低変化や大きな樹木によって、位置を把握することができる。

建築の眼

熱回収式給排気換気扇

同時給排気の換気扇というのがカタログに載っている。室の換気は稀釈換気が通則だから、給気口と排気口がショート・サーキットとなっては困る。しかし、排気用換気扇に対する給気口は、従来窓や扇の隙間あるいはグリルであった。エアタイトのサッシができ、マンションに窓のない室が作られると、稀釈方式は成り立たない。

某工場の晴天日に起る結露現象では、モニタールーフに対する給気口の窓を密閉したのが一因であった。

汚染源が小部屋とか局部に限定されている場合には、むしろ、給気も確保する同時給排気方式が有効だろう。空気が流入しなければ、流出もしないからだ。

うなぎの寝床のマンションの中央に、無窓のＬＫがある。時に共用排気筒の他の住戸からの臭気洩れの苦情を聞く。給気の不足による排気不十分の恐れがあり、ファンの停止時、負圧になれば他からの流入空気もあろう。廊下でつながる玄関に専用給気口を設ける必要がある。

また熱回収素子つきの換気扇がある。熱回収効率は70%とか。暖房時のコールド・ドラフト防止や省エネルギーに役立つと思うが、機会があれば確かめてみたい。　（ＫＥ）

持たせる

約３年前、建売業者から住宅を購入した。現地の営業担当者は30歳代で若かったが、誠実さのあふれる仕事ぶりに、家族共々すっかり気に入り、今も親戚づきあいしている。営業社員のみならず、会社自体が堅実経営で、次から次へと売上げを伸ばしつつある。

２ヵ年間は月に１～２回必ずクレーム・アンケート（事後調査）に回ってくる。ちょっとした事でも要望すると４～５日位で、たとえ現場が附近から引上げていても、待たせることなく補修をしにくる。３年目からも、２ヵ月に１回位は回覧板にアンケート調査用紙を持って訪問してくれる。１年位前であるが、調査に来た社員が、たまたま洗濯機の故障で困っていた所を、１時間近くも頑張って、パルセレータの修理までしてくれた事もある。

その会社が、入居時以来毎月パンフレット（会報）を配ってくれる。記事の内容は、「住んで良かった」家族の意見や写真、これはもちろんコマーシャルであろうが、その他に必ず連載している生活の知恵「維持補修、手入れのしかた」であり、これが非常に役に立つ。建てっ放しでなくいつまでもいきいきと「持たせる」ことを願ってのサービスである。建売住宅のみならず、一般建築の延命策にも大いに役立つことであると思う。　（ＩＫ）

窓

最近、長らく欧州で活躍している女性評論家の随筆を読んで、感銘を受けたことを一つ記してみたい。戦後多くの建築関係者が、西欧を視察して、日本の建築に多くの示唆と影響をおよぼしたことは、確かである。しかし住生活に関する〝窓〟一つ見ても、彼女が、実際にその土地に住んで、四季を通じて日常生活をしてはじめて、その機能のすばらしさに驚かされている。蒸し暑い夏の夜も、寝る前には完全に閉めなければ固定（とじまり）出来ない日本の窓に比べて、昼間、夜間また夏、冬の気象状況に応じて、住人の好みにあわせて窓を適当な間隔にあけ、或いは倒して固定できる自由度の高い機能と、安全性の良い窓が、どの家庭でもあたりまえとして取付けられている。おびただしい住関係者が来ていながら、大いそぎのかけ足で、ホテルからホテルに転々と動きつつ、その土地の人間の毎日の住み方に接することなく、接するすべもなく通りすぎて行ったのであろう。しかも「うちのことなんかに」自宅では気を使わない男たちだけが、海外の住視察に送りこまれて来ていたのであった。だからホテルや会社の応接間などで、すぐ目につくような家具調度のみに重点をおいて、マネがされ、研究がされて、住の根本にまで目がとどくいとまがなかったと思われる。……まことに厳しい論評に、とまどいと猛省をうながされるものがありました。　（ＵＫ）

技能工待望

毎日新聞日曜版連載の「夫婦合騒曲」に「うちの子ね、手細工が好きだから《大工さんになれば？》って、私いつもすすめているの。（中略）ところが亭主が《大学の建築科を出て大工さんを使う立場になったほうがいい》って反対するのよ」というくだりがあり、これを男の見栄としていた。

この男の見栄と、〝教育ママ〟の見栄とが相乗積となって、進学熱を異常に高まらせた結果、今年もおびただしい数の建築技術者の卵が大学から送り出されてきた。ところが景気の回復は思うにまかせず、新卒業者に対する世間の風は冷たく、「大学は出たけれど」の不遇をかこっている人も少くない。

一方、型枠大工など技能工の不足と老齢化は著るしく、工事進行のおくれが散見される。この矛盾はどうにかならないものだろうか。頭脳集団とコンピュータだけで建築物ができ上る時代がくるまでには、また少し時間がかかりそうだ。今こそ、技能工養成の必要性についての世論もり上げに真剣にとりくみ、腕に覚えのある人達が一段と優遇される社会への変革に全力を尽さねばならない。　（ＴＨ）

金谷英一
大阪工業大学教授

稲村數矢
近畿地方建設局営繕部長

上田宏二
高橋上田設計事務所専務取締役

谷口尚武
大林組副社長

特集
商業空間
—商業機能の公共性の空間化—

今は去る景気昂揚の時期に急速に発達した商店街や地下街などの商業施設の開発には、昨今、いささかの変化のきざしを見ることができる。
これまで、「売らんかな」に徹して店舗の集積の華やかさや売場面積の拡大に偏しがちであったのに対して、最近のものでは、顧客の購買行為のアメニティ（快適性）を考えたり、市民生活の一部を抱き込むべく、広場やシンボルゾーンや戸外設備をもつことも多くなってきている。
集合した住宅へのサービスを目指したもの、交通の結節点の特性を生かしたもの、旧界隈を再生するための「通り」の変身などがあるが、多くの場合、コモンスペース（共用空間）をいかに創り出すか、また取りこんでいくかというところに工夫が見られ出している。
これを別な面から見ると、「商業機能のパブリシティ（公共性）の空間化」とでもいえるものであろう。
ここでは、このような性格の商業施設を「商業空間」と呼び、その現状から将来を考えるための場を誌上に構成しようとした。
必ずしも成功とはいえないが、建築や都市開発の当事者のみでなく、ひろく、各方面の方々の参画をもとめるべくつとめた。



トロント・イートン・センターの長さ860フィートのガレリア

本号特集編集幹事：稲垣雅彦・岡本弘之・片倉健雄・後藤　攻・榊原　潤・寺井信夫・奈良鎌一・藤本尚久・山口祥悟

●序論

欧米の商業施設・コモンスペースの新しい動向

足立　孝

内部化と外部化——

商店街のアーケードづくりは、いわば、外部空間の内部化であり、建物内に街路づくりをして水や緑を配するのは、内部空間の外部化といえる。この2方向は同一点に収斂する。

快適化へのイメージチェンジである。古くは欧州のガレリア、新しくは米国の郊外型ショッピングセンター（以下ＳＣと略称）から、最近では、ビルとビルの間に大屋根を架け、巨大な吹抜空間を公共広場とするものまで生まれている。

変化と発見——

人々は変化と発見を求めて集まってくる。

ロスのブロードウェイプラザ（後出）では、地下広場中央にある池❶に植木鉢を置き、夏の夕べには植木鉢を移し、その池をカバーするステージを仮設して❷、バンドが演奏される。また、セントルイス郊外のＳＣでは、通路の交叉部にやはり仮ステージを設け、素人モデル（店舗関係者）でファッションショー❸をやっていた。このようなソフトな運営の可能性を含むことも大切だが、ハードなものであっても、画一的な取り扱いは避けたい。

バンクーバーには、ミネアポリスの有名なモール❹をまねて、曲線の車道を持った商店街があるが、なんとなく豊かさに乏しい。ニコレットモールの場合は、バス停と街灯は同一規格だが、花壇・噴水・彫刻などの形と配置が同一ではない。バンクーバーの場合は、核になる百貨店が地下商店街につながり、モールに対しては無愛想であり、沿道の店舗も低層で古くさいこともあるが、樹木・ファーニチャー・バス停などはすべて同型のくりかえしになっており、その単調感がにじみ出ているように思う。

車道のカーブによって生じる歩道幅の変化が、樹木やファーニチャーの眺めに変化を与えるわけだが、ミュンヘンの有名なノイハウザー通りは、幅がゆるやかに変化する広いモールで、いわば、長い広場と解すべきもの、そこの樹木・街灯・花壇・諸展示物などは群れたり、離れたり、街灯などは向こう側からこちら側へ渡ってきたり、その配置に変化があって面白い。（54頁写真）

サン・ホセのイーストリッジＳＣでは、通路の両端に階段を持った小空間、中央の大空間は広場的役割を持ち、天井や床面も変型、全体を通じて空間の変化を感じさせる。さらに、端部にある専門店街の2階通路は吹抜けで分断されているが❺、向こう側へ何本も小橋を架けて、対岸という隔絶感をやわらげている。（51頁写真）

トロント市のイートンセンターはまだ工事を残しているが、すでに百貨店・専門店街・事務所ビル・地下鉄連絡地下街・高層駐車場などが出来ている。専門店は地階を含めて3層になっている。その両端（その一端は百貨店との接点）に吹抜空間を持っていて密閉感が少ないし、吹抜部の端から各階の店や人の動きを同時に見ることができる❻❼。



❶ブロードウェイプラザの池



❷ブロードウェイの仮設ステージ



❸セントルイスＳＣのファッションショー



❹バンクーバーのモール



❺イーストリッジＳＣのブリッジ



❻イートンセンター



❼イートンセンター

カバーされた公共広場——

ジョン・ポーツマンは一連のホテルづくりを通じて留意した要点について、自著の中で、‘自然の導入’をはじめいくつかを挙げているが、そのうちで、‘動き’と‘人と人が見合う、ふれあう場’の2つが変化に関係深いものと思う。‘動き’は露出したＥＶワゴンの上下運動、噴水、小川をさらさらと流れる水と反映する光などに演出されているが、シスコのハイアットリーゼンシィーホテル(50頁写真)では人の動きをも加えるべきだろうと感じた。‘人と人が見合い、ふれあう場’は彼が一番基本的なものとしてとりあげたものだろうし、その考えからカバーされた公共広場的な扱いが生まれてくる。広場には、広場不安・空間不安とか言われるものを感じさせないような何かがいる。また広場だけでは人が集まるとは限らない。そこで、ホテル・劇場・レストラン・専門店・百貨店などを持った複合ビルが広場とともに建設されることになる。

ミネアポリスのダウンタウン復興に前述のニコレットモールも効果があったが、中心広場としてのクリスタルコート(49頁写真)の役割は大きい。

美しいガラス屋根の下の広場にインフォーメイションや展示・カフテリアなど仮設的なものが置かれ、1階の周辺には超高層のＩ・Ｄ・Ｓセンタービルのエレベーターホールに通じる入口をはじめ諸店舗がならび、コートの2階には銀行・レストラン・店舗などのある通路がまわり、さらに、道路をまたいで向こう側のビルへカバーされた陸橋が三方向に架けられ、いずれは30数棟のビルをつなぐ予定のスカイウェイ計画の一部になっている。そのルートに沿って各ビルの2階にも店舗がはりついていて、屋外に出なくても一応用が足せるように計画されている。このコートは四季を通じて多くの人々を集めている。ちなみに、ミネアポリスの冬は酷寒であるが、暑い上に、ラッシッ時の車の停滞の激しいヒューストンでは、ダウンタウンタンネルシステムと名付けて、逆に地下道でビルとビルをつなぐ計画を進めており、その一部ができている。ロスでもダウンタウン復興の布石の一つとしてブロードウェイプラザが生まれた。両側の高層ビルの間に屋根を架け、1階には両側ビルの入口、専門店、百貨店、中央吹抜部にあるエスカレーターで地階に降りると地下商店街が延びており、降り口のすぐ横にホテルのロビーやレストランが展開していて、1、2階ともに24時間開放された公共広場になっている。

最近のものでは、モントリオール東部再開発の目玉につくられたデ・ダルジャン(47頁写真)がある。道路に囲まれた1ブロックの左右に再開発ビルを建て、その間に屋根を架け、片側のビルに沿って通路を貫通させ、反対側のビルとの間にできた空地の大部分を地下1階まで掘り下げて広場としている。広場に面したビルには天井に近い4階にホテル、下階までの間にレストラン・劇場・店舗などが入り、広場から見上げる窓から照明が輝いて、天井から吊り下げられたオブジェとともに、にぎやかさを加えている。なお、広場に接していない端部の通路下にも商店がならんでいる。'77年夏には内部の一部が未仕上げで、人も少なくガランとしていたが、'78年秋に訪れたときには、多くの人々が出入りしており、広場の一隅には仮ステージができていてＴＶ中継準備に大童といった状況で活気があり、地下鉄駅も近くにあって、少なくとも人が集まる点では企画の成功が窺えた。

米国人はアイススケートが好きらしい。ロックフェラーセンター中心のご存知サンクガーデンは、夏は芝生にビーチパラソル、秋になるとアイススケート



❽ザ・ガレリアSC



❾



❿オムニ・インターナショナル・アトランタ

場に変わる。また、ヒューストン郊外のザ・ガレリアＳＣ❽は中央吹抜にアイススケート場を設け、人の滑るのを見ながらアイスクリームをなめたり、ショーウィンドをのぞいたりという工合になっている。

この種の巨大なものにはオムニ・インターナショナル・アトランタ❾❿がある。14階の高層ビル群に三方を囲まれ屋上に架けた屋根と一側面に採光窓をとり、中央部には広いスケート場、その周辺にはおきまりのいくつものレストラン・店舗などが数階にわたって配置されている。ビルの上階はホテル・事務所・会議室など、その上、子供のレジャー施設もあって、そのためにおそらく世界一長いと思われるエスカレーターが設けられているが、現在は休業中とかで、エスカレーターも停止していた。デ・ダルジャンと違って、上階の表情はヒッソリしているためか、夜にはスケート場の上部に青い色のレーザー光線が走る。

この建物に隣接して、屋内競技場と見本市・展示・会議場の2棟の大建築が附設されており、いずれは、地下鉄がこれら建物の間を通る計画になっていて、そのためのスペースが確保されている。積極的にプロチームの試合やアイスショー、国際会議などの誘致を図り、アトランタ市の発展に寄与することが期待されている。

街の再生——

欧州の都市では、1階が通り抜けでき、そこに店舗がはりついていたり、ビルとビルの間にある中庭がカフテリアに利用されたり、まがり道の隅角部に店とか植木・彫刻やベンチなどが置かれていて、細街路の‘意外さ’を味わわせてくれるところが多い。シスコにもそれを心がけて改装した通路があるし、欧州移民の大都会サンパウロやブエノスアイレスにもその種のものが見られる。

火災にでもなれば逃げられないような奥まったところで一杯やるのが好まれると同様、大空間と違って、human scale に囲まれた細街路は、本質的には安定空間であり、少人数の楽しみもある。

ハワイのキングスＳＣ(52頁写真)はその新しい一例といえる。

御多分に洩れず、米国も不景気になってからは、多額の費用を要する再開発でなく、リノベーションと称して、金のかからない改装によって建物を再生させるのが流行してきていることはご存知の向きも多いと思う。ここでは個々の建物については省略し、街の再生の例としてガスタウンをとりあげる。

バンクーバー発祥の地であったガスタウンは、その後の発展に取り残されていたが、なんとか復活させようとして、通りの街灯や舗石などを新調し、また、通りに面したところに小さなものだが一つの核としての建物を新築し⓫、ブティクなどが入っている。1階両端に開放した出入口をとって、直接、中庭に人を誘導する⓬⓭。単なるストリートアーキテクチャーでなく、裏の中庭を小広場にして、周囲に店舗・レストランを配している。も一つの例は、通り店舗の間に少し引き込んである、裏の細街路への入口⓮を新しいデザインに変え、同時に裏の細街路に面する建物の煉瓦の壁⓯をペンキで新しくし、窓もとりかえて雰囲気を一新して、観光客や若い人を呼びこもうと努力している。



⓫ガスタウンの核としての建物



⓬ガスタウンの核建物の中庭



⓭ガスタウン——上から見た中庭



⓮ガスタウン——裏の入口



⓯ガスタウン——裏の細街路の建物の壁

お国柄か？——

シスコの日本人街のモール⓰と、昨年10月末オープンしたばかりのロスのリトル東京のモール⓱をご覧いただきたい。ちょっと腰掛けようかと思うところがない。心斎橋と同様に、休みたければ喫茶店へどうぞということであろうか。



⓰シスコの日本人町モール



⓱ロスのリトルトーキョウのモール

最後の写真は、シスコのマーケットストリートの地下コンコース（地下鉄の改札口がある）の売店⓲である。開放的なわが国の売店と比較してみると面白い。日本人町のモールとこの売店、それぞれにお国柄があらわれていると考えるべきだろうか。



⓲シスコの地下コンコース売店

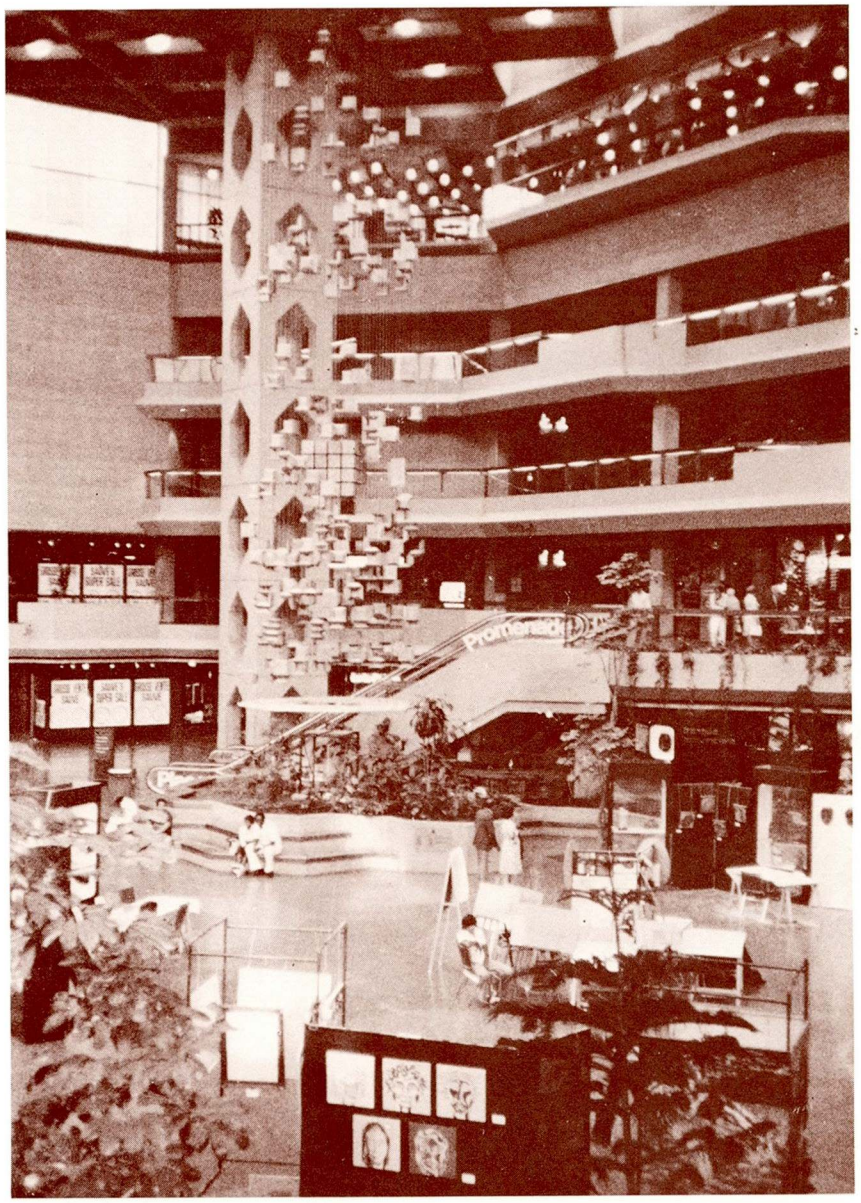
＊　　＊　　＊

情報キャッチの早いわが国のこととて、近年、スマートな店舗や面白い計画があちこちに実現している。商業空間は人々のニーズのいち早い具体化であり、そのつかみ方によっては、人間性や大衆文化といったものに関連した多くの示唆を与えてくれる、その点で興味深い対象であるといえる。

（あだち　たかし　大阪大学教授）

●外国の商業空間事例１．

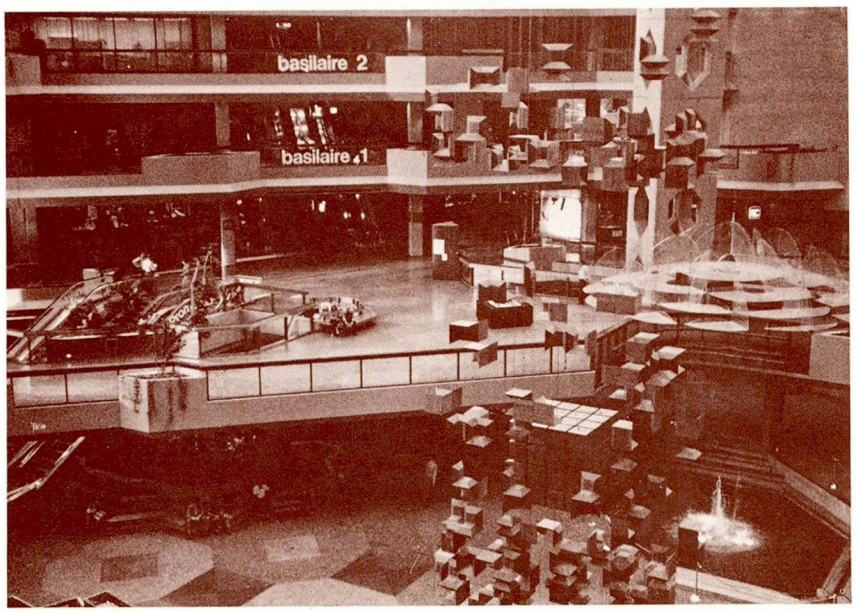
デ・ダルジャン（カナダ・モントリオール）

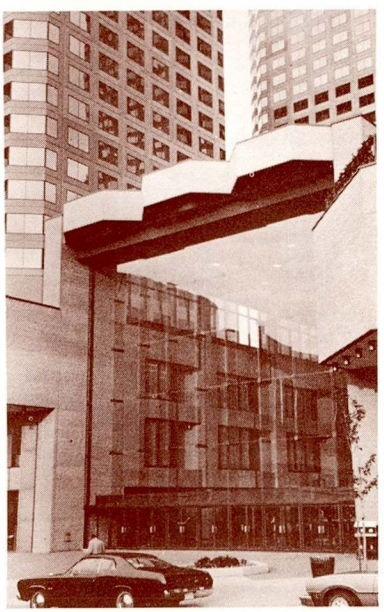










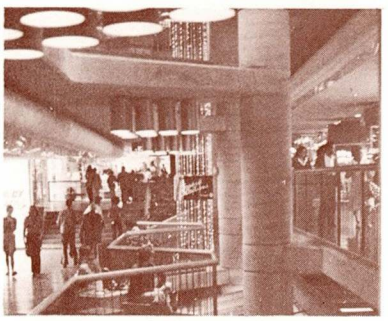


●外国の商業空間事例 2

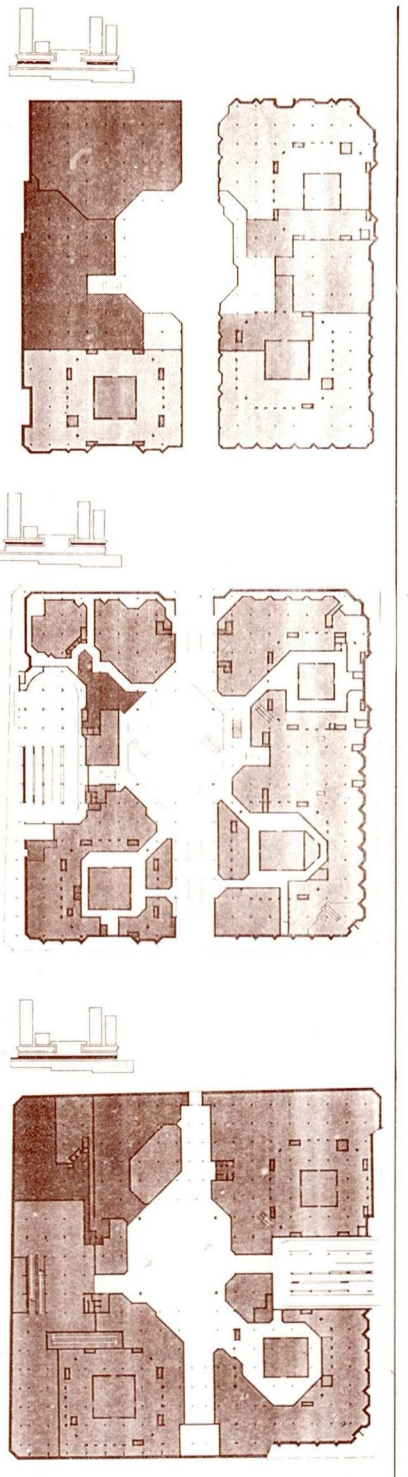
ル・テラス(カナダ・モントリオール)





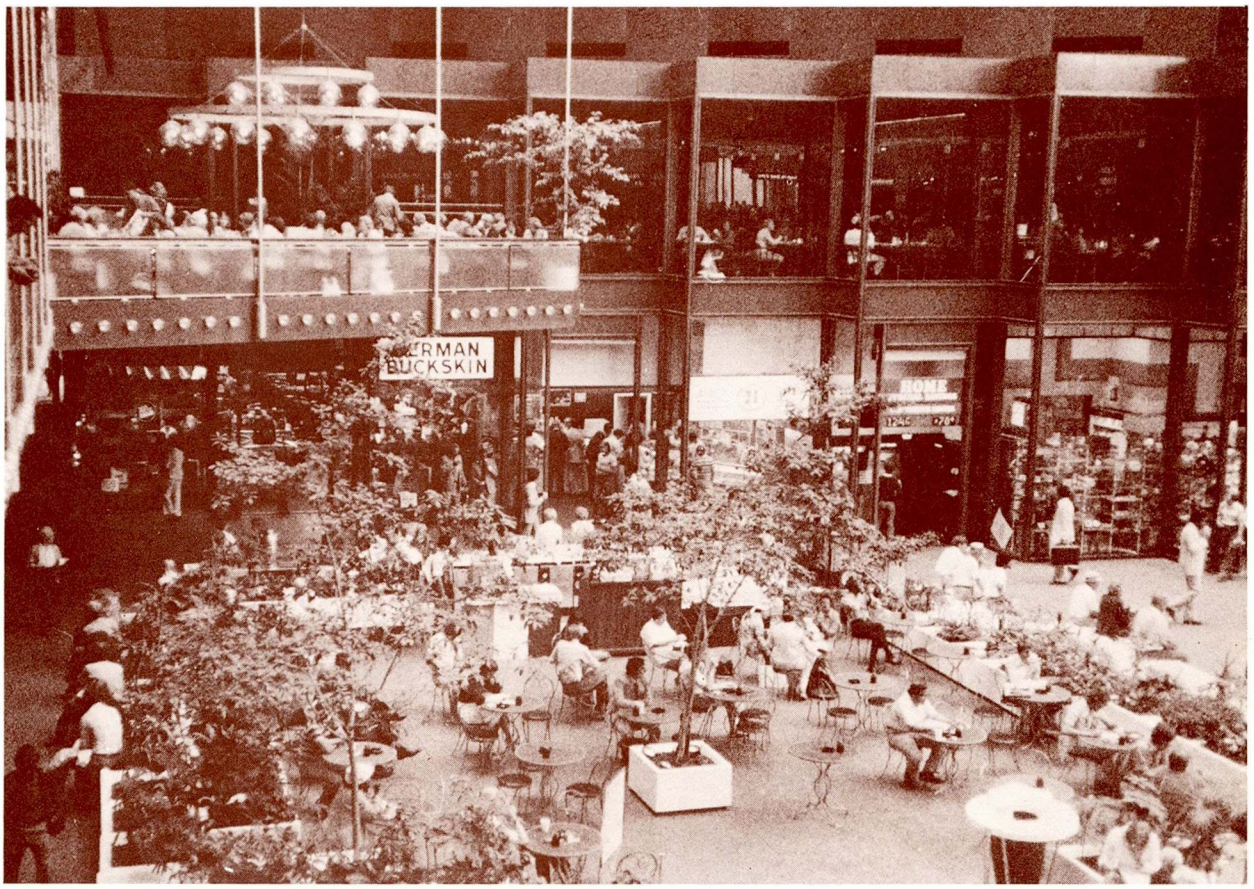


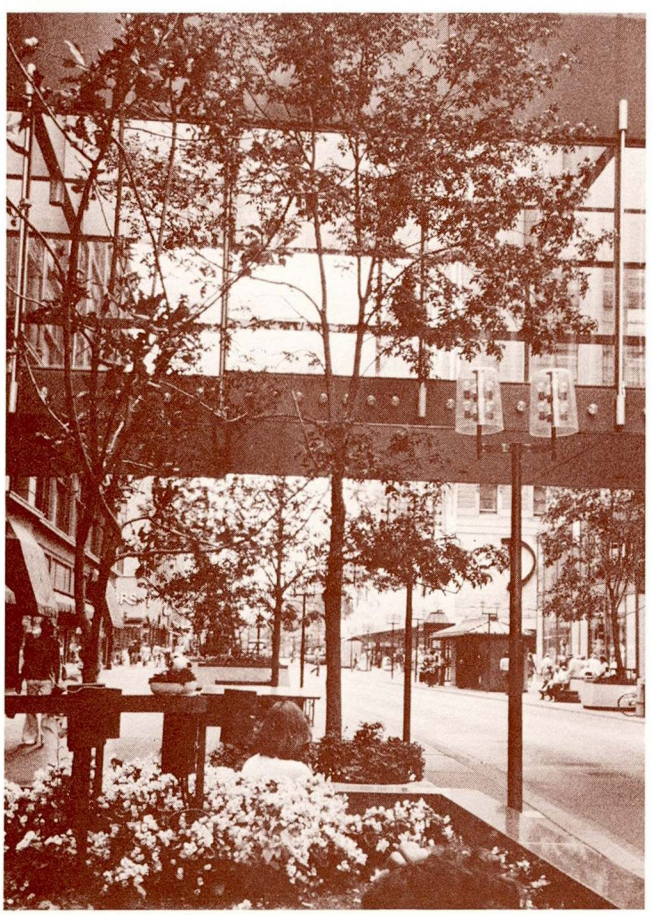




●外国の商業空間事例３．

クリスタルコート（アメリカ・ミネアポリス）



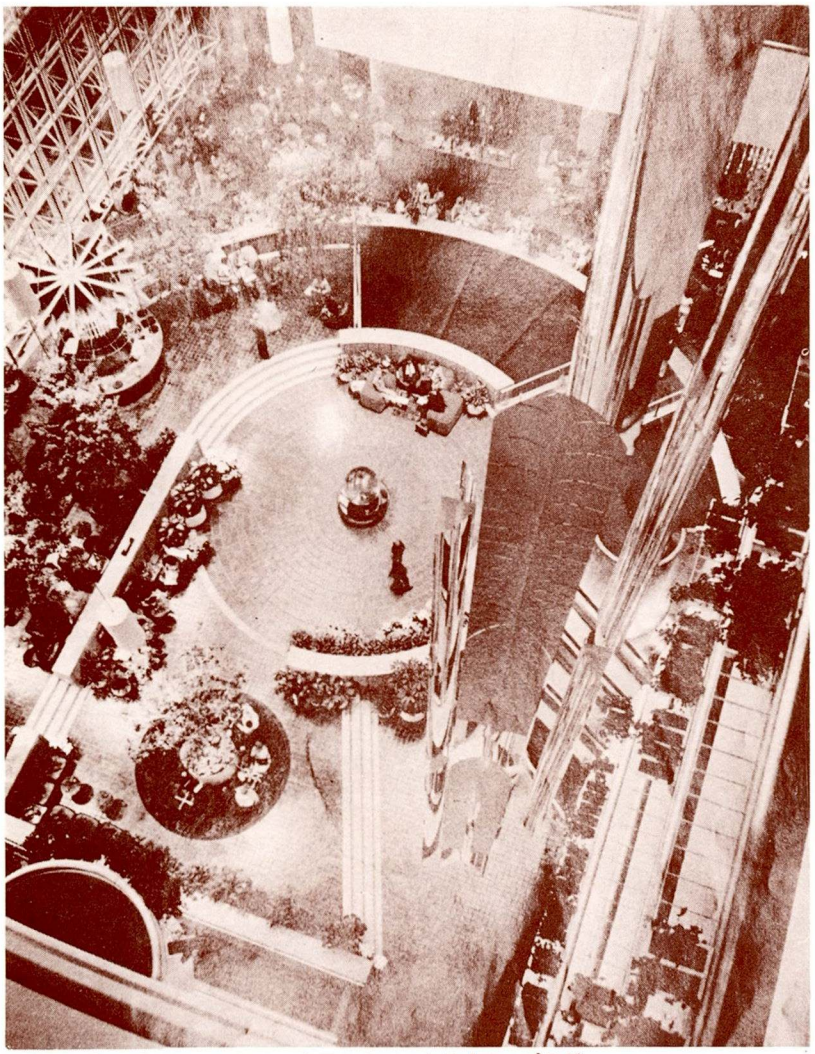




●外国の商業空間事例 4．5．

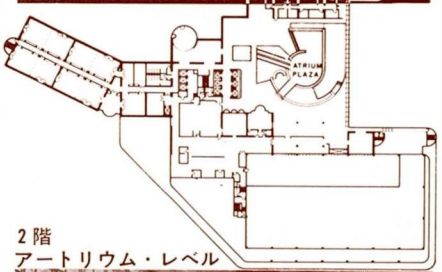
ハイアット・リージェンシィ・ホテル(アメリカ・ダラス)
シティコープ・センター(アメリカ・ニューヨーク)

—ATRIUM2例—

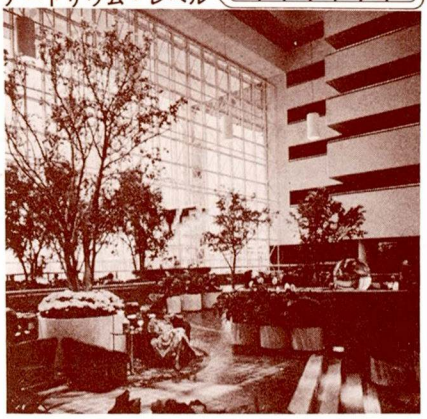


ハイアット・リージェンシィ・ホテルのアートリウム・プラザ

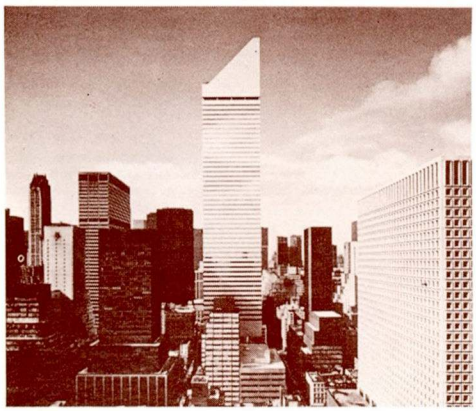


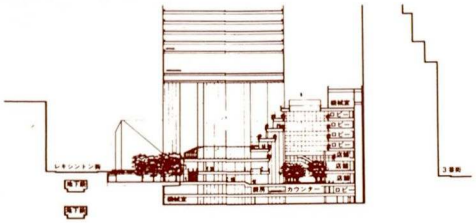


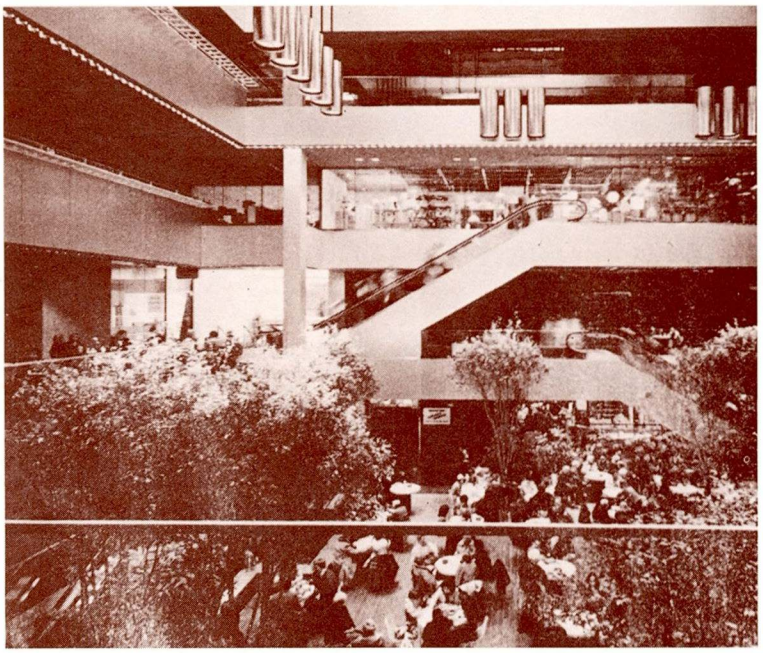
2階
アートリウム・レベル



シティコープ・センターのアートリウム・プラザ



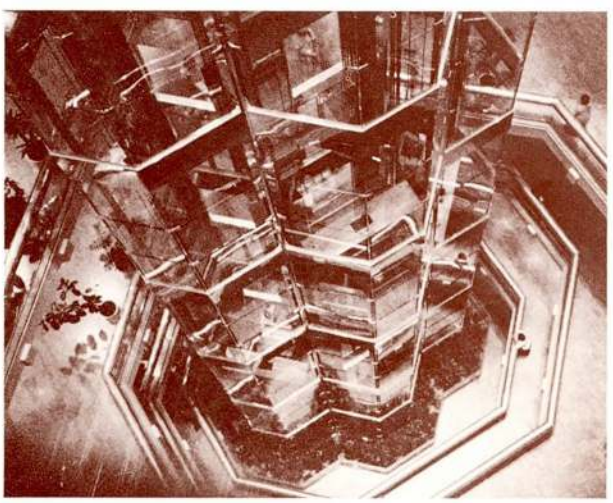


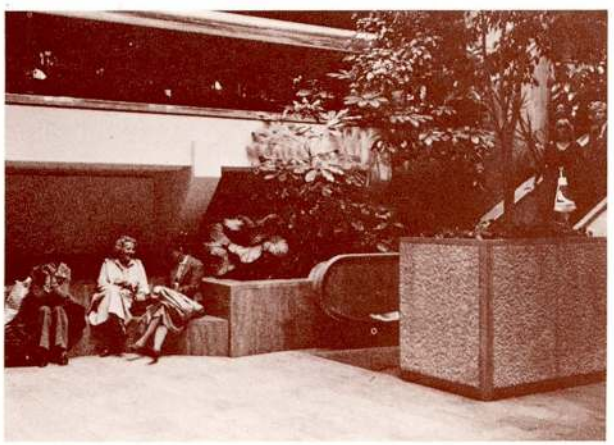


●外国の商業空間事例６．

ウォータ・タワー・プレイス
（アメリカ・シカゴ）







●外国の商業空間事例７．８．

イーストリッジSC（アメリカ・サンホセ）
クリスチャンサイエンスセンター（アメリカ・ボストン）





イーストリッジＳＣ

クリスチャンサイエンスセンター



●外国の商業空間事例 9 . 10.

ハワイ・インターナショナル マーケット・プレイス(アメリカ・ハワイ)

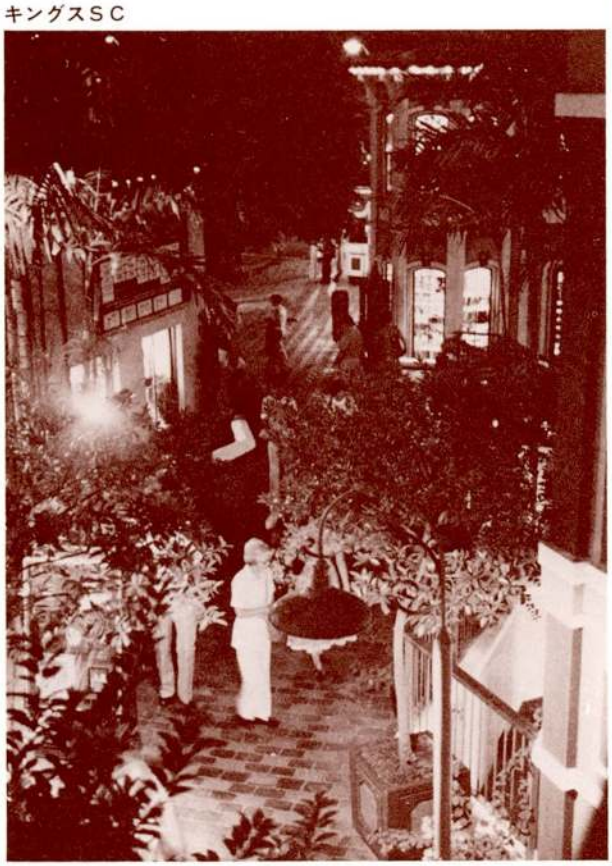
キングスSC(アメリカ・ハワイ)





ハワイ・インターナショナル・マーケット・プレイス

キングスＳＣ



●外国の商業空間事例11.12.

ロアノマルム再開発

(スェーデン・ストックホルム)





ロアノマルム再開発の青空市

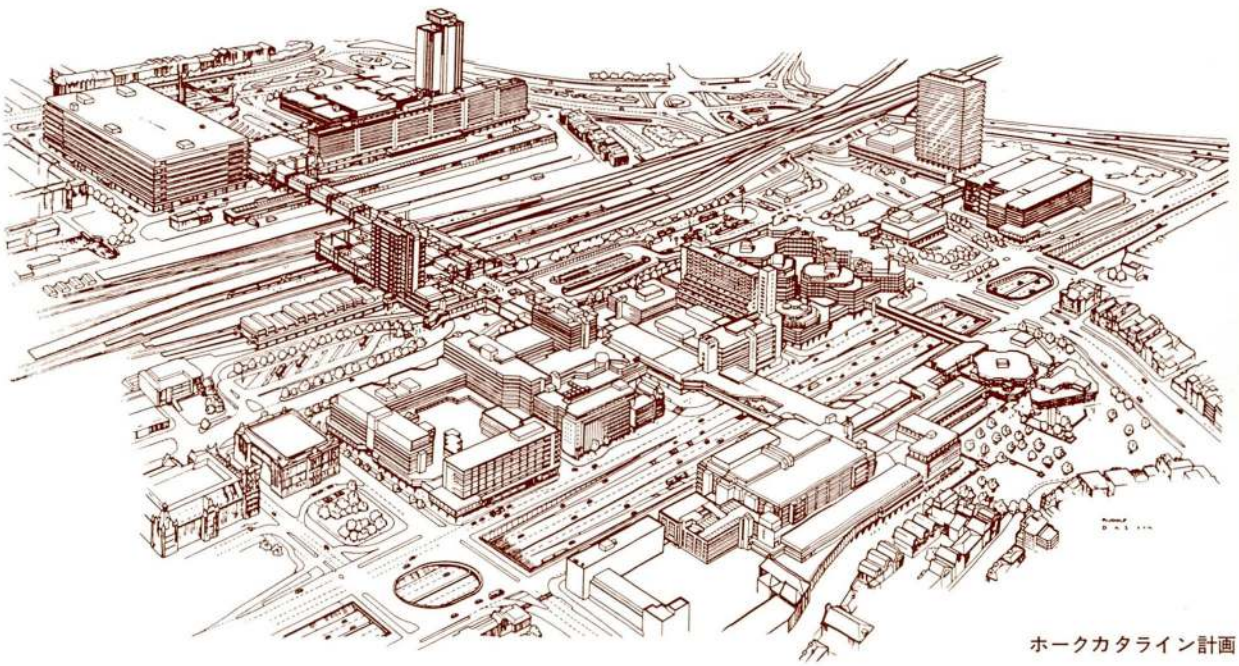
Hamngatan再開発ビルのピロティ



ホークカタライン計画(オランダ・ユトレヒト)
アーケード(オランダ・ハーグ)
ラインバーン(オランダ・ロッテルダム)







ホークカタライン計画

ハーグのアーケード

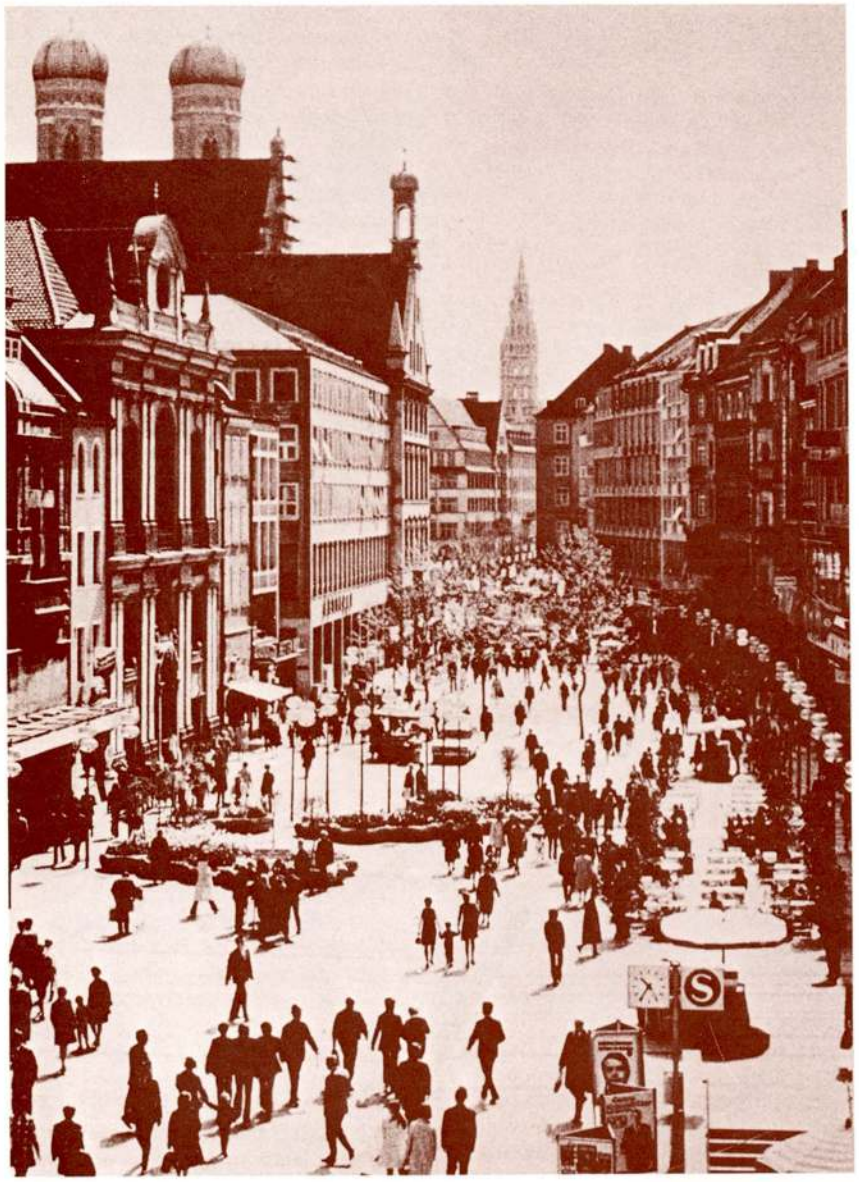


ロッテルダムのライン・バーン



●外国の商業空間事例16.

ノイハウザー通りのモール(ドイツ・ミュンヘン)









この章の写真は、足立孝氏、片倉健雄氏の撮影によるものです。一部写真は、「ARCHITECTURAL RECORD」より引用したものです。



高層住宅用集合排気に
翼理論を応用した自然換気の画期的製品

ウイングジェッター



長谷工不動産株式会社 機材部

東京都港区赤坂4－5－19　(03) 586-5791

大阪市東区平野町5－40　(06) 222-0350

南海なんばターミナルビル「なんばCITY」計画

外海　陸弘

■計画の背景

南海電鉄難波駅が改造整備され、その下部に「なんばCITY」がオープンした。この「なんばCITY」は駅施設とショッピングスペースを有機的に結びつけ、ファッション文化・情報のまちとして、大阪みなみの地盤沈下の歯止めと発展への核となる街づくりを目指して計画されたものである。難波駅は、明治18年の開業以来90年以上にわたり、大阪みなみの玄関口として親しまれ、みなみを代表するターミナルとして、大阪ならびに沿線都市の発展の足としての役割を果して来た。しかし、泉北ニュータウン、狭山ニュータウン、橋本林間都市等の住宅開発が進められるに従って、従来の駅施設では激増する乗降客に対処出来なくなった。さらに将来の乗降客の増加にも充分対応出来るよう、6輌運転が限界の駅施設を10輌可能とし、安全な輸送、明快な動線、快適な施設を建設することを第一義とし、計画が開始された。プラットホームの下を通る蔵前道路上の桁下有効高（GL＋4.7m）を確保するためホームを3階に設けられ、8線9ホーム10輌編成の発着が可能となり、乗降専用ホームにした明快な動線処理がほどこされている。

「なんばＣＩＴＹ」はプラットフォームの下部地上2階から地下2階の4層分を占め、顧客のための駐車場は、4階屋上に、荷捌等後方施設および機械室は、地下3階に設けられている。今回オープンした部分は、東西約50m、南北約200m、店舗面積8,800㎡、専門店119店（物販93店飲食26店）の規模をもつAブロックの西半分のエリアである。

■なんばＣＩＴＹの背景

難波は南海、近鉄、地下鉄、国鉄等の乗降客の合計が1日100万人を越え、全国的にも有数なターミナルを形成している。商圏人口は一次450万、二次350万、計800万人にも達する。周辺の商業構成は、男性中心の飲食歓楽中心の街を形成し、購買意欲の旺盛な若い女性やヤング層が集まる界隈が少ない魅力に乏しい街である。そこで多面的なマーケット調査から提起された消費者のニーズや、多くの社会的要請をベースに「地域社会に貢献する」という南海電鉄の企業姿勢をおりこみ、みなみの発展の起爆剤となる新しい街づくりが計画された。そのために、基本コンセプトを設定した。さらにあらゆる角度からリサーチを行い、種々のケーススタディの上、今日のマスタープランが出来上がった。

基本コンセプト

1．都市のシンボルにふさわしい機能を備えたＳＣ.
2．ファッション、文化、情報の核となるＳＣ.
3．商品の情報を高密度にマーチャンダイジングしたＳＣ.
4．21世紀を指向したビジョンあふれるＳＣ.
5．地域に密着したコミュニティのあるＳＣ.
6．安全を最優先したＳＣ.
7．合理的でかつ清潔、快適なバックシステムを備えたＳＣ.

リサーチ

1．都心としての難波の位置づけ
●商業圏の現状分析と動向　●市内主要ターミナルと難波との関係
●2大都心としての難波と梅田の比較
●難波地区商業施設の実態および予測
2．沿線開発との関連予測
3．最適テナント種別および規模の分析
4．テナント業種別配置ケーススタディ
●営業時間別によるゾーニング　●営業効率によるゾーニング
●核店舗と商品レベルによるゾーニング　●消費者サイドから見たゾーニング
5．公共性の分析
●プラザの実例と必要性　●公共通路の配置と最適な距離・位置・巾の分析
●エスカレーター・階段の適正な位置と方向
●公共便所の適正な場所と個数
6．バックヤードの分析
●サービス諸施設の適正規模および適性システム
●ゴミ処理システムの現状と分析
7．サインの考え方

■なんばＣＩＴＹの平面・動線計画

当プロジェクトは駅舎、百貨店、店舗、銀行および超高層ホテル等の機能をもった巨大な複合建築物であり、利用する不特定多数の人々の安全を最優先することが計画の基本的な考え方であった。既存の南海ビル（高島屋百貨店）に接続した南北に長い平面形は、その接続部に1,000㎡の外部吹抜空間を設け、既存建物と有機的に結合させながら、防災的には明快に分離した。この空間は地下1階までの自然採光を可能にし、人々に憩いの場を提供するだけでなく、オリエンテーションの役を果している。このことが地下1階をメインフロアーとしての印象を与え、地下2階への買物客の導入を容易にしている。南北に長い平面形故に安全性の高い公共通路を、防災面から南北に主軸として計画し、避難の有効性と回遊性を考慮の上計画した。この主軸に直結した避難階段は、避難時における心理状態を分析シミュレーションを行ったうえ、適正な位置に配し、日常動線と一致させ計画した。

■各階の特徴

地下2階は明確な目的意識と購買行動がとれるよう、顧客の積極的な誘引につながる工夫が必要であった。そのフロアーの核として、中央部の池周辺と南端部にプラザを設け、上階と一様な附加価値になるよう工夫した。主通路は巾5m、高さ3mの空間で、床はアイボリー色テラゾー400角斜め貼とし、壁際は赤みかげ石のボーダーで足元を引立て、ファサードの連続性をもたせた。壁は、地下街にありがちな陰気さをさけ気品のある雰囲気を出すため、トラバーチン大理石を採用し、コーナーの現寸にも気を配り、ファッション街にふさわしい効果を狙った。天井はアルミ押出型材T型ルーバーを駒返した使用、排煙上の意図をかねた意匠が、ダークグレーメタリック仕上と相まって、落着いた雰囲気をつくり出している。

地下1階は、「なんばＣＩＴＹ」の主導入階であり、運輸動線が一諸になった、にぎわいあふれるフロアーである。北端1,000㎡吹抜につながる広場は、玄関にふさわしい雰囲気をもつ空間とするよう、3階の駅舎と同じレンガタイル貼とし、駅動線としての連続性をもたせた。店舗構成は地下2階と同様の混在型で、二次オープン時は大半を百貨店が占めるフロアーである。主通路は運輸動線にも使用するため巾9mを確保している。床・天井の仕上は地下2階と同程度であるが、壁は赤みかげ石本磨として、レンガタイルとの連続性が考慮され、重厚で落ついた雰囲気を醸成している。

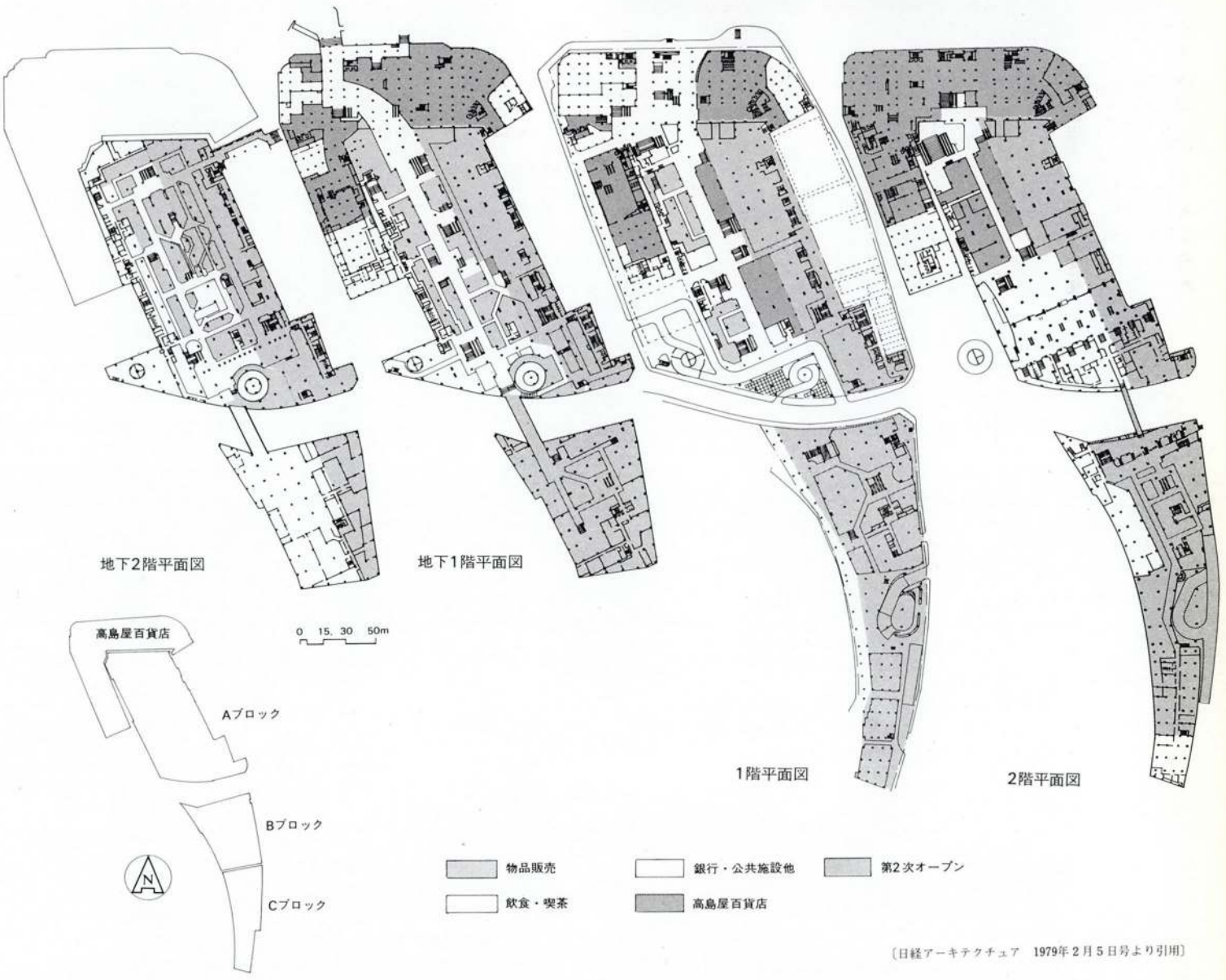
1階は外部と直接かかわりあいをもつフロアーであり心斎橋、戒橋の終点でもあり起点でもある。中央の通路を介し、西側に専門店、東側に百貨店が配置されている。中央通路の床は北木産みかげ石荒摺り仕上、模様に赤みかげを配した。百貨店の壁は赤みかげ本磨とし、専門店の白ビドロガラス仕上と対比させている。また床カベ天井共白色で構成された、専門店ゾーンファッションストリートが豪華な雰囲気を演出している。

現状ではまだ片肺操業であるが、昭和55年春には東西60m、南北600mの平面規模となる。その時こそ、難波は大阪南の核としてゆるぎない地位をしめ、国際性ゆたかなファッション・文化・情報のまちとして人々に親しまれるであろう。

（そとみみちひろ　竹中工務店設計部設計課長）

所 在 地　大阪市南区難波新地６番町12番地
建 築 主　南海電気鉄道
企　　画　南海電鉄
協力　田中一光・杉本貴志(環境)
　　魚成祥一郎(店舗構成)
　　石井　幹子(照明)
　　一柳　　慧(音楽)
建築設計　竹中工務店
設備設計　竹中工務店　大阪電気暖房　高砂熱学工業
監　　理　南海電鉄　日建設計
施　　工　竹中工務店・大林組 共同企業体
敷地面積　Ａブロック 31,238㎡　Ｂブロック 6,929㎡　Ｃブロック 5,681㎡
建築面積　Ａブロック 28,840㎡　Ｂブロック 6,618㎡　Ｃブロック 3,918㎡
延床面積　160,200㎡
店舗面積　一次10,000㎡（昭和53年11月竣工）
　　二次21,000㎡（昭和54年３月予定）
構　　造　ＳＲＣおよびＳ、Ｂ３、３Ｆ
用　　途　一般店舗・百貨店・駅舎・銀行・駐車場・荷捌場他





〔日経アーキテクチュア　1979年２月５日号より引用〕



地下２階　ステージのある花階段



地下２階　水に浮かぶ店舗群



地下２階　ピラミッド噴水



地下1階　1000㎡プラザ

南海なんばターミナルビル「なんばCITY」

施工　竹中工務店・大林組 共同企業体
設備　大阪電気暖房・高砂熱学工業・近畿電気工事・新菱冷熱工業・須賀工業・南海建設









1	2
3	

4

1.屋上駐車場シリンダーランプウェイ
2.西側ファサード
3.地下1階　主通路をのぞむ
4.地下2階　ピラミッド噴水

撮影　上川征洋　古田雅文



ロンモール布施〈布施駅附近高架下利用店舗〉

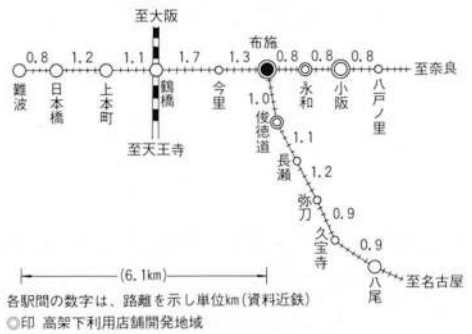
横山　誠一
岩佐　尚武

はじめに

ロンモール布施は、近畿日本鉄道の大阪線および奈良線の高架化工事にともない、布施駅の高架下を利用して建設されたショッピングセンターである。

布施は、古くから東大阪地域の商業の中心地として発展してきた。しかし、近年の大阪都市圏の拡大によって商圏内の都市構造は変質し、地区商業構造の質的転換が必要となり、その対策として布施駅周辺商店街再開発計画の検討が進められている。

そこで当ショッピングセンターの計画にあたっても、まず大阪都市圏の一部として東大阪地域の整備の方向を検討し、そこから想定される布施地区の位置づけにより、ロンモール布施の開発基本構想をまとめた。



注）各駅間の数字は、路離を示し単位km（資料近鉄）
◎印 高架下利用店舗開発地域

周辺地域と布施関係位置図

〔1〕 ロンモール布施の開発基本構想

(1) 布施駅周辺地区の広域的な位置づけと、商店街の現況と問題点より、布施駅周辺商店街の質的転換の方向を想定する。
……「布施駅周辺商店街の方向」

(2) その方向を指向しながら、駅周辺各地区の動静にもとづき、構想の基本方針を設定する。……「当ショッピングセンター構想の基本方針」

(3) 基本方針により建築的構成をする。
……「当ショッピングセンターの構成」

〔2〕 布施駅周辺商店街の方向

布施駅周辺の商店街は、広い後背圏をもつ広域中心的な性格の商店街として発展してきた。しかし、商圏内居住者の都心依存度の強まりと、後背圏であった周辺地域における中心核の成立などが要因となって、都心指向生活圏での地域中心商業機能への質的転換を余儀なくされている。すなわち

- 都市依存度の高い生活圏での、都心商業地（ミナミ）との機能分担
- 隣接地域中心商業地（鶴橋、八尾、荒本）との競合
- 整備が進められるであろう隣接地区商業地（今里、小坂、長瀬）との機能分担

などが問題となる。これらの問題点に消費生活の高級化の方向を加えて判断すると、当ショッピングセンターとしての具体的な方向として

- 消費者のより高級な要求を満足させるため、価格中心から選択中心への移行――商品のバラエティと同一業種内の個性化と専門化
- 地区全体として、レジャーゾーンとしての充実を計り、日常生活でのミナミへの流出をすくなくする。――街区の近代化、アミューズメント施設の高級化
- 地域の中心としての性格を確立する。――鶴橋商店街（再開発計画）と対等以上の内容をもつ商店街を指向
- 荒本副都心の整備状況に応じて、東部地区からの吸引を考慮する。――東大阪市の人口増は東部地区での比重が大きくなってゆく。
- 日用品目への依存度を少なくしていく。――商品のレベルアップを計る。

などが検討された。

〔3〕 ショッピングセンター構想の基本方針

地区商店街の体質改善は、地域のネットワークの中心である鉄道ターミナルを基点として展開されてゆくと予想されることから、当ショッピングセンターが地区商店街の新しい方向をリードしてゆくことになる。また、商店街の質的転換の効果は、地区全体としてのまとまりによって得られることから、地区全体とのつながりを密接にして計画する必要がある。このようなショッピングセンターと地区商店街との連帯指向の姿勢が、商圏および潜在需要の設定など、地区の商勢力を左右する重要なポイントとなる。

現在の布施駅も中心とした周辺部は、商工の混在した雑然とした街区を形成しているが、都市計画的な今後の方向づけとしてあげられるのは、

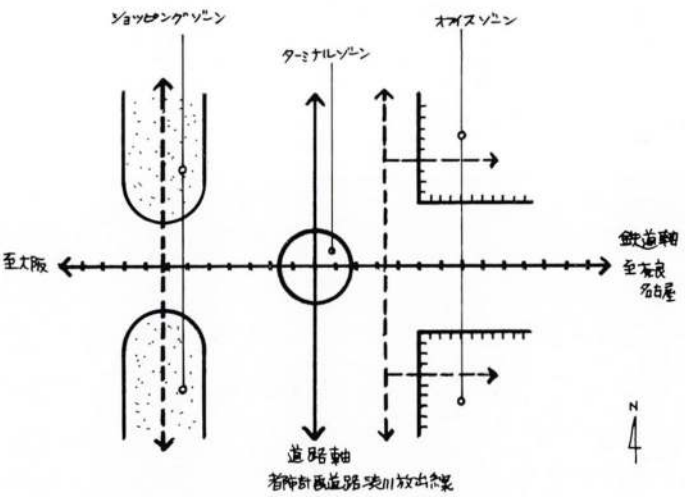
- 近鉄線の高架化により都市計画道路、渋川放出線の拡巾を促進し、都市計画事業として商店街再開発ビルの建設を推進する。これらによって、駅前商店街は本町通りを軸として集約されてゆくことになる。
- 駅前広場も同一事業として整備され、ネックとなっていた南北交通網のターミナル機能の向上が計られる。
- 周辺整備の結果、地域のポテンシャルが一層この地区に集約されることになり、広場周辺は業務系のビル街に再編されるものと考えられる。

などである。

これら三つの方向は、同時に三つのゾーン、ショッピングゾーン、ターミナルゾーン、オフィスゾーンとして性格づけられる。これらの接点にある当ショッピングセンターは

- これらのゾーンの有機的な結合を計る交通機能
- 南北商店街とターミナルの結接点としてのセンター機能
- ターミナル利用客と周辺オフィスゾーンに対するサービス機能

を有し、公共性の強い施設として計画される必要がある。



駅前地区パターン図

〔4〕 ショッピングセンターの構成

(1) 駅前地区での人の流れ

当ショッピングセンターおよび周辺の人の流れは、駅前広場の整備とそれにともなう交通規制によって大きく変わってくる。現段階では都市計画街路、渋川放出線の事業決定はなされておらず、駅前広場もまだ計画段階であり、基本方針も流動している状態にある。したがって、計画にあたっては道路拡巾以前の状態と拡巾以後の状態について街区の想定をおこない、検討を進めることにした。

a　拡巾以前の状態

拡巾以前においては、商店街区の変更はおこなわれず、わずかに高架橋工事により軌道にそった一部の道路と、駅前広場の拡巾にとどまる。したがって、現在の状態とあまり変らない動線となる。

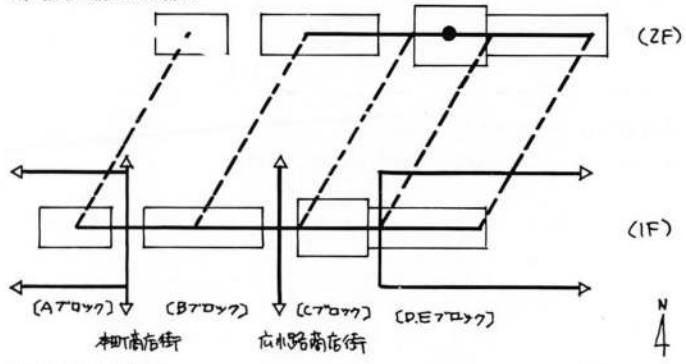
この場合、歩行者動線は本町通りと広小路—北部駅前通りの２本のショッピング動線と、軌道に沿ったショッピングセンター内または側道での動線、それに駅舎東コンコース階段への動線が主体となるであろう。

b　拡巾後の状態

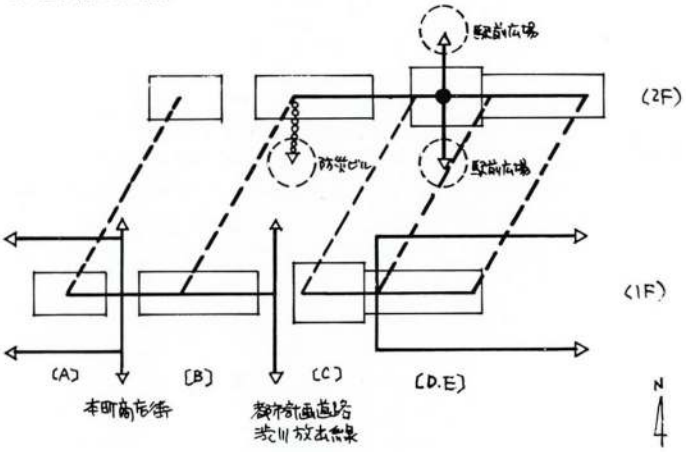
この場合、渋川放出線の横断禁止などの交通規制の強化が考えられ、東西ブロックを結ぶものとして、ショッピングセンター内動線がさらに重要となってくる。また、商店街動線は本町通りに集約される傾向にあり、ショッピング動線と渋川放出線を主体とする通勤動線の明確な分離が行なわれる。南北駅前広場の整備は、ターミナルとしての機能をより要求するものとなり、車と人の動線の立体化が考えられることになろう。その場合、ショッピングセンター内動線はあるレベルにかたよることになり、他のレベルへの顧客の誘導が問題となってくる。

再開発による商店街の立体化は、南北商店街を歩道橋で接続する要望となって現われてくることも考えられる。

a）拡巾以前の人の流れ



b）拡巾後の人の流れ



駅前地区での人の流れ

(2)　ショッピングセンター全体の構成

交通機能を重視した公共性と、ショッピングセンターとしての企業性は共存する必要があり、ターミナル機能との結びつきによるメリットをうまく組み合わせていく方法に計画のポイントがあるように思われる。

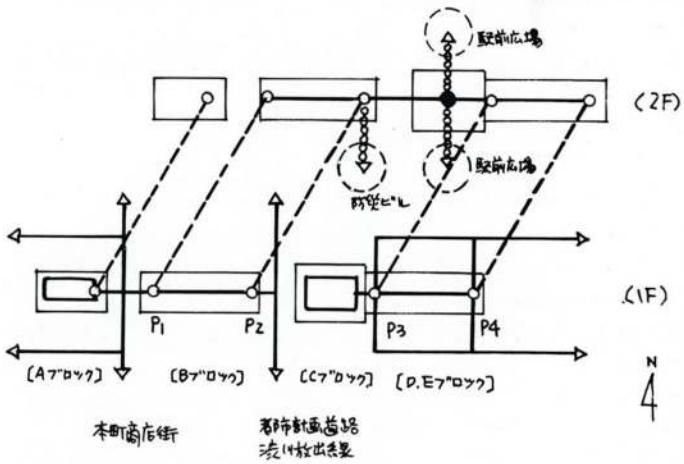
すなわち、ターミナルを中心とした動線を積極的に受け入れ、地区の各機能を有機的に結びつけるスペースを提供する。西ブロックでは南北商店街とターミナルの結節点としてのセンター的性格をもたせたモール街とし、東ブロックはターミナル利用客および周辺業務地区に対して利便を計る広義のサービス施設として、ターミナルデパートとして考えていくのが妥当であろう。

そこで駅周辺での動線と当ショッピングセンターとの関連を考えた場合、本町商店街との接点〔Ｐ１〕、広小路商店街または都市計画街路渋川放出線との接点〔Ｐ２〕、駅コンコースとの接点〔Ｐ３〕が重要なポイントとしてあげられる。

〔Ｐ１〕ポイントは商店街とターミナルを結びつける重要な地点であり、この部分には、地上動線と駅コンコースのある２階動線とを結ぶ階段およびエスカレーターを設ける必要がある。そして、２階に充分な通路を確保することにより、ターミナルから本町通り商店街への通行客はほとんどこの部分を通過するものと思われる。

〔Ｐ２〕,〔Ｐ３〕ポイントには駅施設としての階段が設けられており、渋川放出線から駅への人の流れは主にこの階段を通ることになる。また、２階部分は駅コンコースに接しており、ショッピングセンターへの顧客の導入口は１、２階とも設けられることになり、それぞれの導入した顧客を目的階へスムーズに誘導できるように、ショッピングセンター内にも階段またはエスカレーターが必要になる。

さらに、Ｄ・Ｅブロックの〔Ｐ４〕ポイント（将来の周辺業務地域との接点になる）にも階段を設けると、それぞれのブロックにおける上下階のサーキュレーションが完成する。これら４つのポイントには、階段やエスカレーターを設けると同時に、吹抜け空間をつくることにより、視覚的にも上下のつながりを一層強めて、しかも、魅力ある空間を構成した。そして、これらの魅力的なポイントによるサーキュレーションは、将来の駅前広場整備計画にともなう歩行者動線の立体化事業（歩道橋）のあとにも、各ブロックへの導入口としての機能を充分発揮するものと思われる。



駅周辺動線とショッピングセンターとの関連

(3)　各ブロックの構成

ショッピングセンターは、本町商店街、渋川放出線により、３つのブロックに分断されている。渋川放出線を境として、東ブロックはターミナル特性、西ブロックは本町商店街を軸とする南北商店街の接点として、また、駅からの玄関口として理解され、各ブロックの特性に応じた業種配置がなされることになる。そのほか、ショッピングセンターの熱源供給施設、管理施設、サービス施設、駐車場等は各ブロックの地価負担の関係から両端に配置した。

各ブロックの業種構成

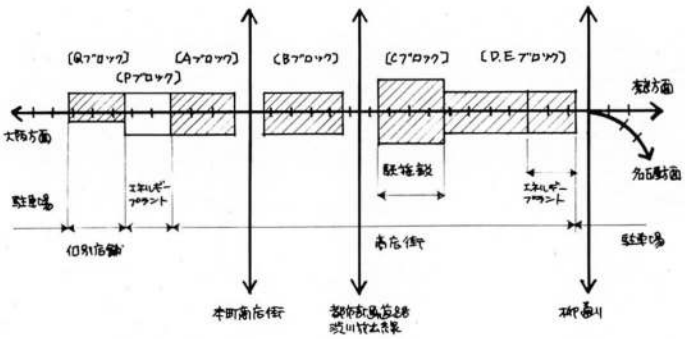
●Ｑブロック　地元テナント対象の個別店舗

●Pブロック　エネルギープラント
●Aブロック　南北商店街の接点としての賑いを要する飲食街
●Bブロック　布施商店街のメインとなり得るもの、通行者依存業種として、買回り品（洋品）を中心とした専門店街
●CDブロック　ターミナルの広義のサービス施設として、日用雑貨、日用衣料品を中心としたターミナルデパート、飯食店、名品店、ツーリスト、バス・タクシー・レンタカーの営業所その他
●Eブロック　接客面の狭さ、奥行の深さをカバーする意味で1店舗構成とし、吸引力の強い食料品スーパー、その他にエネルギープラント、管理サービス部門









BLOCK	1　階	2　階	3　階
Q	個別店舗	—	—
P	個別店舗 後方施設 防災センター	後方施設	—
A	個別店舗 広場 後方施設	個別店舗 後方施設	—
B	百貨店売場 後方施設 駅施設 （連絡コンコース）	百貨店売場 後方施設 駅施設 （連絡コンコース）	—
C	百貨店売場 後方施設 共用通路	駅施設 （コンコース等） 個別店舗	プラットホーム （3階、4階）
D	百貨店売場 後方施設 共用通路	専門店街 後方施設	プラットホーム （3階、4階）
E	スーパーマーケット 後方施設 個別店舗	専門店街 後方施設 防災センター	後方施設

後方施設とは
事務室、便所、機械室、電気室、倉庫、荷捌等である。

〔5〕 ショッピングセンターの設計方針

意匠設計

延長700m、階高8mの高架下を利用し、駅施設とも有機的に結合させて、道路で分断された4ブロックの店舗にまとめることは、デザイン上も難しい課題であった。全体として統一しながらも、魅力をもたせて周辺商店街の核となるように心掛けた。

各ブロックの業種構成は様々であるが、トータルとしての統一感のある外観と、ブロックごとに特徴をもたせた広場や吹抜空間を計画し、店内通路もできるだけゆったりしたものとしている。色調は外装としての駅舎との一体性と店舗としての連続性を考えて、ホワイトとブラウンを基調にまとめた。

設備設計

分断されたリニアタイプの平面形と経済性の検討から、全体を2ブロックとしてエネルギープラントも2ヵ所設けている。防災設備についても、駅施設とショッピング、飲食施設の複合建築物であることや、延長の長い建物の特殊性を配慮して、関係官庁の指導を得て防災センターを2ヵ所設置した。さらに、駅施設とショッピングセンターを相互にホットラインにて接続し、一体の防災計画のもとに安全優先を基本とした設備設計としている。

（よこやませいいち　安井建築設計事務所設計部長
いわさなおたけ　安井建築設計事務所設計部主任）

ロンモール布施〈布施駅附近高架下利用店舗〉

設計監理　近畿日本鉄道 企画室・建設改良局
　　安井建築設計事務所
施　　工　大日本土木・奥村組 共同企業体
　　近畿工業






ロンモール布施 専門店街

ロンモール布施

所 在 地　東大阪市足代１丁目、２丁目
敷地面積　23,233.365㎡
建築面積　15,384.469㎡
延床面積　28,800.077㎡
構造規模　Sおよび、高架構造物、1F、2F、5F
工　　期　昭和53年２月～昭和53年10月
外　　装　ALC版リシン吹付
　　CB化粧積
　　アルミスパンドレル貼
　　ALC版吹付タイル
　　RCモルタル塗吹付タイル
　　レンガタイル貼







左頁：東館〈専門店街〉吹抜
右上：東館〈百貨店〉語らいの広場
　中：東館〈専門店街〉吹抜
　下：東館〈専門店街〉

撮影　東出清彦



中館〈百貨店〉出会いの広場



西館〈飲食街〉

ロンモール布施

建　築　大日本土木・奥村組 共同企業体
設　備　近畿工業
昇降機　日立製作所・三菱電機

1. 西館〈飲食街〉吹抜を北側よりみる
2. 中館〈百貨店〉内部
3. 北面外観
4. 中館〈百貨店〉出会いの広場
5. 中館東側フラワーショップ

1	3
2	4
	5

右頁上：西館より中館西側をみる
下：中館西側出入口









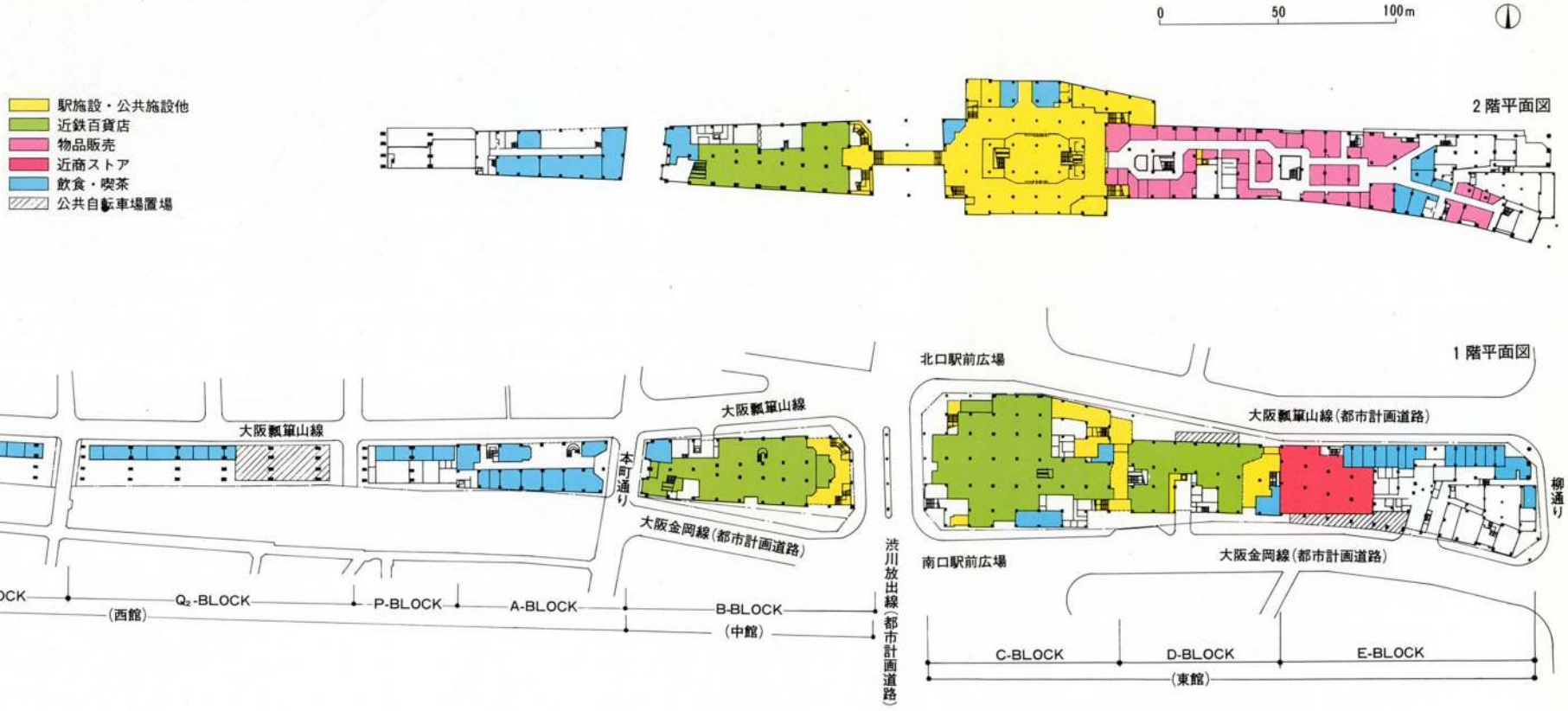


主な協力業者 PR.

鉄　骨	近畿日本工機	大阪市天王寺区上本町5-3-11　TEL 06-768-0445
シャッター	日本シャッター製作所	大阪市淀川区田川北3-2-4　TEL 06-301-3656
金　属	奥村重兵衛	大阪市北区西天満5-3-7　TEL 06-312-4131
防煙たれ壁	大建工業	大阪市北区中之島2-3-18　TEL 06-203-5541
特殊硝子	サトーセン	大阪市西成区津守3-7-27　TEL 06-657-0777
耐火被覆	三和商工	大阪市東区道修町3-24　TEL 06-201-1441
内　装	和泉産業	大阪市南区日本橋2-36　TEL 06-632-0121
塗　装	石渡靖一郎塗装店	大阪市住吉区帝塚山東1-40　TEL 06-671-0151
電　気	近畿電気工事	大阪市北区伊勢町12　TEL 06-313-1231
空　調	高砂熱学工業	大阪市北区芝田町55　TEL 06-372-2511
建　具	近畿工業	大阪市東区谷町2-1　TEL 06-943-5500
シャッター	東洋シャッター	大阪市東区両替町1-12　TEL 06-942-5851
シャッター	鈴木シャッター販売	大阪市北区茶屋町5-2　TEL 06-371-4151
金　属	佐渡島金属	大阪市南区鰻谷東之町7　TEL 06-244-5624
硝　子	三好ガラス建材	大阪市浪速区元町3-132　TEL 06-632-0025
硝　子	橋本硝子工業	吹田市南金田2-4-10　TEL 06-384-1271
タイル	藤本タイル	東大阪市高井田本通4-1-2　TEL 06-783-1151
内　装	高見商事	大阪市東区内本町1-11　TEL 06-945-0791
塗　装	平山塗装店	大阪市西区南堀江3-4-19　TEL 06-541-8870
衛　生	三機工業	大阪市東区北浜2-22　TEL 06-202-3071
照明、店装電設資材	松下電工	大阪市東区城見2-1-3　TEL 06-942-2471


三和銀行
レストラン
ウロー

ロンモール布施 〈布施駅附近高架下利用店舗〉



〈建築概要〉

BLOCK	Q_1－BLOCK	Q_2－BLOCK	P・A－BLOCK	B－BLOCK	C・D・E－BLOCK
建築位置	東大阪市足代1丁目9の1	東大阪市足代1丁目40番地	東大阪市足代1丁目45－2	東大阪市足代2丁目1番地	東大阪市足代2丁目1番地
地域・地区	商業地域・防火地域	商業地域・防火地域	商業地域・防火地域	商業地域・防火地域	商業地域・防火地域
用途	貸店舗	貸店舗	貸店舗	駅施設および店舗	駅施設・店舗および貸店舗
敷地面積	2,904.800	2,318,595	2,373,970	3,289,000	12,347.000
建築面積	523.490	426.957	1,853.689	2,412.136	10,168,197
延床面積	481.490	398.796	3,318.225	4,344.765	20,256.801
構造種別・階数	S、1F	S、1F	Sおよび高架構造物、2F	高架構造物、2F	高架構造物およびS、5F

アンケート・商業空間の現在と将来

本特集の扉の〝ことば〟と重なりますが，アンケート依頼文の前文として必要ですので，以下に再掲します。

×

これまでの「売らんかな」に徹して店舗の集積の華やかさや売場面積の拡大に偏しがちな傾向に対して、最近の商業施設は、顧客の購買行為のアメニティ（快適性）を考えたり、市民生活の一部を受容すべく広場やシンボゾーンや戸外設備を取りこむことも多くなってきております。

住宅の集合へのサービスを目指したもの、交通の結節点の特性を生かしたもの、旧界隈を再生するための通りの変身などがありますが、多くの場合、コモンスペース（共用空間）をいかに創り出すか、また取りこんでいくか、という手法がとられており、それを別な面から見ると、これまで等閑視されがちであった「商業機能のパブリシティ（公共性）」の空間化とでもいえるものではないでしょうか。

ここでは、このような性格を目指した商業施設を便宜上「商業空間」と呼び、その現状から将来を考えるための場を誌上に構成いたしたく思い、建築や都市開発の専門家のみでなく、各方面の方々のご意見を紹介するためにアンケートを実施いたしました。

×

アンケートは、都市計画家・建築家を中心に、文化人、作家、ミニコミ編集者、商店経営者、専門職の方々約40名に出しましたが、半数の方からご回答をいただきました。

一般の方々からの回答が少なかったように思いますが、何らかの参考になれば幸いです。

×

回答いただいた方は、つぎの通りです。

（掲載順・敬称略）

1　鴨居羊子
2　小泉康夫
3　田中敏之
4　田村春雄
5　福岡喜久雄
6　鳴海邦碩
7　水谷穎介
8　狩野忠正
9　竹山清明
10　東　孝光
11　瀧　光夫
12　富安秀雄
13　牛山　勉
14　太田隆信
15　辻野純徳
16　山崎泰孝
17　遠藤剛生
18　吉村篤一
19　増田靖仁
20　北島道生
21　光安義光

なお、アンケートの見出しは、編集部でつけたものもあります。また、写真は、筆者提供と明記したもの以外は、編集部撮影によるものです。

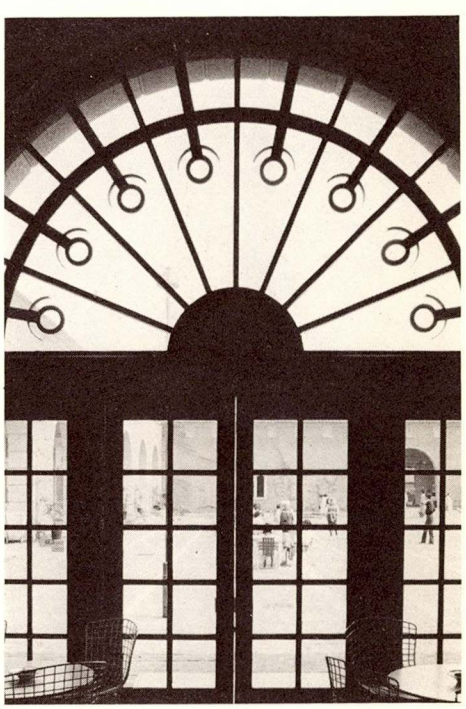
●アンケート設問

1　あなたの最もお気に召す「商業空間」は、どこの、何という名称のものですか。
また、その特徴やポイントはどんなところでしょうか。
（写真や絵や図面をご添付いただければ好都合です）

2　将来の市民生活への寄与という観点から、現在の商業空間一般のもっている問題点や意義について、お考えをお聞かせ下さい。
また、商業空間の将来像やアイデアなどのご提案があればお示し下さい。

3　その他、何か商業空間に関して議論の対象になるようなことがありましたら、自由にお書き下さい。

・上記3つの項目に対して、それぞれに分けてご回答下さっても、あるいはまとめてご回答下さっても結構です。



あの街この街の横丁の新生を

鴨居　羊子

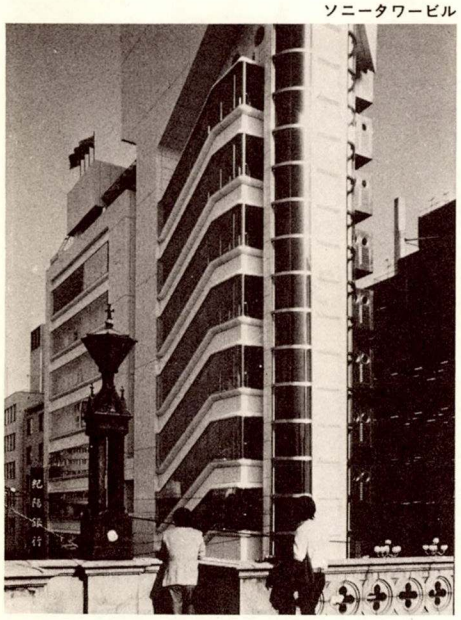
1　大阪心斎橋のソニービル。
一目してその企業体の姿勢が判る。
美しくシャープで、明日に向かって建っている。おしつけがましくなく、市民にサーヴィスをしている。面積が適度で、迷路的でない。
（逆の例として名古屋、大阪の地下街は迷路である。）

2　大阪道頓堀が再生を考えている。それに対していまわずかばかりの行動がある。私はあのようなコソクな再生は反対だ。古くて美しいものはそのまま大切に残した方がいいと思う。役に立たぬと判断したら市民の総意の上でつぶしてもよいのではないか。（例　パリーのモンパルナス一帯の改装。中央市場の改装）
中之島一帯の問題は、あのビルなどの古い良さを残して、内側を近代化した方がいいと思う。その意味で日本銀行、市庁の建て替えは賛成だが、より一層中之島的でありたい。
川をめぐる地盤一帯の沈下は、それを機に緑地帯の拡大充実をしてほしい。

3　名古屋、大阪の地下街およびビル内の商業空間もよいが、それ以外に、あの街の一角、この街の横丁……などの新生を。もっと真面目な方法があるのではないか。

（下着デザイナー・チュニック株式会社取締役社長）

ソニータワービル



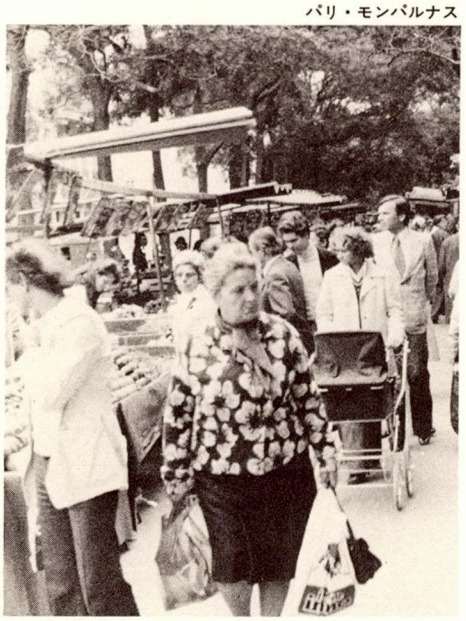
生活者の感性を

小泉　康夫

「商業空間」と街は切っても切れない関係だと思う。むしろ、「商業空間」は街の顔のようなものだろう。もともと街を造りだすのは市民自身であると思う。市民がもっている美的感覚や文化的センスでいろいろな造型が生まれたり色調がきまる。建築家やデザイナーがいくら精魂を傾けて空間を創造して見ても、それを日常生活のなかでこなしていく力を市民がもっていなくてはいけない。
たとえば、パリのシャンゼリゼにしても、サントノーレ通りにしても、「商業空間」として斬新なものではない。だが、ここを根城として頑張っているのはパリの人たちである。行き届いた色彩感覚と店舗のディスプレイの見事さには脱帽しないわけにはいかない。そしてそれぞれの通りや街は全体として見て調和がとれている。
モダンな「商業空間」を創り出すのも、クラシックな「商業空間」を創るのも生活者の感性にたよるよりほかはない。どちらかというと日本の街の「商業空間」ほど、雑駁なものはない。これは多少造る側の責任もあるのではないかと思う、ひとつひとつが巧妙、精巧でも全体とバランスがとれていないものが多過ぎはしないか。
とくにショッピング・ストリートを歩くたびに残念に思う。造る側は市民の感性をよく計算に入れて考えるべきではないかと思う。

（月刊「神戸っ子」編集長）

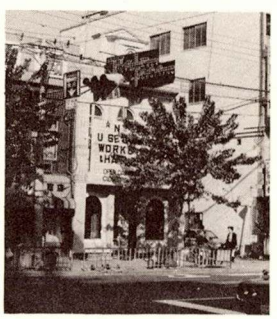
パリ・モンパルナス



共有する天井

田中　敏之

1　PALM　TREE（大阪市北区）
アメリカンクラッシックの店。デザイナーや企画者の集団、「シスター・ボーイ・プロダクションズ」がプロデュース。
建物は、オーナー氏の父親が古美術商を営んでいた大理石づくりの立派なもの。それを自分たちで改造、アメリカ西海岸風のディスプレイにしてしまった。
買ってやりたいのは彼らのポリシー。
なんでもかんでもブッ壊して、新しく建て直せばよいという風潮を、彼らなりに批判、古い建物の持つ美術的要素を見事、甦らせた。高い天井で圧迫感をなくし、店内にイルミネーションをつけて、全体の色調を淡色でまとめたところに空間的な広がりを感じることができる。
タナも天然材を使い、合板やプラスチックでお茶をにごすことなく、逆に、商品をプラスチック的（アメリカ的）にしたところに面白さを発見!!



まん中が、PALM TREE
（筆者提供）

2　新しくできた「なんばＣＩＴＹ」はキライ。南海のもつ地から湧いた文化性を〝作りもの的〟なイミテーション街にすることによって破壊してしまった。犯罪性は大きい。地下は地下らしくあればよいのである。合板やホンコンフラワーでごまかすよりも、もう少し〝来る人々〟を信用し、集まる人にイメージをわかせるように努力すべきだ。すべて用意周到した演出は少なくとも「若者」には受け入れられない。空間には〝スキ〟が必要だ。お客に〝つけ入るスキ〟を与えるべきである。

3　ショッピングセンターetc.,さまざまな「商業空間」の存在は、狭いところに箱がつまったイメージがある。これは、圧迫感を感じさせるだけでなく、閉鎖的である。壁を天井までのばすことをやめ、天井を高くし、それぞれ数10cmの空間があればうれしい。そのためには天井を高くすることも必要だ。
「共有する天井」は圧迫感を排除するに必要なことだ。（百貨店のように壁をなくすのではない）閉鎖性はなくなるが、独立感はそこなわれないのでは……。

（月刊誌「ＢＯＯＰ」編集長）

小公園プラス店舗

田村　春雄

泉北パンジョ、高島屋百貨店および周辺専門店街を主にして——

これらはあまり広すぎず、3店がそれぞれ特長ある空間構成を持ち，自分の現在いる場所を確認しやすい。また交通機関からも近く、スロープ、エレベーターなどの使用により「うば車」「買物カート」「車椅子」などでも利用しやすい。店舗構成もバラエティにとんでおり、日常生活に密着した買物をしながらウインドウショッピングも楽しめる。ただ店舗の大型化が進み、店舗内で道に迷うような気がする。とくに地下街ではいったん外に出てみなければ自分の店内位置がどこかわかりにくいことが多い。これは大手スーパーやデパートなど各階に多くのブースを設けている所でも同様である。もっと容易に感覚的に出入口や、トイレがわかるようにすべきではないか。現在のままでは災害の際に大惨事になるのではなかろうか。その意味においてもスロープ階段はほしいものだ。

また現在の商業空間は単なる買物の場だけではなく、一種のレジャーセンター化しつつある。しかし店舗の構成はあまりにも若者向きにかたよりすぎていて、これからの老齢化社会に向けてもっと多様な店舗構成が必要ではないか。そのためには店舗の構成だけではなく床のレベル差の解消、通路の拡幅等、杖を持った人達、車椅子利用の障害者や老人などにもさらに考えられるべきであろう。

商業空間の一つの将来像としては界隈空間やニュータウンの近隣センターなどのように外部空間との結びつきを重視し、都市の中の小公園プラス店舗という組み合わせはどうだろうか。これならあまり高低差のない空間構成や避難路の確保等、現在の商業空間の持つ問題点がかなり改善されると考える。とくに郵便局、銀行、病院、学校、デパート、公園など公共の施設等の利用が誰にでも可能である。

この社会は、暮らしやすく住みよいものにしたいものである。ただその実現については民間だけではなく、行政サイドの理解と強力なバックアップが必要であることはいうまでもない。

（大阪府立身体障害者福祉センター所長兼同附属病院長・医学博士）

人間本来の価値観

福岡　喜久雄

私の気に入りの商業空間の一つに、新宿・京王プラザと道路際に面したドライエリアの狭いスペースがあり、次いで向かい側の三井ビル、住友ビル前の欅のあるスペースがある。表参道界わいのアパート群と欅の並木あたりも好きな空間の一つである。青山ビル「青山1丁目」渋谷寄りワールドインテリアわきの階段あたりもいい。

大阪では、伊藤忠ビル、ＯＭＭのミニ・コミュニティも好きだ。立派なのは三番街、なんばＣＩＴＹなのだろうが、力みすぎと、盛り沢山なのと、こせこせした感じが気に入らない。

現実にスペースが足りない上に予算も足りない。当然設計期間も同様だろうが、この不足分を、デザイン力、そのエレメント、表現の方法論でカバーするとなると、このデザイン力が優秀であればあるほど、その直下におとし穴があるように思える。消費者という大衆は豪華さをもとめているとは限らない。豪華に見える価値観より、ゆとりを見つけ、くつろげる人間本来の価値観が、この商業空間では必要ではなかろうか。水・滝・流・噴水・光と音のシンクロナイズ、それに造花、そしてこの装置と表現方法は、どうこなしてみても大同小異である。

もう十数年前になるが、カナダのモントリオールを訪ねたことがある。このモントリオールのダウンタウンの中心、市役所、クインエリザベスホテルのそばだったと気憶しているが、四角いプランの地下商店街がある。そしてその中央部がドライエリアで、幾本かの木が植わっていた。このショッピングプロムナードからは、ガラスを通して青空もみえたはずである。さらに、この上部が階段状のコミュニティーで、若者達（私もまた若かったが…）がギターをもって集まってフォークをうたっていた。デザイナーとしてでなく、一個の人間として、ずい分すくわれた思いを抱いたものである。あくまで人間が主体であり、かつ、不特定多数の人間が、その対象なのである。

舞台装置が立派すぎると、主体がかすんでしまう。本当に利用してほしいと希う対象の主体は逆に離れていく恐れを内在する。

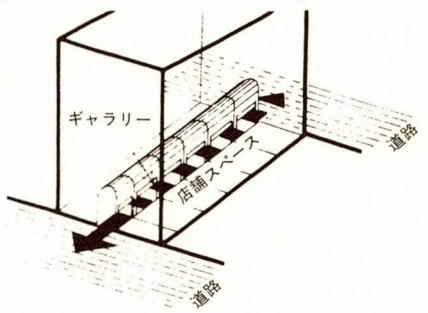
美意識と装飾性は反比例する。美意識が高ければ高いほど無装飾な美を理解し、逆にこの意識の低さは装飾過剰となり勝ちである。この無装飾の美を作るのは、そうイージーではない。大切なのは雄大な空概念の理解であろう。

（KK福岡喜久雄デザイン事務所所長）

諸衆に開放された空間

鳴海　邦碩

1　アルゼンチン・ブエノスアイレスのフロリダ通りは、高級専門商店の集まった商店街である。フロリダ通りは、歩行者空間化しており、沿道の建物は複合商業ビルが多いが、1階部分に公共に開放された通路をもつ。「ショッピング・ギャラリー」と呼ばれ、閉店時も、効果的に飾られたショー・ウインドーを見ながら散歩する人々に開放されている。ギャラリーは、公道のネットワークの一端をになっている。すなわち、ギャラリーは新しい路次的空間となるのである。



ショッピング・ギャラリーの模式図

2　商業空間は、諸衆に開放された空間を利用することによって発達してきた。市にしろ、沿道の店にしろ、そうであり、このことは基本的には現在も変わっていない。大規模商業ビルは、この「諸衆に開放された空間」を内包化する傾向にある。内包化された「諸衆に開放された空間」は、一般に防災上・管理上の諸規則によっているが、多くの人々が集中し、利用することから、利用者側からする、デザインや管理の原則がつくられる必要がある。前述のショッピング・ギャラリーが、閉店時も公道のネットワークの一端をになうというのも、こうした考えの参考になろう。

大型ビルは都市空間を内包化することが可能であるが、一方、周辺地区の環境上の価値を相対的に低めているという側面もある。この点についても利用者の側からの再検討が必要とされる。

3　空間の管理の立場からすれば、「公共空間」とか「共有空間」「コモンスペース」といった区分があるが、利用者にとっては、こうした区分はそれほど意味をもつものではない。筆者は、「諸衆に開放された空間」を「自由空間」と名づけ、総合的・体系的に検討すべきことを提唱している。

（京都大学建築学教室・助手）

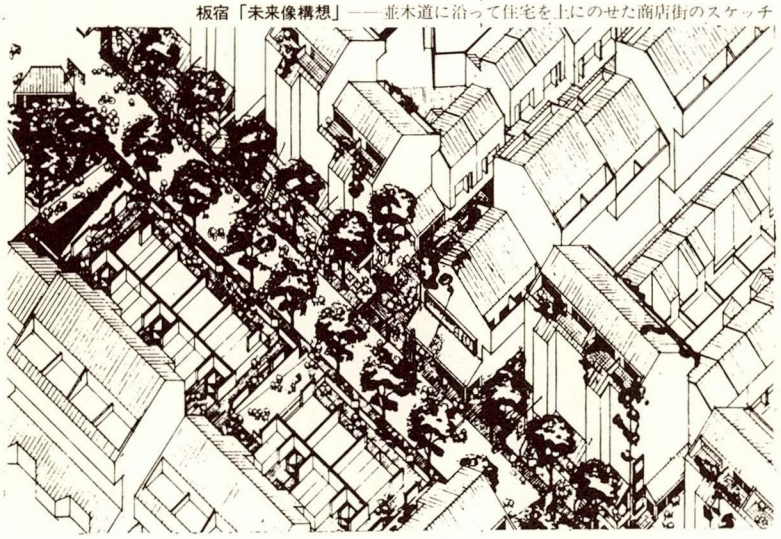
食＋娯楽＋文化

水谷　潁介

1　大阪・ミナミ――法善寺横丁周辺や浅草・カン音さん周辺――日本の下町的商業空間
サンフランシスコ・キャナリー・マーケット――港町の再生・修復建築
ミラノ・ガレリア――歴史（時間）を超えた計画的商業空間

2　量（マス・セールズ）・流行（ファッション）・巨大（マンモス・ビルディング）を追いかけた商業空間を否定して、質・歴史・町なみを楽しみ、充実させ、味わいたい。
子供の服を母親が縫ったり編みなおしたりしてきたこと、住宅ができるだけ地場の材料で地元共同体の協力のもとに造られてきたこと、市場へ買物にでかけていって今日は何がおいしいかと材料をあれこれ求め、まな板と包丁で調理して気にいった器にもり、季節の味を楽しむ、といったような、人間一人ひとりが自分の心と手で支えてきたことを、すべて商業資本にゆだねてしまった結果としての商業機能拡大と量的需要増大が、都市の構造と姿を変えつつあることを、認識し、かつ反省していかなければならない。
最近とりくんでいる「商業空間」関連のテーマは、神戸の下町―住商共存の板宿の町づくり、歴史中心としての伊丹郷再生計画、既存商店街・工場跡地（リバーサイド・ショッピングセンター＋カルチャー・パーク）・駅前再開発・鉄道用地利用などをつないだ加古川駅周辺地区整備計画、長田神社とその界わい計画、食＋娯楽＋文化の神戸三宮のインターナショナル・ツイン・ハウス（仮称）設計、などである。（都市計画家、建築家、都市・計画・設計研究所）

板宿「未来像構想」――並木道に沿って住宅を上にのせた商店街のスケッチ



境内の性格をもつ空間

狩野　忠正

1　オークブルック（シカゴ）
買物空間と憩いの広場が日常生活の中に自然に融合されている。建築されて20年になるショッピングセンターであるが、いつまでも新しいイメージを保つように緑あふれる広場がある。

2　今までの商業空間は、ややもすれば、催し物を行うことによって、その空間性を保っていた。イベントが行われることがある種の条件であった。すなわち、一方から与えられたものを受身で感じるだけであった。与えられた空間をどのように体現化するかが重要であり、市民が参画できる場、文化性のある場が商業空間の中に必要とされるようになった。
ショッピルグモールということばが使われるようになって久しい。モール本来の意味は、散歩道、木かげ道以外に心が集まるところ、物が集積するところという意味も含まれている。機能的な広がりだけでなく、精神的な空間の意味もあらわしている。日本で古くから受け継がれた神社の境内の持つ精神性と共通するものがある。商業空間が新しい境内として、どのように考えられるかが重要である。将来に向かって持続する場、生長とともに美しい風景として定着する場、精神的安定装置を組み込んだ空間が必要である。彫刻・絵画が一体となった空間、精神文化を持つ建築空間として考え、境内の性格を持つ都市としての復権を考える時だと思われる。（KK竹中工務店設計部）

パブリックスペースの充実

竹山　清明

1　好きな「商業空間」といっても、すぐには思いつきませんが、強いてあげれば、デザインの質が良いという点では、東京の代官山集合住居の店舗空間、近いところでは神戸北野町のローズガーデン、北野アレイなどがあげられるでしょう。しかし両方とも、非常に値段の高いハイブローなテナントがはいっていたりして、われわれ庶民には近づきにくい感じがします。むしろ、日常生活からかけ離れた空間をつくることによって、ファッション性を際だたせようとしているとも言えるかもしれません。
しかし、望むらくは、私達の生活の場にもっと近い所に、これくらいのレベルの物が数多く存在するという、そういう風な文化的・社会的な状況にならないものかなあと思ったりします。

2、3　「商業空間」と言われるものの中で、とくに気になるのは、都市再開発におけるものです。基本的には、再開発法自体の持つ問題点が、必然的に顕れているということなのでしょうが、過大な容積を無理矢理つめこむことによるプランニング上の無理、利用者の立場から見てのアメニティの不足、デザインの下手さ、都市計画的観点の希薄さなどによって、目をおおいたくなるような施設が、数多く建てられてきました。このような社会性の強い施設をつくる場合には、民間の資金にたよること、すなわち「資本の論理」によってのみ事を進めるのではなく、公的な形でのコントロールや援助をもっと強めていくことが、重要であろうと思います。
これは、再開発にかぎらず、ここでいう「商業空間」のような、私的所有でありながら社会的性格の強いものについても同じことです。「商業空間」の中に、自治体などの公的機関が、パブリックスペースを買いあげるなり、パブリックスペースを充実することを条件に低利融資するなど、援助や誘導の方法はいろいろと考えられます。
このような方向をもっと強めていくことこそが、質の高い「商業空間」を保障するものだと言えるのではないでしょうか。（兵庫県建築部営繕課）

ワイワイがやがや

東　孝光

昨秋、韓国のお寺と民家を巡る旅をいたしました。その際訪ねた韓国民俗村のなかの市場での光景を、かの国特有の澄み切った青空とともに、大変さわやかな印象として、今思い返しています。

この民俗村、再現の方法が多少荒っぽいという評もあるようですが、各地から集まった民家の数も多く、集落になっており、住む人を入れて当時の生活とともに見せてくれるなど、大変興味深いものでした。

その村の中央あたりに、市場market-place と名付けられた広場があります。数軒の民家や簡単なさしかけ小屋に囲まれた小広場で、あちこちで民芸雑貨、おもちゃ、お菓子などの店が開かれ、ちょうどお昼時でしたが、広場には床几が出され、上に天幕がかかり、その下でみんなが素朴な料理とお酒をかこんでいます。調理は周囲の民家の台所や軒先のコンロで造られており、各人がそこで直接買ったものを、民家の座敷や外の床几で食べるのです。早速私たちも、おいしそうなもの、珍しいものを各人で仕入れたうえで、土地の人たちに混じっての、楽しい酒盛りとなりました。

旅人のセンチメンタルな心情もあったでしょうが、それにしても食べる人、造る人（そして食べる場所、造る場所……）の全体が、ワイワイがやがやの混然一体、実に生き生きとしたコモンスペースでありました。

日本の商業空間の最近の進展は目ざましいものがあり、アンケートに答えての優れた例も、いくつも頭に浮かんでは来ます。しかし今後の私たちに必要なものは、そんなことではありますまい。その推進に熱中のあまり、ともすれば計画の先走りというか、計画者のおごりというか、計画先行、計画万能の空々しいものにならぬよう、いつも使う人と造る人の分離を防ぐように謙虚な姿勢を保つことでしょう。商いの原点、公と私の融合などを忘れぬよう、自戒の意をこめてこの例をお答えする次第です。（建築家）



韓国民俗村の酒造りの民家



同、市場―テントの下の調理場



同、市場を臨む



同、道端の店

お気に召す椅子を！

瀧　光夫

1　「お気に召す」商業空間。残念ながらにわかに思いあたるところがありません。旧来のものは安っぽくてうすぎたないし、最近のものはヘンにハリキリすぎで、なじめない。どことも行くと疲れる思いが先に立つ。

外国かぶれではないつもりだが、なぜか異国で出会う商業地区は、それぞれに印象ぶかく、また出かけたいところばかり。ニューヨーク、サンフランシスコなどのダウンタウンのわいざつさもよいし、北欧都市の静かで小ぎれいな街角も好ましい。夜更けても音楽や人の声が石ダタミにコダマする南欧のひろばもけっこうです。

いずれにしても疲れる、思いがありません。そういう意味では京都あたりの露地をぶらぶらしながらいろいろなお店を眺めて歩くのは良質の商業空間といえるでしょう。

2　現在の商業空間一般についていえることは、陽光がない、新鮮な空気がない、緑がない、花がない、水・噴水がない、彫刻がない、そして何より休むところがない、生活にとって必要なものはないないづくし。

そうでなくてもペタンと座りたがる国民性にして、腰をおろすところがかくも少ないのは喫茶店業者の陰謀でありましょうか。（それとも建築家がビルに熱中のあまりベンチの予算まで食いつぶしてしまうのでしょうか）

やむなく入る喫茶店は暑すぎるか寒すぎるかの空調。せまい椅子、不安定な机、そして耳がいたくなるほどの音楽。とても家族、友人とゆっくり余暇をたのしむムードではありません。

誰もが、無料でゆっくり腰をおろせる場所が都市には不可欠であります。（この国にも床几、番台といったものがちゃんとあったのですが）

都市の中に「お気に召す」椅子をみんながもてること。それが人の生活をよび込み、定着させ、ひいては独自の特色をもった空間がつくられていくもとになるでしょう。外国の都市が、意外に疲れないのは、この生活感のゆえと思われます。

3　以上のことは都市にかぎらず、海にも山にも田園にもいえることで、人がゆっくりと何時間でも休める場所をきちんとしつらえていくことが、なによりも必要なことと思います。

今や日本全体が安手の商業空間化しつつあり、マイカーの中だけが、「私の場所」となり、そこから眺める光景のひどさは言うもオロカ、というかなしいことになっています。（建築家）

商業地区のビジョン

富安　秀雄

1　高山市の中心商業地区。ここには、朝市もある。中心市街地であるが、ごくひっそりした横丁があり、そばや、うどんをゆったりしたスペースで売る店があり、呉服屋があり、伝統工芸の店があり、都心的ショッピングがある。もちろん土産物屋も多いが——。街角には、だんごを売る露店もあり、中心を流れる宮川は、水も澄んで勢いよく流れ、水流のゆえか、馬鹿にスマートであるが、鯉が沢山泳いでいる。しかもこれらの店が、ほぼ歩行圏にコンパクトにまとめられており、こうしたゆとり、多様さ、周辺や街中の自然環境のよさと、広い後背人口に支えられた賑やかさがよい。

2　商業空間を公的な意義で捉える視点、アメニティで評価する視点は正しいと思うし、またこれからの都市の商業空間は、かくあらねばならない。商業地区計画を行う人々は、おそらく、こうした視点を持って計画している。しかし新しく出来た商業地区は、どこも、同じような計画で（と言うことは、すべて悪いと言うことではないのだが）、いかにも、せせこましく、ゆったりとした商業施設はすくない。ちょっとした商業地区でも、広場をとり、面白い空間を創ろうとしていることは、進歩だと思うが、肝心の商店は狭く、混み合っている。たまにすいている店は、営業不振の店である。……これは、商業地区が公的意義を認められながら、個々の商店に、公的援助がなく、地価に見合った生産性が要求されているからで、新規商業地区に、高山の中心商業地区のようなゆとりがないのは、まさにこの点にある。

気持ちよい商業施設、多様な業種、それにコミュニティ施設を設置することと、地価や、施設コストは矛盾する場合が多い。商業地区が、都市の公共的施設であれば、この矛盾を解消する手だてが考えられなくてはならない。個の商業経営者に、コミュニティ施設として、住民サービスの現場担当者としての自覚が必要であることは、言うまでもない。

3　商業経営者が本腰を入れて商店経営を行うためには、行政として広い地域にわたり、商業施設の将来構想を示す必要があろう。都市の用途地域や、整備構想と平行して、商業施設についての、ビジョンが、適当な間隔をおいて検討され、公表されることが望ましい。またこれに基づいて、新規商業施設整備について、行政が介入し、規制、誘導する心要があり、わが国においても、すでにこうした行政を実施している都市がある。

（市浦都市開発建築コンサルタンツ）

気配を生む術（すべ）

牛山　　勉

「商業空間」の本質は〈気配〉ではないかと思う。向こうに何かがある気配、何やら楽しいことがありそうな、気配、今とんでゆかないと損しそうな気配……。

これがつくり出せたら成功である。

おなじみの縄のれんは、この意味でニクイ仕掛けである。チラチラと内部の様子が見えがくれする。においも〈気配〉を生む有力な武器。ついちょっとということになる。

〈ノイズ・パーティション〉という造語をつくって見た。事務所の近くに、すこぶる繁盛している居酒屋がある。相当うるさ型の彫刻家なども名古屋へ来ると必ずここへ現れる。

この空間の良いところは、常に満員の状態で人のおしゃべりがワーとこもって、どこに居ようと適度のプライバシーを自然に提供してくれるところにあると思っている。隣にだれが居ようと声高かに、かなりひわいな話も平気である。客全体がつくり出す縁と無縁の騒音である。これをノイズ・パーティションと名づけた。

戦後生まれたいくつかの娯楽の中で、パチンコだけが生きながらえているのはこれだと思う。

卒業設計に地方の駅前商店街の改造計画に取りくんだ学生が、実際に足で調査してみて、面白い報告をしていた。その商店街の〝にぎわい度〟は、店先の道路を商品がどのくらい不法占拠しているかで判断できると。東京のアメ横にしても築地の場外市場にしても、京都の錦小路にしてもこの意味で、商業空間の正統派である。築地場外の屋台風寿し屋は面白い。仕事着のままで魚屋の兄ちゃんが、ちょっと腹ごしらえと寄っている。ネタは最高だが、腰をかけている場所は歩道の上である。気配を生み出す術は、伝統的な大阪商法の中からいくらでも学ぶことができると思う。ただ、こうした角度からの認識がたらなかったのではないか。だから時流におされて、地下街に滝や小川をつくり、野鳥の声をテープで流すという愚をおかすことになる。

（ウシヤマ設計研究室主宰）

京都・錦小路の市場



キタとミナミ

太田　隆信

大阪の場合、何事につけても、キタとミナミが対照的に論じられていますが、商業空間の場合、もともとミナミが大阪の中心で、キタはミナミへ出て行くためのターミナルにすぎなかったのです。だからキタの郊外の人々は、日常品的な買物はキタのターミナルデパートですませても、ちょっと気の張る買物にはミナミまで出かけるというのが本来のパターンでありました。食料品に強い阪急、呉服物に味のある大丸、高島屋などというのはそういった伝統を受け継いでいると言えましょう。大阪の都市圏もその程度のスケールであったわけです。

キタがミナミと肩を並べるようになったのは、後背地、それもミナミまで出かけるにはそうとう頑張らねばならない距離のあたりに、人口が急増したことが、最大の原因でありましょう。そういったヒンターランドの人々のニーズに答えつつ、数寄屋橋店を媒体にたくみなイメージアップ作戦を展開した阪急商法のたくましさも、原因のひとつに挙げねばなりませんが、やはり急激に大きくなったことが、キタの性格を、いわゆる街らしからぬものにしているのではないでしょうか。

阪急梅田駅を中心とする複合ビルと地下街が街で、地上のいわゆる商店街が今ひとつ盛り場以上のものに育ちにくいというのは、やはり中核的な商業空間としては問題です。やたらビルに何々街という名をつけているところからすると、そこいらあたりのこと、みな十分に、認識しておられるのでしょう。今後どう発展してゆくのか、大いに興味のあるところです。新しい商業空間が生まれてくるのかも知れません

一方、ミナミは商業空間としては永い伝統があり、いわゆる大阪の味があり、今でもミナミの方がずっと商いの奥が深いなどと言われています。そのことには異存ありませんが、今日的な視野で見直す必要があるのではないでしょうか。かならずしも昨今の、いわゆる都市生活者のニーズと合わない面もなくはない、さりとてそう簡単には伝統を変えるわけにはいかない、なんばシティーの出現は、そんなミナミのジレンマに、ある種のなぐり込みをかけたということなのでしょうが、これからどう育っていくのか、これまた今後が楽しみです。大阪の場合、キタとミナミは、商業空間として、まったく異なった観点から、今後の展開が本当に楽しみです。見ものです。　（坂倉建築研究所）

住民を都市に呼ぶ空間

辻野　純徳

1　●阪急梅田ターミナル

国鉄高架線との交叉で不可能であった路線の拡充を、鉄軌道を 200ｍも縮め増線を可能にし、その跡に 115,000㎡もの商業空間を生み出した。その利と、利用者をより歩かせる償いとして、思いきった空間を内部通路として還元したことが、豊かな空間となり、利用者の不平をなくした理由であろう。

バロック調の旧コンコースから、阪急百貨店とグランドビルに囲まれた幅18ｍ、長さ 150ｍのモール（張りぼてのアーチや早仕舞の銀行のフロントは淋しいが）に表を向けた百貨店のベイウインド。本屋、ショールームなど時間待ちにも好都合で、幅 100ｍ、延長 400ｍもの、車を入れない大商業空間の軸となっている。

梅田地下街、隣接ビルと、地下鉄・阪神・国鉄など５駅のターミナル等との接続点、三番街・ターミナルビル・グランドビル・百貨店など延べ360,000㎡と、広いふところをもっている。さらに、周辺の車に占有された道路には、背をむけたようにそっ気ないのも、その意図が知れるようである。

●錦小路通（錦の市場）と先斗町

小路をはさむ両側の建物内の雰囲気が、錦では威勢のよいかけ声とともに、先斗町ではファサードは静かだが内は開いて、道行く人達の肌身に感じられる狭さを保っている。

2　都市すべてが商業空間と思える都市づくり、公共的空間をとり込んだといわれる商業空間づくりは、量産量販のためには使い捨てや流行おくれを生む広告費や在庫等の危険負担などによる間接費の増大とともに、利用者にそのつけを廻している。結果は永続きのないものとなる。

シカゴのステート街は車中心から人間中心のモールに改造中で、都心に再び人が住むことにより都市を甦らそうとしている。そこに本当の商業空間が生まれる。

住民を都心に呼び戻す都市づくり、浪費のない物と空間が、これからの商業空間の条件となるであろう。

（浦辺建築事務所）

商業主義の反省を

山崎　泰孝

われわれの周辺は戦後の２～30年間で、大変楽しく、賑やかな風景を生んできました。街にはネオンが、看板が、商品が、広場が‥‥と資本主義に支えられた商業空間がいっぱいです。確かに活気があり、人間らしい雰囲気をつくっています。しかし、一方、人間は静かに己れの人生を考え、先人の生んだ文化を学び、将来の文化を思策する空間が必要ではないでしょうか。

共産圏の都市や経済活動の止ってしまった古い都市を訪れたことのある人は、いわゆる商業空間のない都市が、どれだけさっぱりとして気持ちの良いものかを感じたことだと思います。今、私は北陸の過疎村を訪れることが多いが、そこにも商業空間に阻害されない美しい風景を見出します。そして、人々の集い、語り、楽しむ生きた空間が十分あります。

現在の日本の都市は、本当に人間が必要とする情報や品物の数倍もが、ただただ動きまわって人々を疲れさせ、地域文化を踏みにじり、己れの人生を忘れさせているように思います。

デザインとは必要最小限に整理することだと思います。余計な装飾や、アーチや、建物の凹凸は止めたいものです。白いアーチのスペイン風が流行ればそればかり、レンガが流行れば、また、都市の風景をそれで埋め尽くさんばかりに、みんなが、まねをする。建物は都市の風景をつくり、人間の心の風景を塗りかえていることを忘れないで欲しい。

近代主義が否定してきた過去の装飾を、単純に懐古主義で利用しないで、現代は現代の材料と技術で、今後の日本の様式を、地域文化を、そして商店主の新しい商業作法を育てて欲しいものと思います。

（ＡＺインスティテュート環境計画研究所所長）

制御される側からの発想

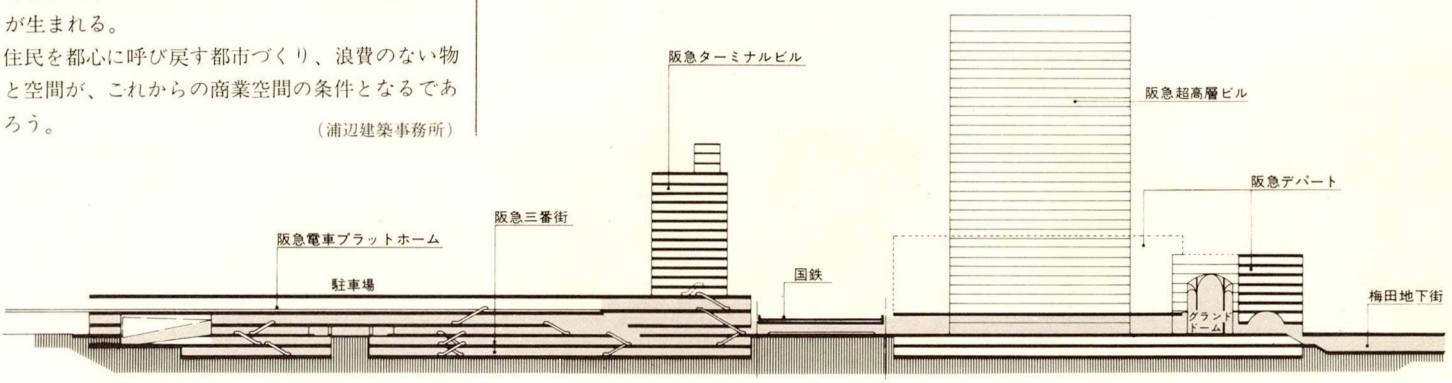
遠藤　剛生

1　サンフランシスコのキャナリースクエアー、ギラデリースクエアー。港を背景に過去の歴史の灰を重ねた二つの工場が(チョコレート工場、缶詰工場)、新しいショッピングセンターとして再生している。二つの工場は、おのおのが古い文化のコードと新しい文化のコードを絡ませて、多くの新しい意味を生み、数多くの市民や観光客の一人一人に対し、ただ単にショッピングをするにとどまらず、数多くの事柄を伝え、サンフランシスコの新しい文化の一つの中心を成している。とくに海を背景にした土地の特性を生かしヒューマンスケールを認識し、建築と周辺環境が一体をなし、非常にアメニテーのレベルの高い商業空間を形成している。

2　最近の具体例を引けば、豊中市寺内地区（緑地公園）に見る住宅と商業施設の一体の姿、また、当節流行の駅前再開発、そして名地に雨後のたけのこのごとく生まれるスーパーマーケット、どの一つを取り上げても常に制御する側からの一方的な押し付けに過ぎない。これら一連の背景は、力の構造が根底に存在し、また、市民意識は環境に対する理解が薄く、環境コストが商品コストに付加されることを望まない。しかし、この状態から健全な新しい文化を生み出す可能性は無い。行きつく所まで行くのみである。ただ、物の売り買いのみの場が商業空間とは言わないと思う。

3　今や都市の全体像を描いてみても意味がない。法的な誘導も全く期待はできない。しかし、現実に新しい町は生まれている。今、われわれの言えることは制御する側からの発想にとどまらず、制御される側の発想も含め、限りなくレスポンスを繰り返しながら計画を進めない限り、明快は常に単純につながり、コモンスペースの一つも生まれては来ないだろう。

（遠藤剛生建築設計事務所所長）



店舗自身の魅力を

吉村　篤一

1　趣意書の中で定義された「商業空間」を私なりに整理してみると、建築空間の良し悪しよりは、店舗等の集合状態が整っていて気持ちがよく、また共用部分も素直で抵抗のないものと、建築空間が優れていることにより商業施設としての価値が高まったものと、との2種類に分けられる。

前者では阪急三番街、サンチカタウン、くずはモールなどが比較的良くできている方であろう。これらは建築そのものは特別どうということはないが、これらの施設に無理なく入ってゆくことができ、安心して買物や飲食ができるという雰囲気が、全体としてよい印象を与えているのだと思う。しかし各店舗は個性がなく平均的すぎて、強く客をひきつける魅力はあまりない。

後者ではソニータワー、ローズガーデン、フロムファーストなどがよい。これらは建築そのものが優れているのと、立地条件の良さが影響して、各店舗の魅力度がより増しているのではないだろうか。

2、3　新しく計画された大規模商業施設は、どうしても強い魅力に欠けるものが多い。むしろ自然発生的なものの方が個性があり、公共性などがなくても十分商業施設として魅力がある。たとえば京都の河原町－木屋町－先斗町の界隈は、それぞれの通りが特徴のある〝顔〟をもっており、適当な距離をおいて連絡されているため、公共性とかコモンスペースのあるなしにかかわらず魅力度の高い商業空間となっている。また大阪の心斎橋筋も個性のある店舗の集合体であり、背後に飲食店街、御堂筋などを控えているため、全体として魅力あるものとなっている。

これからの商業施設は、パブリックスペースを設けることも大切ではあるが、店舗自身の魅力が高まるようなアイデアやデザインが要求されてくるのではないだろうか。

（建築環境研究所）

京都・先斗町



地域のコミニティの核

増田　靖仁

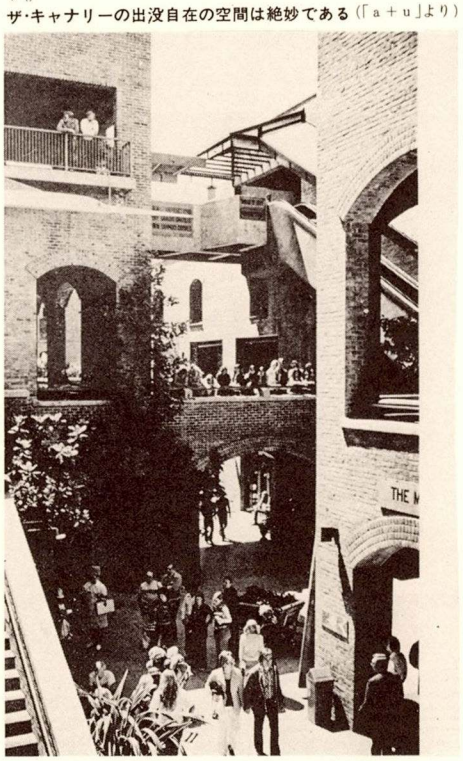
1　私の好きな商業空間の一つは、サンフランシスコの〝ザ・キャナリー〟です。古いレンガ造りの罐詰工場を改造したショッピングセンターとして、かなり話題になり、サンフランシスコの名物の一つになっております。

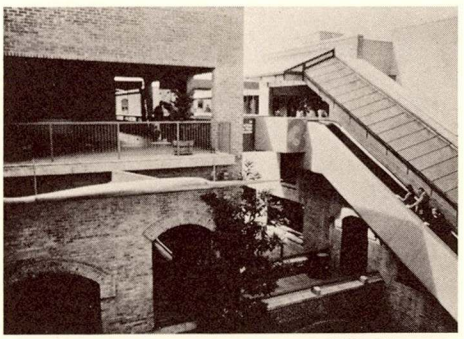
アーケード、エスカレーター、外部エレベーター、階段、空中廊下、バルコニー、渡り廊下、中庭等々あらゆる装置を使って変化に富んだ空間を作っています。人々は商店のウインドウやカフェの看板を探すのでなく、空間の変化を楽しみながら、知らず知らずにS・C内を回遊してしまうように作られています。人の気配が絶えず、人が人を見て楽しめるような場が作られています。広場の隈では、似顔絵描きや、パントマイム、ギター弾きなどが自分の芸を売っています。

近くのフィッシャマンズ・ワーフと並んで、楽しいぶらつきのための小路であり、うまい物あさりの場として親しまれています。

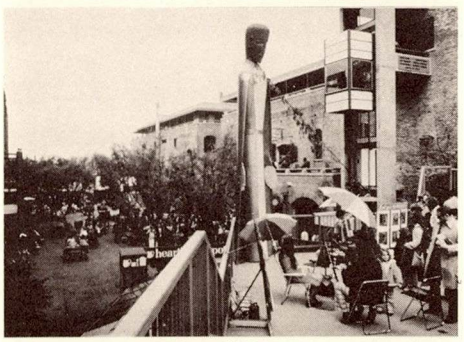
2　近来、商業施設に広場やシンボルゾーンを取り込むことによって、より快適な商業空間を作ることを試みるものが増えはじめてきました。しかしそれらのほとんどは、商業施設間の競争激化に対処するための手段として計画されているようです。

ザ・キャナリーの出没自在の空間は絶妙である（「a＋u」より）





エスカレーター、バルコニー（筆者撮影）



似顔絵描き（筆者撮影）



野外音楽会が行われている広場（筆者撮影）

快適な商業空間を作らなければ、人が集まらず競争に負けてしまうという傾向は今後とも激しくなり、ますます快適さ、新奇さをねらった商業空間が増加してくると思います。土地の値段が高い日本では、経済ベースのみで考えられ得る商業空間としては、おのずから限界があるように思われます。

人の集まる商業施設を作ることと、さらに積極的にその場を利用し、コミニティセンターとしての場を作りあげていくことが出来ないでしょうか。商業施設に限定せず、公園、広場等の公共的な役割をつけ加えたスペースを作ることが余裕のある商業空間を確保する一つの方法になると思います。

多様なニードを持った人々が自然に集まって来る場所がおのずとコミニケィションの育つ場所になり、地域のコミニティの核になると思います。そういう場所が規模、地域の大小にかかわらず、これからの望まれる商業空間であると思います。

（KKエム・デー建築事務所所長）

商業空間批判

北島　道生

〈建築の世界〉では、〈環境〉〈計画〉〈造型〉〈技術〉などの話題について、あたかも〈建築〉が自律して存在するかのような錯覚の中で滔々と論ぜられ、その〈存在目的〉や〈関係経済〉などのインフラ・ストラクチュアーは、ほとんどいつも忘れられているように見える。

もちろん〈商業〉が〈商業空間〉のインフラ・ストラクチュアーであるわけだが、その〈商業〉の様態は、〈業務分類〉や〈立地〉によると言うよりは、その〈利益生産性〉に支配される。〈商業〉の〈商品原価〉と言い、〈業務経費〉と言い、〈利益〉と言い、当然のことながらすべては〈購買者〉によって購われるものである。〈商品原価〉は〈商品生産者〉が決めるものであるが、〈業務経費〉と〈商業利益〉の大部分は、競合と淘汰の結果として〈購買者〉が一賢明であるならば一決定するものだろう。本題の〈商業空間〉の性質について、経済的等価な〈空間特性〉も考えられないわけではないが、一般には、より豊かな空間性はより高い経済に支えられるのが普通であり、その高い経済とは、より高額な〈業務経費〉にほかならない。

そしてその〈業務経費〉を購うのは、〈購買者〉以外にはない。

〈購買者〉は〈商業施設〉で、〈商品〉を購入するのか〈豊かな商業空間〉を楽しむのか、あるいはどこか中間であるのか。

いずれであるかは、〈購買者〉だけが決め得る。見方を変えて〈商業空間〉を、単なる〈商業施設〉の周辺と考えずに〈都市空間〉の一部と考えるなら、その〈施設投資〉はその都市の〈形成者〉全体が購うことになろう。その場合にも、〈商業空間〉を〈都市空間〉の主要な一部と看るか軽い部分と看るかは、〈商業〉自身ではなく〈都市形成者〉総体が決める。

実際には抽象的な概念固定ではなく、個別にどの〈商業空間〉が重要な〈都市空間〉であり、どれが軽い〈都市空間〉であるかという個別判断の必要が生じて来ようが、それでも総論としては前段の一般論が死ねわけではない。

〈都市空間〉には〈商業空間〉のほかにも、公有／私有、公営／私営を問わず公共利用を主眼とする〈文化施設〉〈娯業施設〉〈運動施設〉、公園などの〈憩いの空間〉〈交通空間〉、都市の過半を占める〈住宅地〉…etc.,などがあり、すべてに豊かな空間性を造出できればそれに越したことはないが、現在のわれわれの経済はそれを直ちには充足し得ないらしい。そこで必然的に優先順位が生じ、〈商業空間〉がどの順位を占めるかが問題となり、当然それは〈商業〉自身が定め得ることではない。

他方〈商業の利益生産性〉の高低は、業務の効率性と商業総体の従業人口の大小にある。論証の裏付けを持たない印象であるが、旧大阪市街地南部から尼崎を抜けて神戸西部に至る国道2号線を主として見られる、何十キロかにわたって延々と途切れない路線商店街、このような例は他のどの国にも見られなかろう。つまりは商業従事人口が過大なのではないだろうか。

このような〈莫大な商業施設〉では、〈業務経費〉と〈利益〉は分散されるので、多くの場合、乏しい〈業務利益〉と貧しい〈商業空間〉しかもち得ない。それでも〈購買者〉は総体として高額な〈業務経費〉と〈利益〉を負担させられる。〈過剰な商業施設〉は〈購買者〉にとって、近視的には便利かもしれないが、結果としてあまりに高価に過ぎよう。現在の〈商業全体〉を整理しなければ、好ましい〈商業空間一般〉は生まれまい。

その状況の中でわずかな例では、かなり豊かな〈商業空間〉があり、〈秀れた〉とは言わないまでも、〈高価な商業空間〉の非常に多くは、〈輸入販売業〉によって支えられている。現在この国での〈輸入品最終価格〉は概念的に、原産国の市販価格の300%と思われる。原産国でも当然、相応の〈流通経費〉〈業務経費〉〈利益〉は計上されているのであるし、輸入は市販価格で成されるのではなく、それらの経費の大部分と小売り利益の発生する前の卸売り価格で成されるのであり、いかに輸送経費や輸入関税が存在しようと、その価格差は異常である。

この価格差は、ひとえに〈購買者〉の異常な舶来崇拝に支えられて、それを助長すべく異常に高額な〈商業施設投資〉を促し、店舗当たり販売数量は必ずしも多くないので、全体収益性はそれほどよくはなく、したがって異常に高い〈販売利益率〉を生むし、生まざるを得ない。

いずれの場合にせよ、この国の小売店の過半は半遊休状態に近いのではないか。

これら〈輸入品販売業〉の過半は、この国の未婚女性によって支えられる。彼女達の大部分は、たとえ相応な自己収入があったとしても自己の生活必要経費を負担せず、だから可能な限りの出費を異常に高価な輸入品購入に当てる。これは他の国では見られないことであり、この国の女性全般の〈経済的非独立〉と〈精神的未熟〉を意味し、三段論法的ではあるが、この国の〈高価な商業空間〉は彼女達によって支えられていることになる。

このような不健康な事由によるあだ花がたとえ美しくみえても、それに価値を認めるわけにはいかないし、そのようなあだ花を求めるわけにもいかない。

さまよい——時間

光安　義光

私も最近地方都市で、ささやかな商業空間を考える機会があり、いくつかを参考に見学したものである。

このたび、協会が企画した原因も、今私どもが現状に欠落していると感じていることとも共通しているように思われる。

経済成長の大きなエネルギーの渦に巻きこまれた商業空間には利益優先、売買面積の合理化が先導され、お客様は神様だと棚上げして、バタリーの雌鶏なみの卵を生みだす仕掛けにのせられていたものである。

欠落部分とは何か？　客の心情的動線だと思う。さまよい（彷徨）の径路の喪失である。個人の歩行線は一直線ではなく、ふらついているものである。これはゴキブリ横丁的である。そこに庶民の生活感情がしみこんでいくものと考える。統計や集団の動線には、あくまでも合理的機能や災害交通などが第一義的に取り扱われるのは無理もない。個人感情の起伏、哀歓の心情的空間表現は横丁的空間になると考える。それは、さまよいであり、愉しみの時間となる。

つぎには、空の見えることである。背を伸ばして、開けた快さを求める庶民は、都市(造られた天)の下であえぐのである。ああ空が欲しい。

商業空間であるためには、利益先導型となるに違いない。そこでは、せめて、庶民の悩みとよろこびを併存してもらいたいものである。群の中での個の尊重に意を払わねばならない。

洗練された情緒、さまよいの愉しみを回復せねばならないと思う。

一人のお客様は神様だ!!

（建築家）

（左段より）

ない。

当然〈未熟な彼女達〉は〈同様に精神的に未熟な彼達〉によって圧倒的支援を受けているわけだ。

すべては循環の上の事象であり、その断片事象をとやかく議論しても意味はないし、かといって循環全体を論議しても、これまた不毛である。すべては時間による変成にしか期待できなかろう。

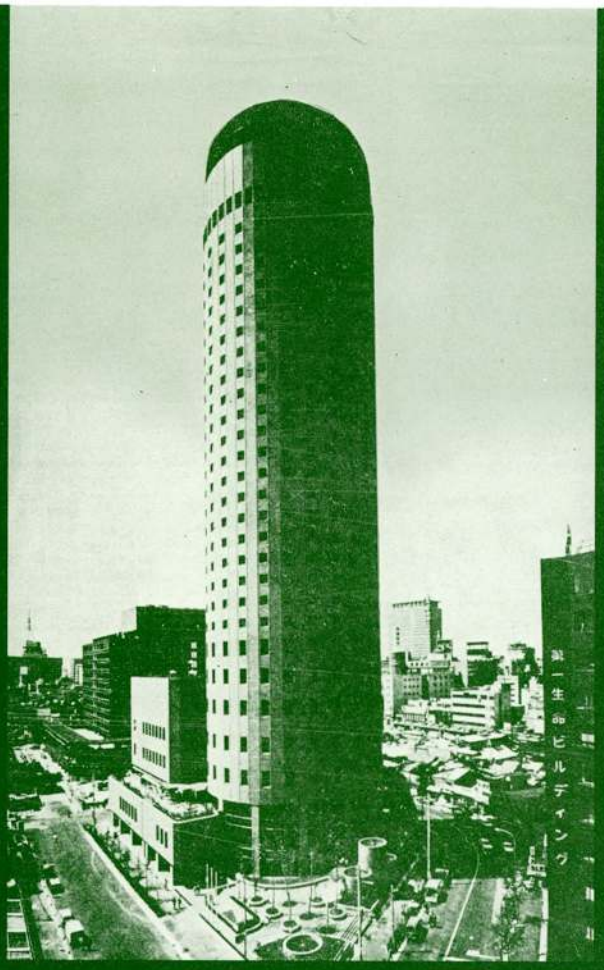
ただ、その時間を長くするか短くするかが人間の叡知と努力である。

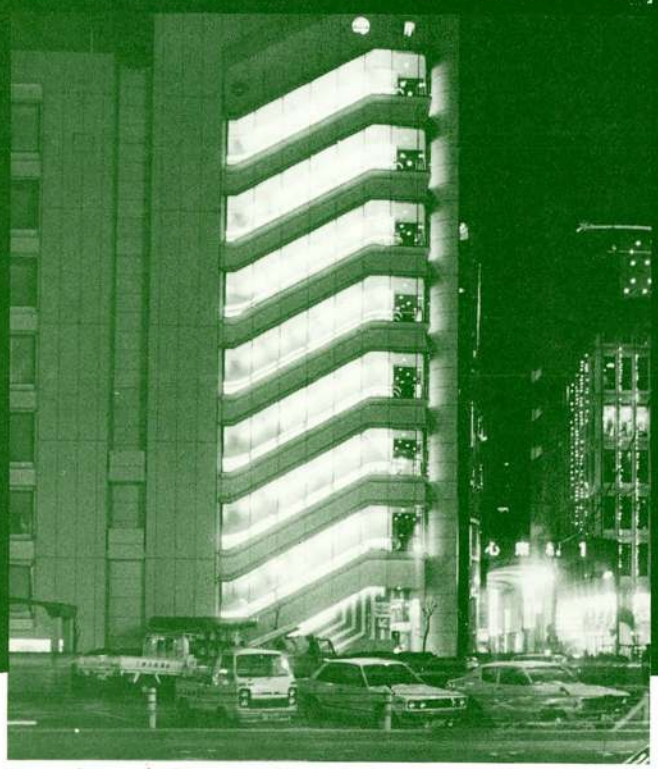
（北島道生アトリエ〈1級建築士事務所〉主宰）

1. 都市のシンボルの創造

都市に新しいシンボルやランドマークの役割の生ずるようなホテルや店舗などの複合ビルとその周囲。



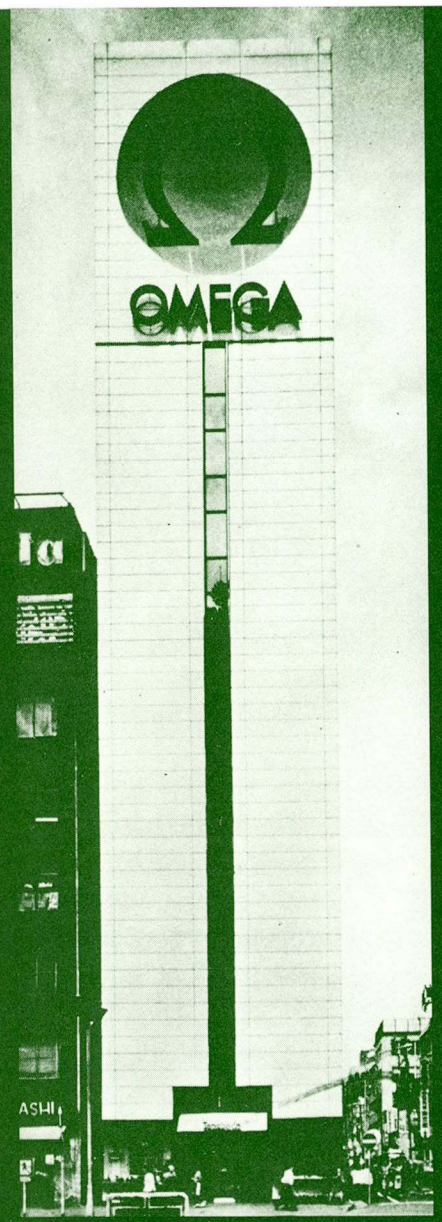




ソニータワー（大阪・心斎橋）



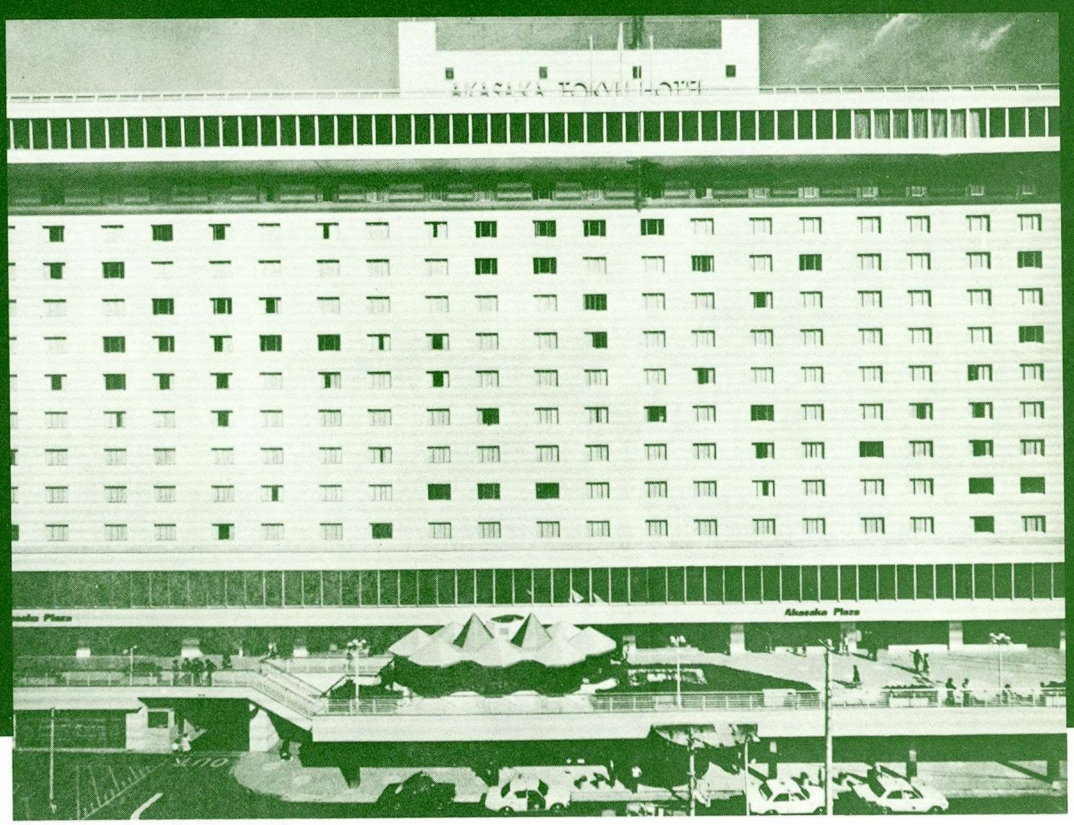
大阪マルビル（大阪・梅田）



天賞堂（東京・銀座）



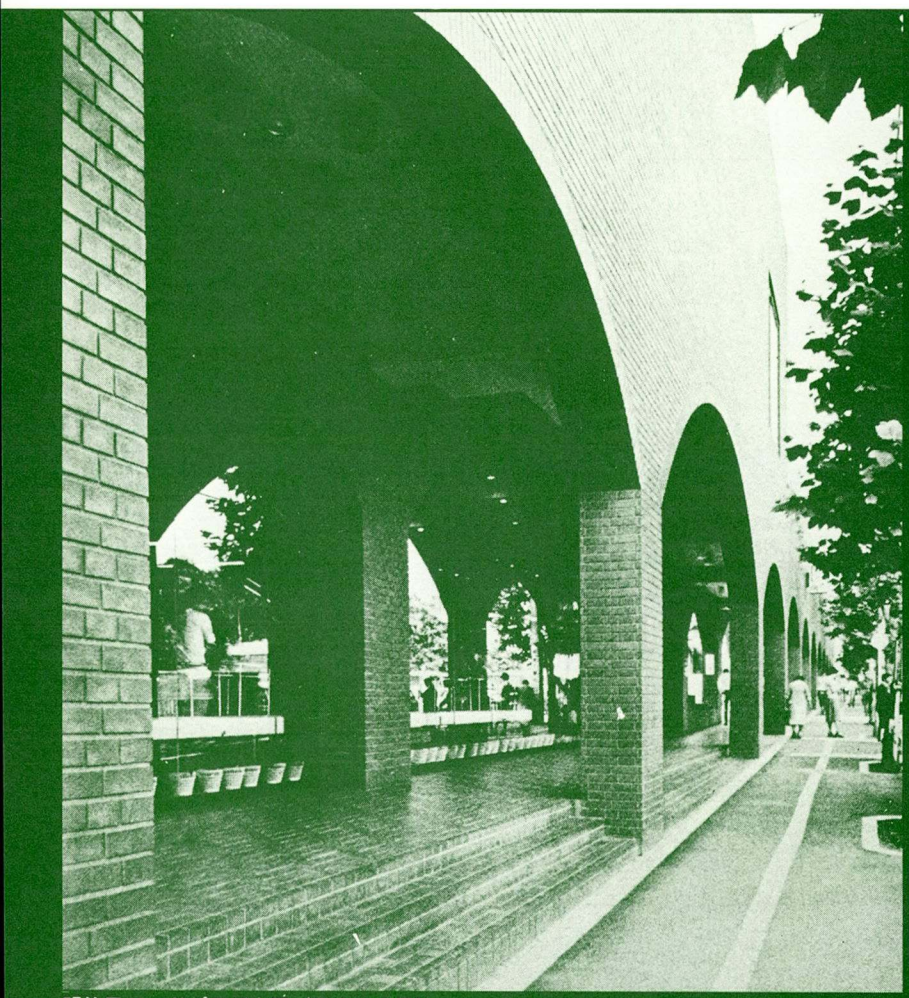
西武新宿ビル（東京・新宿）



赤坂東急ホテル（東京・赤坂）

2. 界隈空間の再生

旧界隈を衣がえすると同時に、新しく広場やストリートファニチャ（ベンチなど）を設置するなどして変身したもの。もちろん、古い建物の内部を改造して保存の一形式となる場合も含む。



明治屋フードプラザ広尾（東京・広尾）





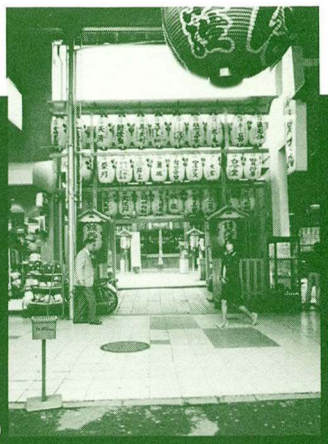
倉敷アイビースクェア（岡山・倉敷）



道頓堀（大阪・南区）



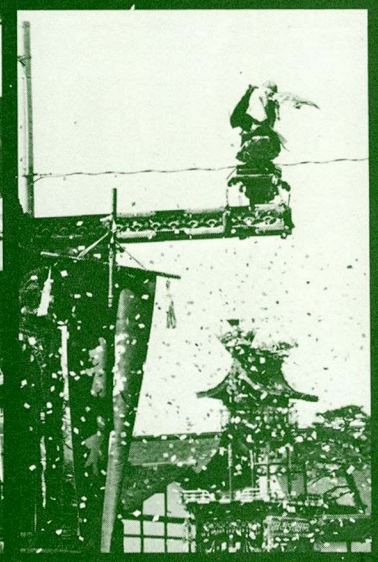
道頓堀（同左）



新京極（京都・京極）





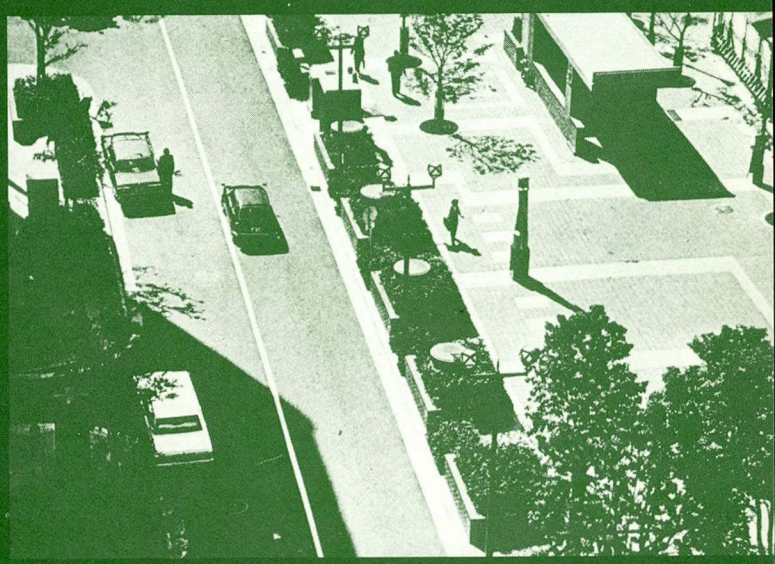






高山の朝市と祭り（岐阜・高山）



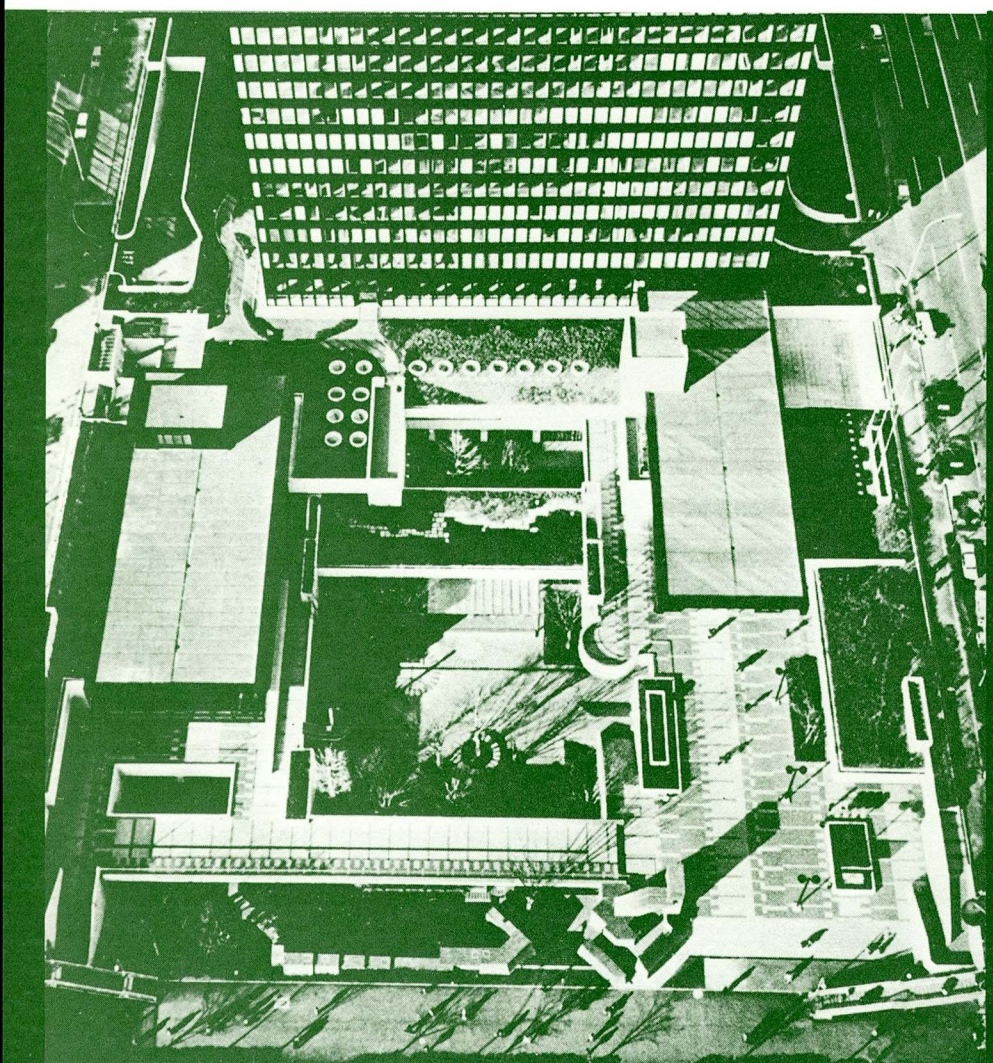


横浜馬車道通り（神奈川・横浜）

●商業空間のありよう

3. 建物の足元

ホテルやマンションなど立体化した居住空間に対する足元のサービス店舗などが体裁よくデザインされたもの。



新宿三井ビル（東京・新宿）

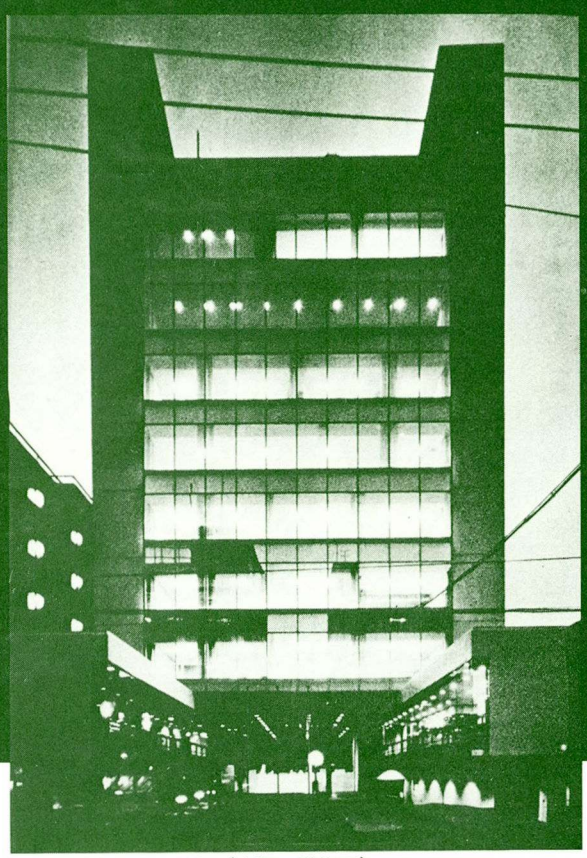




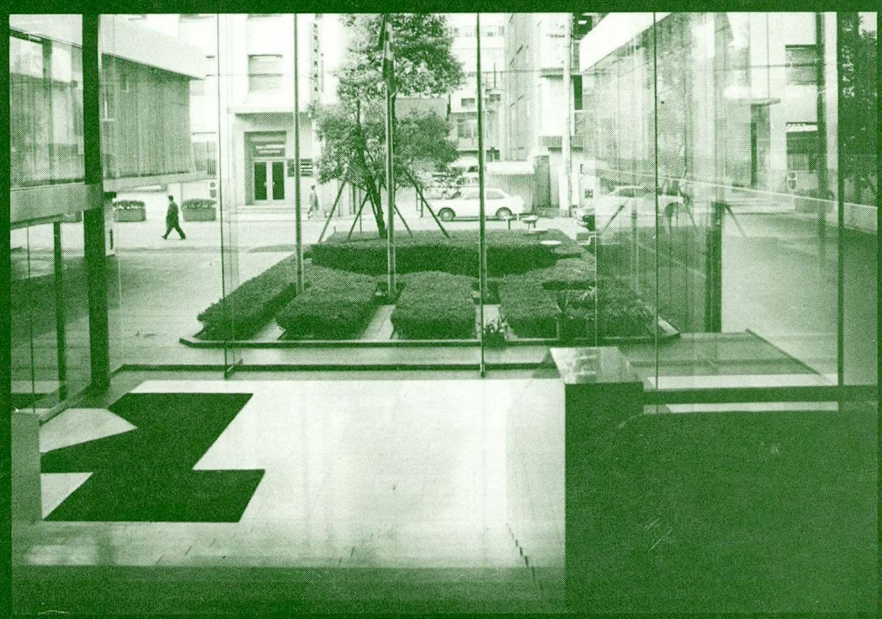
三井アーバンホテル銀座（東京・銀座）



高松ワシントンホテル（愛媛・高松）



森下製薬本社ビル外観（大阪・道修町）



森下製薬のアプローチ

4．交通結節点の商業核

鉄道駅などの大量輸送の交通結節点につくられた商業核。

なんばCITY、ロンモール布施については作品頁参照



新長田駅前市街地住宅ビルの「ジョイプラザ」（神戸・新長田）



阪急デパート（京都・四条河原町）



ダイエー塚口店（兵庫・塚口南口再開発）

●商業空間のありよう

5. ドライブインショッピング

モータリゼーションの発達で、昔必ずしも交通の要衝でなかったところや、密集地区を外れたところに立地したドライブイン形式の店舗やその集合体がコモンスペースをもっているもの。

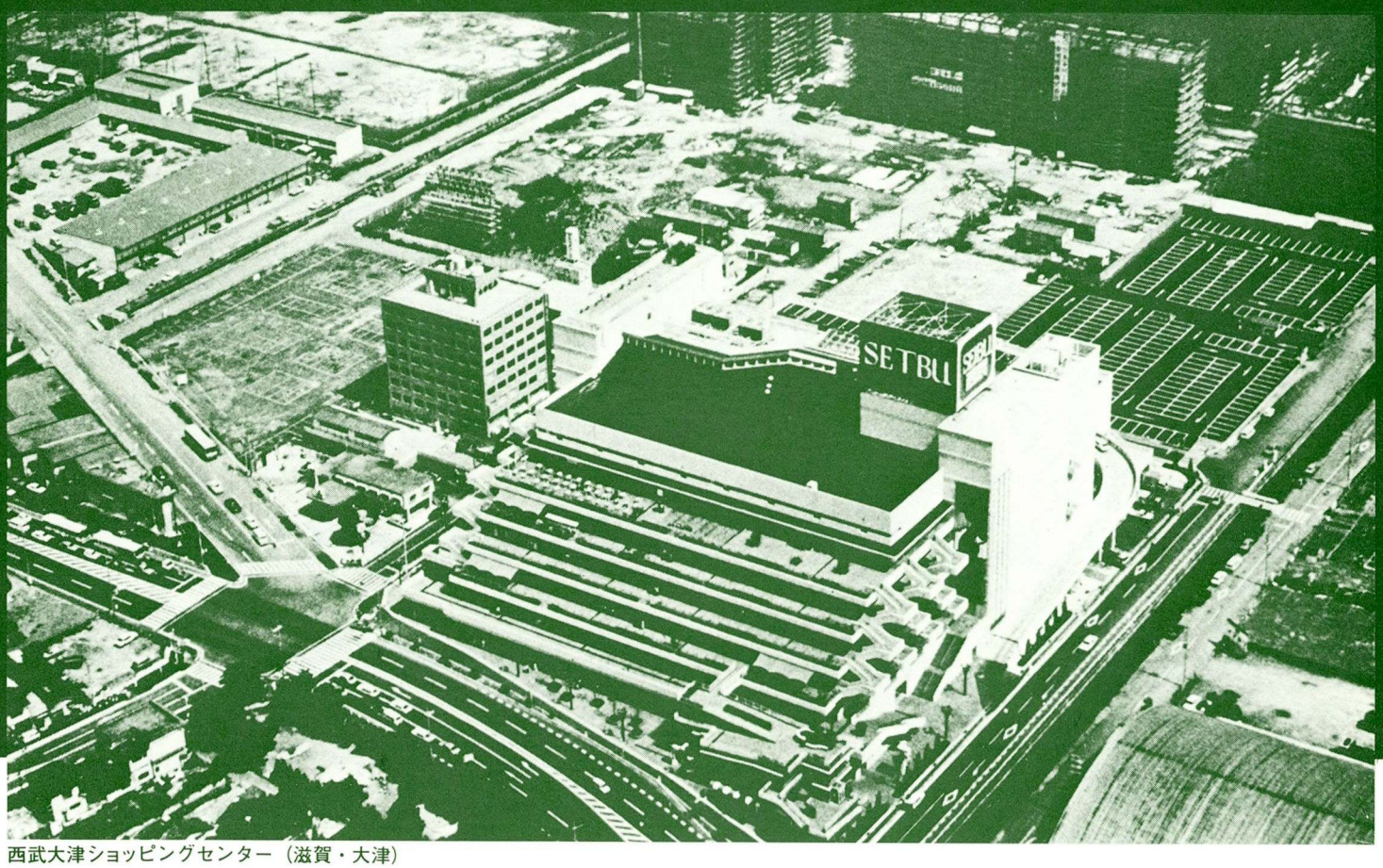




神戸屋（兵庫）



ロイヤルホスト（大阪）



西武大津ショッピングセンター（滋賀・大津）

●商業空間のありよう

6. 定型から脱皮したニュータウンのセンター

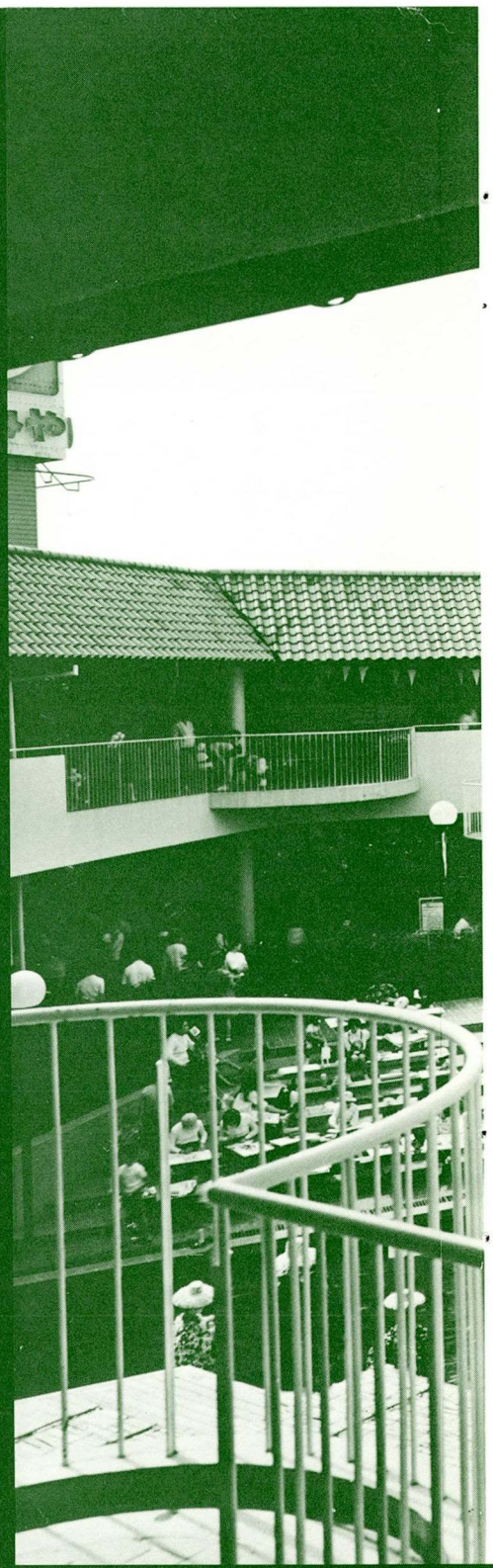
住宅地を背景にして商業施設の集積が予めコモンスペースを見こんで計画されたもの。



泉北ニュータウンの近隣センター（大阪・堺市泉北）



高蔵寺ニュータウンのサンマルシェ（愛知・高蔵寺）



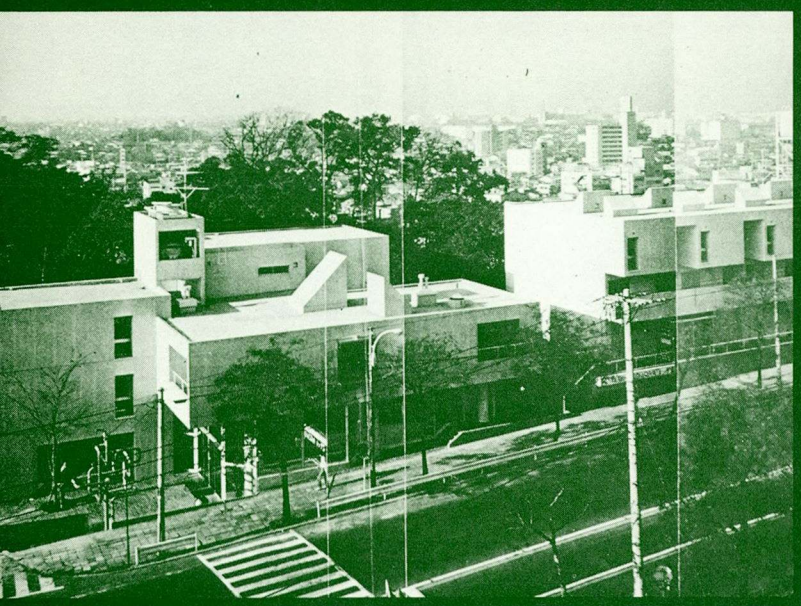
くずはモール（大阪・枚方）


こまばモール街秋の
大売出し
京

●商業空間のありよう

7. ファッショナブルなもの

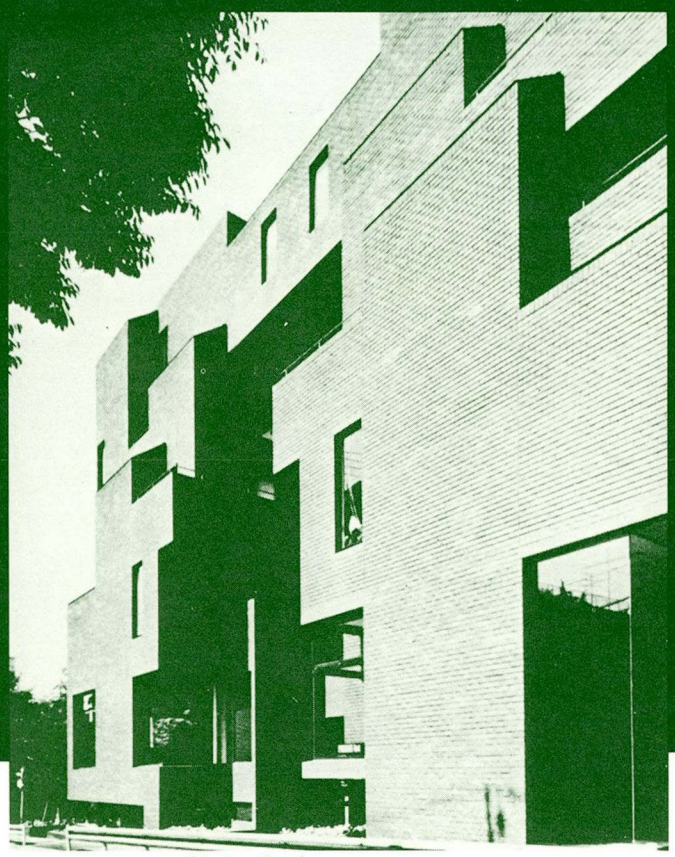
低層のアパートにファッション店舗などが組み合わさって、小規模ながら全体の秩序があり、建築デザインもファッショナブルで、新しい界隈空間を創り出しているとでも呼べるようなもの。



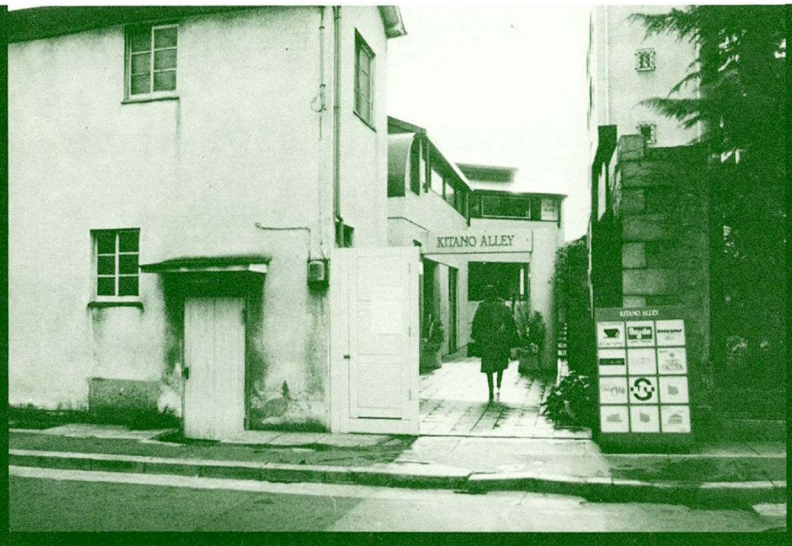


代官山集合住宅（東京・代官山）





フロムファースト（東京・青山）







北野アレイ（神戸・北野町）



IJINKAN CLUB（神戸・北野町）

●商業空間のありよう

8. 大規模店舗

大規模店舗が、専門店群と結合して全体がショッピングビルとなったもの。

この章の写真は、編集者提供によるもののほかは、つぎの雑誌より引用しました。
「新建築」「建築文化」「都市住宅」「商店建築」「建築界」「建築画報」「建築と社会」「ＳＤ」



阪急デパートコンコース（大阪・梅田）





泉北パンジョ（大阪・堺市泉北）



シーモールしものせき（山口・下関）



シーモールしものせきの２階モール（同左）

●中国を訪ねて〈2〉——王柏群

北京ひとり歩き

ホテルのロビーには万里の長城や明の定陵など、旧蹟巡りの観光バス案内が掲示されていました。早朝ホテルを出発し、夕刻に戻るのですが、三食付きで3日間の費用が70元と書いてあります。約8000円ほどの参加費で結構安いのですが、差し当たってのスケジュールとして、建築関係の懇談会が2日後にきまり、現場見学の日程もほぼ決定したので、当分は参加を見合わせ、何よりもまず待望の北京のまちをひとりで歩くことにしました。

売店で買った北京市区案内図を拡げると、真っ先に目につくのが故宮博物館と天安門です。周知の通り故宮は昔の紫禁城であり、北京城中枢の広大な地域を占めています。そして天安門はその南にある正門で、北側の地安門、東西の東安門、西安門とともに紫禁城の4つの城門の一つなのです。

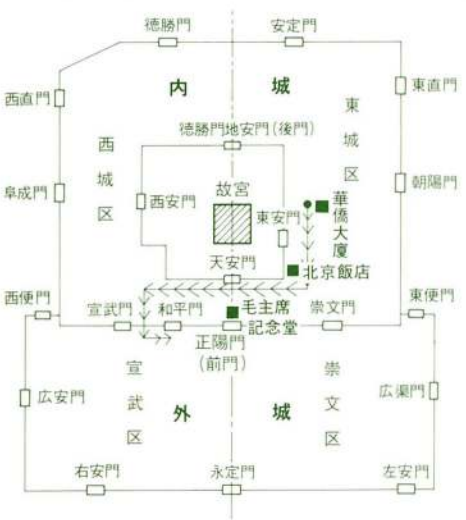
私が泊った華僑大廈は故宮のすぐ東寄りで、天安門まで約2キロ半、東城区内にあります。

明朝中期に完成をみた、いわゆる〝北京内外城〟の構成は現在の市区にもその名残りを留め、天安門と地安門を南北に結ぶ中心軸を境として内城側は東城区と西城区に、外城側は宣武区と崇文区に、旧城内はこの4つの区に区分されています。

外城側の区名は宣武門と崇文門という内城に通じる2つの城門名に由来します。

北京城にはこのような古い城門が計21カ所もあり、それぞれが地名や街路名につながっていますから、北京市区の地理はまず城門名を覚えることから始めれば比較的判りやすいように思えました。

8月9日の朝8時、地図を片手にホテルをとび出し、すぐ南側の王府井大街へ出ます。この通りは在京の日本人達から〝北京銀座〟と呼ばれているそうですが、大小さまざまな業種の店舗が建ち並び、買物にはとても便利な通りのようです。平日ながら人通りも多く、



北京の城門名と筆者が歩いたコース(●→)

地方からの上京者らしき人達の往来が目立ちます。古い木造の店舗が多いようで、ファサードを塗り替えている若い女性塗装工や老朽建物を解体中の大工の姿を見かけました。

東風市場は買物客で活気に溢れ、人民日報社の前の掲示板は黒山の人だかりです。北京百貨店もこの通りに面して建っていました。

とある小さな書店へ入り簡明日漢科技詞典を買いましたが、学生達が参考書を買うために行列しているのを見かけました。後日談になりますが、新華書店へ建築書を買いに行ったときにも同じ光景を目にしましたし、また、ある日バスの中で出会った11才のあどけない少年が、外国語の参考書を求めて単身吉林からやって来たとはきはきと答え、驚きとともにたのもしく感じたこともありました。今回の旅行で、青少年の学習意欲の高まりを各地で見聞できたことは私にとって大きな励ましでした。

王府井大街を南端まで歩くと国慶節のパレードで有名な東長安街という北京で一番広い幹線道路へ出ます。交差点の西北の角地には建築学報でも紹介された北京飯店の新館が瀟洒な姿を見せています。このあたりは外人旅行者が多く、ホテル前面の駐車場には車がぎっしりと並んでいます。その中には、ひときわ大きな〝紅旗〟もありました。中国の最高級車ですから恐らく外国の貴賓がホテルに宿泊しているのでしょう。

新館の東隣りには同じく東長安街に面してそれぞれ建設年代の異なる2棟の旧館が並んでいます。東端が一番古く、豪華なダンスホールがあり、ちょうど鹿鳴館のように往時の上層階級の社交場として華々しくデビューしたのでしょう。現在は老化のためか一部を補修中のようでした。3棟並んだ北京飯店は見る者に時代の流れをひしひしと感じさせます。

並木の繁る東長安街の広い歩道を西へ急ぎ足で歩いて行くと、いよいよ目指す天安門が見えて来ました。テレビや雑誌で見た感じと異なり、案外小さく感じました。しかし、ふとあの歴史的な一瞬が脳裏をかすめるや、一歩一歩近づくにつれてその姿は重厚さと一種の気魄を伴って次第に胸に迫ってきました。

1949年10月1日、この天安門上で毛主席によって厳かに中華人民共和国の建国が宣言され、中国は100年にわたる列強の屈辱的な支配に終止符を打ち、自らを解放したのです。

新中国建設への希望に燃えて新たな門出をしたのが、つい昨日のように思えます。

ひとり門前に立って天安門広場を見渡すと、人民英雄記念碑は高々と中央に聳え立ち、その気宇の壮大さを充分に感じさせます。そして右手に人民大会堂、左手に歴史博物館がいずれ劣らぬ風格をもって広場を囲んでいます。

はるか南には1977年に竣工したばかりの毛主席記念堂が見えますが、広場が途方もなく広いせいか雑誌で見た時ほどのスケール感は感じられませんでした。後日団体バスで再び訪れ、毛主席の遺容を拝しましたが、その際



前門大通りに延々と続く高層住宅の列

も、小雨の中を長蛇の列をなして黙々と入館を待つ優に1万を超す群衆の姿に心を惹かれ、建物のスケール感についてはとくに印象に残りませんでした。

人民大会堂や毛主席記念堂といえば、その規模の雄大さに比べ設計から工事竣工までいずれも1年足らずという超スピードに驚いたものでしたが、先年大阪である中国からの技術者に尋ねたところ、そういった国家的な大事業は全国の力を結集し、膨大な数の人々が参加して昼夜兼行で設計し施工するので、8時間労働の工事に比べて三分の一以下の工期で完成するのは当然のことです。むしろ機械力を合理的に駆使し少人数で工期短縮の成果を挙げている日本の施工技術に学ぶべき点が多いですよという答えだったのを思い出します。

その言葉を否定する心算はありませんが、こうして実際に現地に立って見ると、やはり膨大な参加者が心を一にした、いわゆる〝三結合〟—設計・施工・発注 三者の緊密な協力態勢の推進—による美事なチームプレーがあってはじめて、あのような超スピードの設計および施工が可能となることを改めて痛感した次第です。

天安門から西へは街路の名も西長安街と変わります。この北側の閑静な地が政府要人の執務する中南海地区です。

西長安街を約2キロほど歩くと再び賑やかな交差点へ出ました。地図を拡げて見ると西単というところです。ここを南へ下って前門西大街を東へ向かい、毛主席記念堂のすぐ南にある通称前門（正式には正陽門）からバスに乗ることにしました。

前門西大街には、10層～12層の高層住宅が、現在工事中のものも含めて延々と続いていました。ホテルを出てからもう7キロ以上も足早に歩いたのですが、不思議に疲れを感じません。途中で時計を見るともう12時近く、1時から昼食に招待されているのでそろそろ戻らねばなりません。前門まで歩くのを中止し、最寄りのバス停からバスに乗りました。

北京では初めてのバス乗車ですが、幸い待ち合わせの青年が同方向で一緒に乗車し、乗り違えずに予定通りホテルへ帰ることができました。

昼食は東風餐庁というマトン料理の専門店でシャブシャブとバーベキューをご馳走になりました。茅台酒も少し入り、ホテルへ戻ってからは1時間ほど心地よく眠りました。

DAIKIN

限りない資源 空気

無限にある資源・空気。これを熱源にして冷暖房を行う空冷ヒートポンプチラーなら、小資源国ニッポンにはうってつけ。さらに、大気汚染も少なく、一石二鳥です。『Gシリーズ』は、成績係数(COP)もグレードアップ、経済性も追求した空調システムです。



『Gシリーズ』の特長

■成績係数は2.72・3.41(冷却・加熱UWY80G 50Hz)と大幅アップで経済運転。
■入念な防音対策で10~6ホンも運転音を低下(当社比)
■小形で軽量。屋上据付が手軽です。
■冷房↔暖房↔デフロストの切換が容易。
■冷凍保安責任者は不要。



UWY80G 冷却能力 174,000/200,000kcal/h (50/60Hz)
加熱能力 192,000/220,000kcal/h (50/60Hz)

※冷却能力は外気温度35℃D.B.、冷水出口温度7℃、冷水出入口温度差5℃の時の値です。
加熱能力は外気温度7℃D.B.、温水出口温度45℃、温水出入口温度差5℃の時の値です。

ダイキン 空冷ヒートポンプチラー

ダイキン工業株式会社 空調営業本部
本社/〒530 大阪市北区梅田1丁目12番39号 新阪急ビル 電話(06)346—1201(大代表)
支店・営業所/東京・名古屋・広島・福岡・札幌・仙台

日本建築協会60周年記念出版

建築技術選書

企画・㈳日本建築協会
編集発行・学芸出版社

1 茶室の話 —— 岡田孝男
茶室の設計に関しては多くの約束事がある。本書では、お茶の心得がなくても理解できるよう特に畳の敷き方や炉の切り方について、豊富な写真と平面図を用いて詳しく解説する。建築家のための茶室設計の平易な解説書。

2 ビルの省エネルギー —— 中村猛
ヒートポンプを用いた省エネルギー空調システム
今世紀最大の課題である省エネルギーに関しては、建築分野に多大の期待が寄せられている。本書ではビルの空調システムとして最も効率のよい〈複合ヒートポンプ〉について、建築技術者を対象に、わかりやすく解説する。

3 建築とコンピューター1 —— 魚木鶴夫
マイコン・ミニコンによる構造設計のすすめ
上手な使い方を考えれば小さな事務所や個人でも簡単にコンピューターを利用できる。本書は、プログラミングの基本から応力解析プログラムの応用まで、実例に即して解説したマイコン時代の手軽な手引書である。

4 都市の下水処理 —— 松永一成
下水処理を知らずして都市計画は語れないといわれる。その都市を支える基盤施設である下水道、中でも最も知られていない下水処理のしくみと設備について130枚の図・写真を用いてやさしく解説した待望の入門書。

5 すまいの語録 —— 茶谷正洋
ユニークなチェックポイント
住宅計画のはじまりから完成までを、400の名言と諺を用いて綴る。楽しく読みながら先人の知恵や工夫が学べ、建築の知識が豊かになる。現代の住まいをふりかえってみる中から本当の住まいとは何かを考えさせる書。

6 コンクリート工事の管理 —— 奥島正一
現場で打込み、養生されてから初めて完成し、その上完成してからではやり直しのきかないのが、コンクリート工事である。その要となる工事監理者・施工管理者のために各段階の管理のチェックポイントを簡潔に記載。

7 構造計画とやさしい力学1 —— 須賀好富
はり・柱編
構造設計の基本であるデザイナーとの対話をより創造的なものにしたいという願いのもとに書かれたデザイナーのための構造計画入門書。140枚の図・写真を中心に基礎的な事柄を興味深く解説。学生の手引書としても最適。

A5判 136頁~160頁
定価 1000円

8 建具の知識と意匠（山片三郎著）も発刊発売中。日本建築協会事務局（231—9648）まで買いにこられた方には定価の1割引で頒布。

構造の頁

56 熱影響をうける高力ボルト接合部

巽　昭夫

高力ボルト接合部の耐火性および耐熱性

鋼構造物が、熱に非常に弱いことは火災後の柱や梁材が、あめのように曲がっていることから容易に察しがつくと思います。

ここで取り扱う高力ボルト接合部は、このような高温（500℃以上）にさらされればもちろんのこと、もっと低い温度域で使いものにならなくなってしまいます。というのも、接合部に用いられている高力ボルトは、使われている応力状態が、普通鋼材の３～４倍高い状態であり、このような高強度を保持するためにボルト材は熱処理調質により材質を改善してあるため、熱によりこの効果が消失してしまうことが挙げられます。

高力ボルトの特色は、その高強度を利用し、高い締めつけ力を導入し剛性の高い接合部を構成することにあります。そのためボルト材は、熱処理調質により、材質を改善しています。

ここでいっている「使いものにならない」とは、大別して２つの原因が考えられます。

1）　受けた熱により、調質効果が消失し、材質が変化する。

図１に、熱履歴後の普通鋼材（SS41とSM50）および、高力ボルト材（F8T、10T、11T）の機械的性質の変化を表します。図よりわかるように、ボルト材は400℃以上の熱履歴をうけると材質が変化し始めるのに対し、SS41およびSM50は700℃までほとんど変化がないことがわかります。

2）　初期導入した高応力が、熱の影響により抜けてしまい、剛性の高い接合部が期待できなくなる。

図２に、F11TM22ボルトを対象に、１～８時間熱履歴をうけたものの残留軸力量を表します。図より、300℃よりすでに軸力の減少が見られはじめ、400℃では、すでに50％～75％の軸力が失われていることがおわかりになるかと思います。また、熱履歴時間が軸力を左右する大きな要因であることがわかります。

図１、２より、「使いものにならなくなる」原因は、主に、ボルト軸力減少にあることがわかりました。

では、実際熱をうける接合部には、どのような場合があるか、場合分けをしてみます。

1）　一度だけ、比較的高い温度で熱をうける場合――たとえば火災等

この場合は、図２の、熱履歴時間１～２時間程度があてはまるゆえ、許容熱履歴温度は、300℃～350℃付近となる。

2）　比較的、低温域で、繰り返し熱履歴をうける場合――たとえばガラス工場、製鋼所等の熱源付近

繰り返し、もしくは長時間熱履歴をうける場合は、前の図は、あてはまりません。**図３**は、**図５**のような熱繰り返しをうける場合（1 cycle＝１時間）を250℃～350℃の範囲で１回～50回について片対数目盛で表したものであり、**図４**は、同様の温度範囲で１時間～500時間連続加熱したものであります。図３－図４は、似かよった値を示しており、繰り返しをうける場合も、その最高温度が保持される時間を積算すれば、そのときのボルト軸力の推定がつくことがわかります。

これらの図によりますと、500時間（もしくは１時間を100回繰り返される場合）以上の熱履歴をうける場合、接合部の最高温度は、250℃までにおさえておかなければなりません。

あとがき

高力ボルトの生命は、その高い軸力であり、これが熱により減少してしまうことを説明しました。これらの軸力の減少を、追締めでカバーする方法も考えられますが、ボルトネジ部、およびナット座金間の表面状態が変質しており、過大なトルクを導入する危険性があるので、この手法にたよるのは危険です。ボルト接合部全体を熱から守って下さい。

（たつみ あきお　大阪大学工学部建築工学科・大学院生）

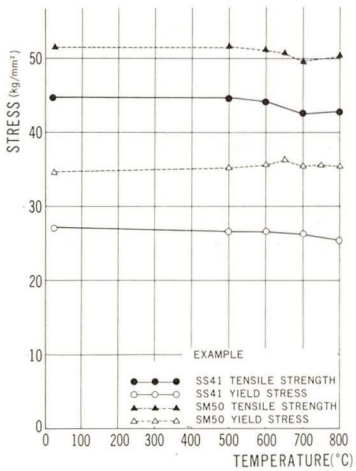


図1･1　SS-41材とSM-50材の熱履歴後、強さおよび降伏点

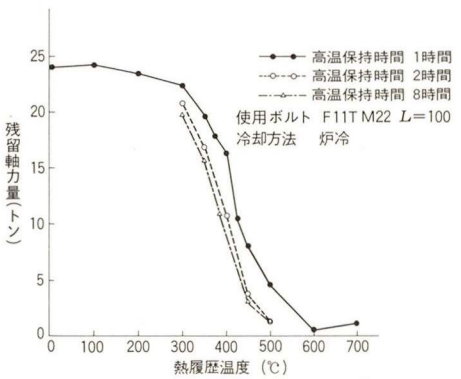


図２　熱履歴後の残留軸力（熱履歴時間が変化した場合）

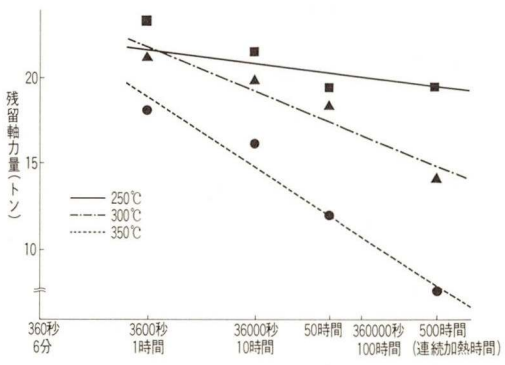


図４　連続加熱をうける接合部の残留軸力

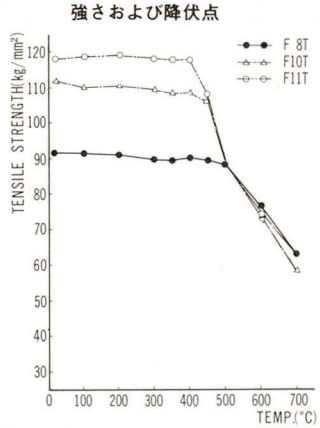


図1･2　高力ボルト材の熱履歴後の引張強さ

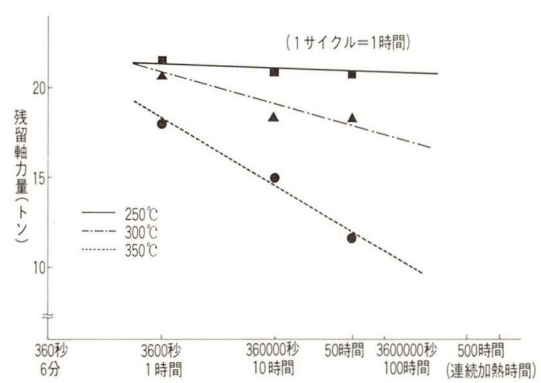


図３　熱繰り返しをうける接合部の残留軸力

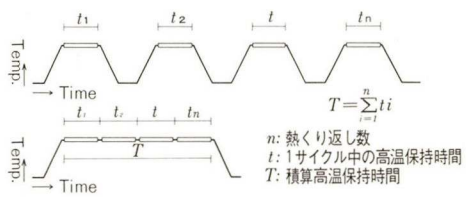


図５　熱繰り返し実験と連続加熱実験との対応図

設備の頁

56

設備施工上の地震対策

（その4）——消火設備

於田　和光

■地震対策の現状

〝地震〟と〝火災〟との密接な因果関係は、一般に強く印象づけられているので、「消火設備の地震対策」というと、地震によって発生した火災を消火する設備に関することのごとく受け取られがちである。しかし、よく考えてみると、現存する消火設備のほとんどは法的に義務づけられて設置されているものであり、その基準は平常時における失火火災を消火することを目的としたものであるので、「地震対策」は「平常時の失火を消火するための設備を地震から守るための対策」という段階を導入して考えざるを得ない。もちろん、この両者は終局的には同一の目的に帰着するものではあるが、実際面での手法となると冷暖房設備やエレベーターにおいてもそうであるように、地震に際してその機能を続行することと、損壊等による被害を防止することでは設計基準やコストにかなりの違いが出てくるので、取り上げなければならない問題となってきている。

1978年宮城県沖地震は市街地の地震として多くの貴重な事例を残してくれたが、消火設備については、その機能が続行されていたならば惨事を防止できたであろうと悔まれるような火災事例がなく、消火設備の損壊による水損被害だけが大きな話題となっている。ある百貨店の話では、地震のためにスプリンクラーヘッドが破壊したり、配管が折損したりして水が噴出したが、停電と自家発電設備の故障とが重なって加圧送水装置が作動しなかったので、損害が一部に限定される結果となった。当時の状況からして従業員は客の避難誘導優先の事態であったことは容易に想像できるので、もしスプリンクラーポンプが平常に作動していたならば想像に絶する被害が出たであろうということであった。この場合、もし火災が発生しており、それがスプリンクラー設備の機能停止のために拡大して大惨事となっていたならば、逆に消火機能の維持に徹する論議が主流を占めるようになってきたであろうが、その場合は機器の設置や配管の基準を地震に対してほとんど絶対に安全と言える水準にまで引き上げることが前提として必要となり、膨大なコスト上昇が付随してくることになる。

さきに述べたように消火設備の大部分は義務として設置されているものなので、地震対策が基準化されれば当然、それもその中に包含されることになるであろうし、特定防火対象物においては遡及の問題も出てくると思われる。したがって地震対策の水準、すなわち具体的な手法の決定は、単に学術的な面のみからではなく、強制されるコストと理想とのバランスという社会哲学的な論議を避けて通れない状況にある。

ここにおいては、これらの論議とは別に、現在実施されている、コスト的にも実用的な地震対策について、その概要を紹介することにする。

■地震対策の実例

1．フレキシブルチューブの使用

地震に際して揺れ方が異なると思われる部分にまたがって設備が存在するところに用いられる。図1は、ポンプやタンクのように固定された重量物と配管との接続部分に対するフレキシブルチューブの使用例である。

このほか、埋設配管と地上配管との接続部分、配管が建物に出入りする部分等にもフレキシブルチューブが用いられる。また、天井のある部屋にスプリンクラー設備を設置する場合は、ヘッドを天井に固定するので天井の揺れがスプリンクラーヘッドへの立下り管（25A）を振りまわす結果となり、枝管と立下り管との接続部を折損するという事態を招くことが多い。これに対しては、枝管から立下り管を取り出す位置をスプリンクラーヘッドの直上から少しずらした位置とし、2～3個のエルボを介してヘッドを取り付ける方法とともに、図2に示すような特殊なフレキシブルチューブを使用する方法がとられるようになってきている。これらはいずれも天井に対する正確な目地合わせを容易にするために考案されたものであるが、最近になって地震対策の面での効用が注目されるようになった。

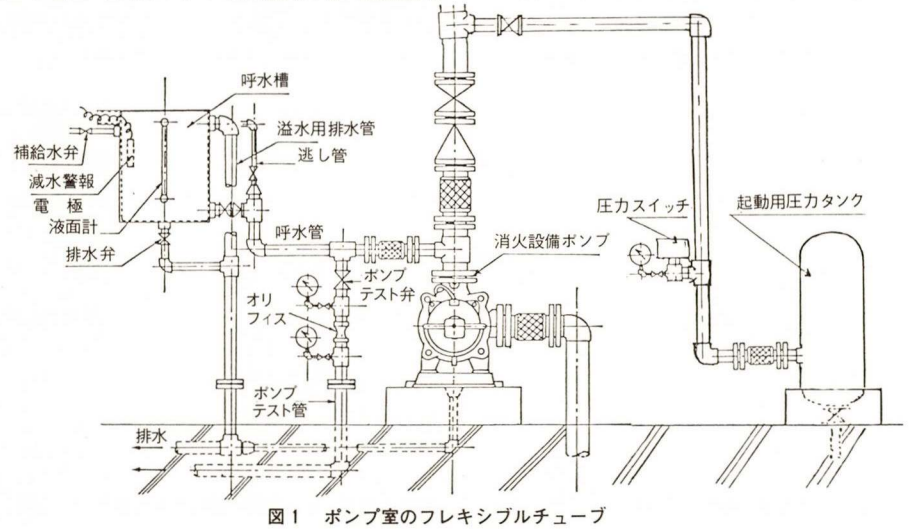


図1　ポンプ室のフレキシブルチューブ

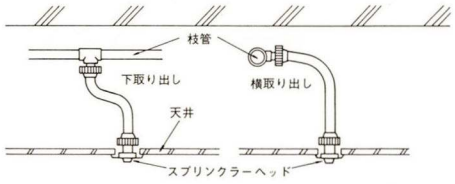


図2　スプリンクラーヘッド用フレキシブルチューブ

2．主管に対する振れ止め支持

スプリンクラー設備を例にした場合、振れ止めの支持は各階への立上り管が横引き主管に曲がる部分と横引き主管10m以内ごとに必要とされている。支持の方法は多種多様であるが、図3に示すようにV型のものが多く使われている。

枝管に対しては、むしろ振れ止めを実施しないで主管の揺れを自然に受けた方が安全であると考えられている。

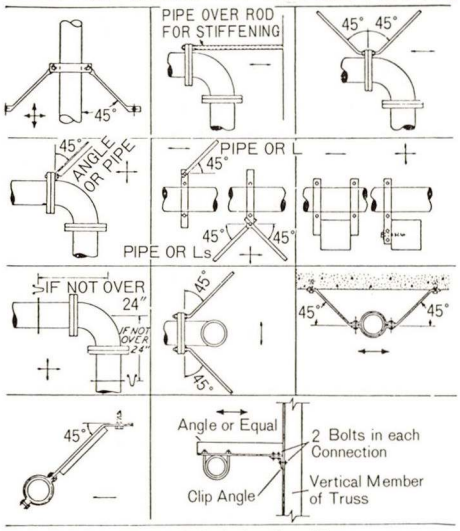


図3　振れ止めの施工例

3．貫通部分に対する配慮

配管を床や壁を貫通させた場合、その埋め戻しや固定は剛なものとせずコンクリートとの間に柔軟性をもたせることが重要である。また、貫通部の直近で配管の方向を変える継手接続を避けるような設計に心掛け、止むを得ない場合は、溶接によるか配管系に逃げを作っておくことが必要である。

4．外部要因からの防護

消火設備は感知機構、連動起動装置、放出器具等の比較的デリケートな部品を多く備えているので、地震に際して外部からの衝撃によって損傷を受けることも考えられる。天井や照明器具等の落下や揺れによってスプリンクラーヘッドが破壊されたという事例も少なくないので、周囲の状況を再点検し、危害を受けるおそれのないように強化、整備をはかることも、地震対策において忘れてはならないことである。

引用文献
(1) National Fire Codes No.13(NFPA)
(2) 消防用設備等の耐震化に関する調査研究（東京消防庁、日本火災学会）

（おだ かずみつ　社団法人日本消火装置工業会事務局長）

施工材料の頁

56

新しい真空コンクリート工法による床スラブの施工

和美　広喜

工法の概要

真空コンクリート工法が開発されてから、すでに40年以上にもなるが、今までは、道路や工場床など特殊な用途にしか使用されていなかった。しかし、最近、北欧において、工場や倉庫建築の床はもとより、一般の事務所建築などの床にも適用できるような新しい真空脱水装置が開発された。

この真空脱水装置は、小型の真空ポンプと30m²程度のシート状のマット（1台のポンプで60m²まで可能）より構成されており、従来のものよりもきわめて簡素化され、取り扱いも簡単である。したがって、従来の床直仕上工法の一工程として、それを組み込むことも可能である。

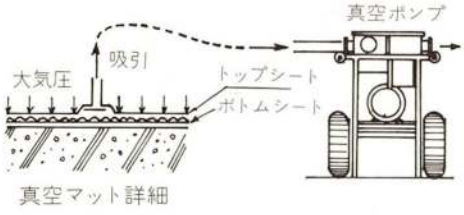


図1　真空脱水装置

本工法によると、**図1**に示すように、真空ポンプの作動によってボトムシートとトップシートの間が減圧され、その減圧度に相当する大気圧(7～9t/m²)がコンクリートに一様に作用し、コンクリートの圧密と脱水が同時に行われる。その結果、コンクリートの硬化が促進され、真空処理後真ちに仕上げ作業ができるとともに、機械化施工も可能となることから、床直仕上工法の省力化を図ることができる。また、ひびわれの減少、耐摩耗性の向上および強度の増大など床性能の向上に対しても有効である。

床直仕上工法への適用性

(1)　真空処理時間

コンクリート床直仕上工法に本工法を適用する場合、真空処理後直ちに動力フロートを導入するためには、どの程度の時間真空処理を行えば良いかを知ることが重要である。この真空処理時間は、貫入抵抗値（プロクター貫入試験装置で貫入量3mmのときの抵抗値）で1～1.5kg/cm²のときが最適であることが、実験および現場の経験により明らかにされており（**図2**）、調合、スラブ厚さによって多少異なるが、スラブ厚さ1cmに対して1.5分前後である。

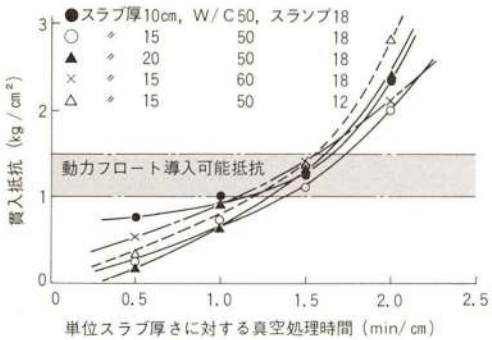


図2　単位スラブ厚さに対する真空処理時間と貫入抵抗の関係

(2)　真空コンクリートの特性

床直仕上工法を対象として真空処理した場合のコンクリートの特性は、真空処理時間、スラブ厚さおよび調合などに影響される。脱水量は単位水量の15～30%程度（**図3**）、スラブの沈下量はスラブ厚さの2%程度(**図4**)、

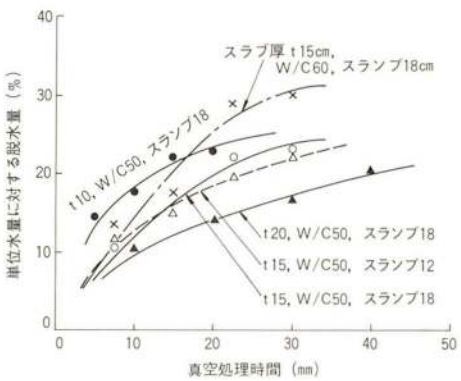


図3　真空処理時間と単位水量に対する脱水率との関係

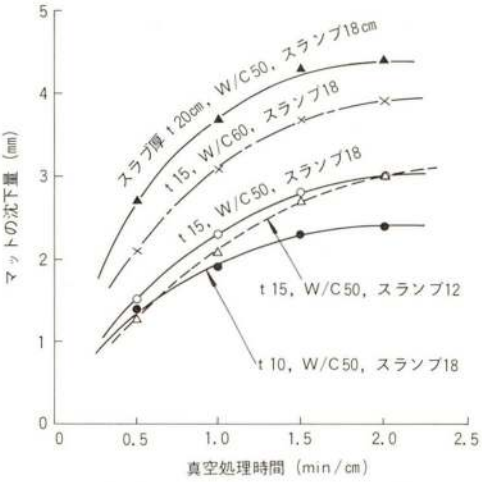


図4　真空処理時間とマットの沈下量の関係

圧縮強度は無処理のスラブの1.23～1.31倍程度である。また、真空処理によりコンクリート中に脱水量と容積減少の差に相当する空隙(0.7～2.4%程度)が発生する。

(3)　21,000m²　工場床の施工例

写真1に真空コンクリート工法による工場床の施工例を示す。



写真1　工場床の施工例

本工事で真空コンクリート工法を採用した主な目的は、

① 工期の関係から約1,000m²ずつの床を連日施工する必要があり、残業などによって翌日の作業に影響を与えない。

② 冬期工事であり、コンクリートの養生の省力化を図る。

③ 機械化施工により省力化を図る。

ことなどであった。

その結果、冬期工事であったにもかかわらず、1日2台のポンプを用い、2時間程度の残業ですみ、実働18日間で21,000m² の床の施工を完了した。

×

真空コンクリート工法は、今まで耐摩耗床あるいは防じん床などを施工するための特殊な工法とされてきたように思われる。しかし、今回新しく開発された真空脱水装置は、きわめて簡素化され、取り扱いも簡単なものであり、熟練工の不足対策はもちろんのこと、施工の省力化やスピード化に対しても十分可能性があることから、今後はあらゆる床工事への適用が期待できる。

（わみ ひろき　鹿島建設(株)技術研究所建築部）

日本建築協会

月間の動き

昭和54年 1 月分

評　議　員　会

技術部門評議員懇談会
30日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　野々村・勢川・酒井各氏
議事　技術部門選出評議員候補者6名推せんの件

正　副　会　長　会

17日　3時～4時　於会館3階会議室
出席者　塚本会長　錢高・福田各副会長
議事　(1) 副会長、理事、監事改選について
(2) 昭和54年度収支予算編成方針について
(3) そのほか

理　事　会

17日　4時～5時　於会館集会室
出席者　塚本・福田正副会長ほか16名
議事　(1) 通常総会開催の件
(2) 創立62周年記念日の件
(3) 実務家のための日影研修会開催の件
(4) 会員の倍加について
(5) 地階の利用について
(6) 入退会者承認の件
(7) 報告事項

事　業　委　員　会

若い会員の集い小委員会
9日　6時～9時　於会館集会室
出席者　阪倉副委員長、河上・瀬戸本・古川各幹事ほか16名
議事　(1) 第6回(11月)、第7回(12月) の事業実施報告
(2) 第8回の企画について
(3) 次年度企画テーマ案の検討
(4) 次年度委員選出について

広報小委員会
10日　6時～8時　於会館集会室
出席者　西村副委員長、原見・奥村・佐藤・平川各幹事ほか4名
議事　(1) 前回事業委員会の議事内容報告
(2) 第42回展示写真実施報告
(3) 第43回以降の写真展示企画について
(4) 実務家のための日影研修会開催について
(5) 次年度委員選出について

見学会小委員会
16日　5時～7時半　於会館3階会議室
出席者　島田副委員長、上出・南両幹事ほか4名
議事　(1) 11月、12月の見学会実施報告
(2) 1月、2月の企画について報告
(3) 3月の企画について
(4) 4月以降の企画について
(5) 次年度の委員選出について

委員会
18日　12時半～14時　於会館集会室
出席者　三品委員長、島田・西村・阪倉各副委員長ほか2名
議事　(1) 各小委員会の事業報告及び事業企画
(2) 各小委員会の収支明細について
(3) 次年度の収支予算について
(4) 次年度事業委員編成について

若い会員の集いみどり学習会企画分科会
18日　6時半～9時半　於会館3階会議室
出席者　菅家主査ほか4名
議事　(1) 昭和54年度第1回若い会員の集いの企画「みどり学習会(7)」についての意見調整ならびに見学先の選定
(2) 下見についての日時と講師の選定、その他

若い会員の集い第8回講師打合会
20日　5時半～9時半　於会館3階会議室
出席者　ゲスト　高田昇氏(COM計画研究所)・新田隆氏(生活空間計画研究所)・土屋敦夫氏(金沢工大講師)・山形委員
議事　(1) 第8回「歴史的環境と建築設計」の当日のタイムスケジュールならびに各講師の講演内容の調整
(2) 会告原稿について、その他

見学会及び展示写真打合せ
30日　10時半～12時半　於ASTM共同企業体事務所
出席者　ASTM共同企業体　清山副所長、真下広報係長及三木(事務局)
議事　(1) ASTM研修会(3)見学会企画について
(2) 第44回展示写真の企画説明及賛助会費についての説明、依頼
(3) その他、詳細打合せ

編　集　委　員　会

作品作風小委員会
10日　4時～6時　於会館集会室
出席者　奈良副委員長ほか3名
議事　(1) 2月号のPR収集状況について
(2) 3月号(商業空間、兵庫小特集)について
(3) 4,5月号の作品選定について

施工材料分科会
10日　4時～5時　於3階会議室
出席者　高木委員、柳生委員
議事　「施工材料の頁」4月号以降の企画

「コンクリートのひびわれ」特集第2回編集幹事会
10日　5時～9時　於会館集会室
出席者　若林・瓢見・荒川各特別幹事、前川委員長、野村幹事、北村幹事ほか3名
議事　4月号「コンクリートのひびわれ」(仮称)特集の企画の具体化

委員会
12日　4時～7時　於会館集会室
出席者　前川委員長ほか4名
議事　(1) 2月号＝大阪南港ポートタウン特集経過報告
(2) 3月号＝商業空間特集経過報告
(3) 4月号＝コンクリートのひびわれ特集企画
(4) 5月号＝日影規制特集経過報告
(5) 6月号以降の企画について
(6) 収支状況報告
(7) 各小委員会報告と企画
(8) 新年度委員交代について

広告企画小委員会
16日　4時～6時　於会館地階会議室
出席者　尾亀、渡辺各理事ほか4名
議事　(1) 1月号「再開発」「新建築」「謹賀新年」広告収入報告
(2) 2月号「大阪南港ポートタウン」特集広告企画
(3) 3月号「商業空間」特集広告企画
(4) 4月号「コンクリートのひびわれ」特集広告企画
(5) 5月号「日影規制」特集広告企画

作品作風小委員会
18日　4時～7時　於会館集会室
出席者　奈良副委員長、藤本幹事ほか4名
議事　3月号商業空間事例資料収集

3月号特集用 足立孝氏 インタビュー
28日　1時半～7時半　於足立孝邸
出席者　片倉副委員長、藤本幹事
欧米の商業空間の総論用として取材

第2回設備分科会
29日　6時～8時　於会館集会室
出席者　中根幹事ほか4名
議事　(1) 「設備の頁」の企画
(2) 7月号設備特集の企画について
(3) 委員交代について

住　宅　委　員　会

委員会
16日　5時50分～8時　於会館集会室
出席者　小西委員長ほか10名
議事　次回住宅展について、その他

建築データシート委員会

委員会
17日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　井上委員長ほか6名
議事　データシートのアフターケアサービス

建　材　委　員　会

委員会
25日　4時～6時　於会館集会室
出席者　元木副委員長ほか9名、クラレ2名
議事　(1) 「KGシート」について
(2) 2月以降のメインテーマについて
(3) 新建材紹介コーナー4月号以降について

出　版　委　員　会

小委員会
25日　3時～5時　於会館3階会議室
出席者　小林委員長ほか2名
議事　建築技術選書、経過報告と新企画

法　規　委　員　会

委員会
26日　3時～5時　於会館集会室
出席者　岡本委員長ほか7名
議事　(1) 5月号「日影規制」特集報告
(2) 法令コーナーの報告企画
(3) 本年のとりあげるテーマについて

見　学　会

灘の清酒「ハクツル」の工場を見る
30日　2時～4時半
参加者　28名
当日の説明者　白鶴酒造(株)北條総務部長、東角製造部長

建築8団体合同新年交礼会

4日　1時半～2時半　於大阪コクサイホテル
参加者　470名

建築クラブ朝食会

16日　8時半～9時半　於大阪グランドホテル
出席者　68名
当日は、鉄眼寺住職、鈴木竜珠師より「大阪の救世主鉄眼禅師」についてのお話を伺った。

1 月 の 入 会 者　(敬称略)

〔団体会員2社〕
淺野工学専門学校　寺崎ネルソン(株)

〔個人会員9名〕
上野　孝一　木村　多江　菊池　真澄
佐田　博　榊原　輝　住江　俊雄
田中　優　樋口　信夫　藤原　昭

地震考

総合天井システム〈Jライン工法〉〈ALTS工法〉

耐震・耐火そして軽量化を誇る総合天井システム〝Jライン工法〟〝ALTS工法〟は当社独自の照明灯ユニットおよびアルミ製Tバーを建物のモジュールに配列し、天井仕上げ材と一体化したシステム天井です。空調、照明、防災機器、スピーカーなどの設備ゾーンとの組み合せ、さらに間仕切、ブラインドBOXなどの取り付けも可能にした多機能を誇っております。(PAT. 6件)

奥村重兵衛株式会社

本　社	大阪市北区西天満5丁目3番7号	〒530 電話(06) 312−4131㈹
東　京	東京都港区新橋4丁目2番第29森ビル	〒105 電話(03) 437−3361㈹
福　岡	福岡市博多区住吉2丁目16番27号	〒812 電話(092)291−0459㈹
名古屋	名古屋市西区倹町2丁目1番6号	〒451 電話(052)522−5436㈹
仙　台	仙台市本町2丁目1番8号第1広瀬ビル	〒980 電話(0222)65−6568㈹
沖　縄	沖縄県那覇市壺川119番地	〒900 電話(0988)53−6850㈹

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4−1　(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881〜3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031〜4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1−5(電話221 2923)



鉄壁の守り
奥山式・熱工法・冷工法総合防水層

創業50有余年、当社では製品製造から責任施工までの一貫した作業システムにより、漏水原因を克服した理想的な総合防水層を完成させました。

●奥山式総合防水層の特長

継目がない／温度変化による伸びがない／腐らない／柔軟性に富んでいる／耐候性に優れている／製品及び施工技術が優れている／完全絶縁工法で施工出来る

カッパー防水帯
コーパータイト
オクロン防水帯
新工法プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社　東京都中央区銀座8-4-9　電話03(571)2703

厚木出張所	厚木市金田字宮畑259	電話0462(21)6092
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6-1-41	電話06 (391) 1081
名古屋出張所	名古屋市南区若草町3−3	電話052(811)3660
九州出張所	佐賀県諸富町	電話0952(47)2945

腐らない・燃えない・軽い

ケミカラーオーシマメタル

屋根材・壁　材・谷樋棟包水切りに
スタンダードメタルの　大島応用化学　東大阪市新庄　(745)5121〜5

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備 設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434）6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131（代）
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話（667）3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06－363－1371
支　店　名古屋市中村区下笹島町11－2　電話052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話0822－47－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
出張所　仙台・横浜・福井・京都・神戸・松江・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

本　店　大阪市西区江戸堀1丁目10番17号 〒550 電話(441)8231
本　社　東京都中央区銀座2丁目2番17号 〒104 電話(535)5251
支　社　大阪・東京・名古屋
支　店　札幌・仙台・金沢・広島・福岡
営業所　新潟・天理・岡山・高松・熊本
出張所　帯広・青森・秋田・盛岡・前橋・千葉・横浜・静岡
富山・福井・豊田・京都・神戸・鹿児島・那覇
海外支店　シンガポール

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768－5031番
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル8階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262－3241～4番

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　各務節
大阪支店長　稲畠和治

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、北陸
出張所　横浜、高松、静岡、豊田、岡山、金沢

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
電話（06）344－6031（代）
本社・　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話（03）279－5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

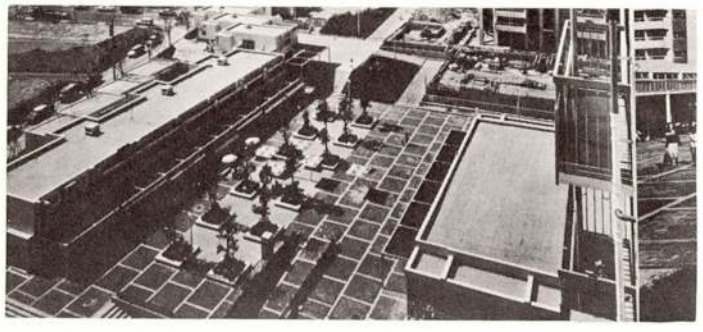
■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・名古屋・金沢・高松・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・苫小牧

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550





商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　産業設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2－6－1☎03－344－1851(大代)　大阪支店☎06－448－5851(代)
名古屋支店☎052－211－1535(代)　九州支店☎092－431－2147　営業所：札幌・仙台・横浜・広島
神戸　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・京都・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3531番
支店・営業所　福岡・京都・広島・天理・川西

空気調和
給排水衛生
搬送機設備
設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530　大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661（代表）
本社　〒100　東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03－211－8511（代表）

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501(代)
四日市支店　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431(代)
津営業所　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610(代)
滋賀営業所　大津市打出浜13－15　電話(0775)22－9738(代)
名古屋営業所　名古屋市中川区百船町　電話(052)363－0681(代)

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備
設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靭本町3－1－27　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

Carrier
冷暖房は
CARRIER
キャリア

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

空気調和・衛生設備
ガス設備・ガス住宅設備
設計・施工
大阪ガス指定工事会社
大阪ガス設備機器特約店

大晃設備株式会社

本社　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
大阪工事営業部　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
枚方工事営業所　枚方市甲斐田東町9番3号　電話0720－49－2128
設備部　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
設備営業所　枚方市甲斐田東町9番3号　電話0720－49－2128

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備・設計・施工

大阪市西区江戸堀1-22-7　TEL(441)代1994・(443)代0331

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

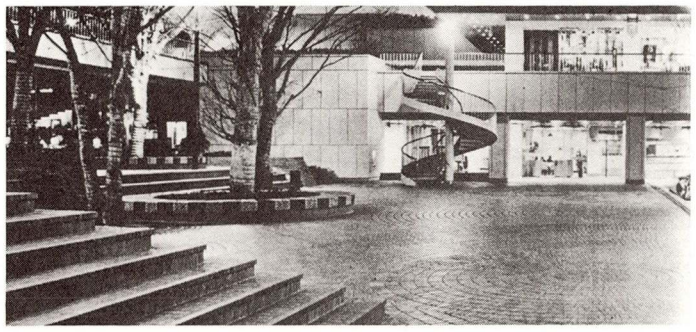
高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8（北阪急ビル9階）
電話 大阪(372)2511（代表）
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工

山田工業株式会社

本社及管工事業部　大阪市西区京町堀1－6－8　電話06(443)8161(大代表)
環境装置事業部　大阪市淀川区三津屋南1－1－35　電話 06(308)1491(代表)
東京支店　東京都江東区亀戸1－8－4（由田ビル）電話 03(683)8421(代表)
名古屋支店　名古屋市中区栄2－16－13(京極ビル)　電話 052(202)0077(代表)
福岡支店　福岡市博多区博多駅東2-4-30(いわきビル)　電話 092(451)3456
出張所　神戸・松山





電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東京・名古屋・舞鶴・京都・天理
大阪南・神戸・広島・四国・九州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 博 三

本 社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル
TEL 大阪06（385）1361（代）
本社営業所 吹田市垂水町3－34－6
TEL 大阪06（385）1361（代）
京都営業所 京都市右京区西京極葛野町21
TEL 京都075（311）1185（代）
福岡出張所 福岡市中央区薬院1－14－8
TEL 福岡092（771）6168

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 坪 井 大

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8（堂ビル7階）
電 話（361）3671（代）
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電 話（671）1478（代）
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大阪支社

常務取締役支社長 姉 川 正 男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪（202）0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市20ヶ所

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8（堂ビル3階）
電 話（364）1471（代）
支 店 東京都港区新橋2－16（ニュー新橋ビル7階）
電 話（504）0231
支 店 名古屋市北区城見通2丁目20番地
電 話（991）5131（代）
営業所 神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06－364－3056（代）
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苦小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

総合設備工事《設計・施行》
電気・アンテナ・送電線・プラント・計装・空調・土木・建築

太陽工藤工事株式会社

取締役社長 小 林 四 郎

本 社 大阪市福島区福島7－22－8
TEL（06）452－1151（大代）
事業所 東京・名古屋・大阪・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長 今 村 勝
取締役社長 平 木 寛

本 社 大阪市北区西天満6丁目9番8号
電 話 大阪 大代表（312）8881
支 店 東京・名古屋・四日市・神戸
営業所 松山

電気設備設計施工

高千穂電機株式会社

取締役社長 岩 崎 久 雄

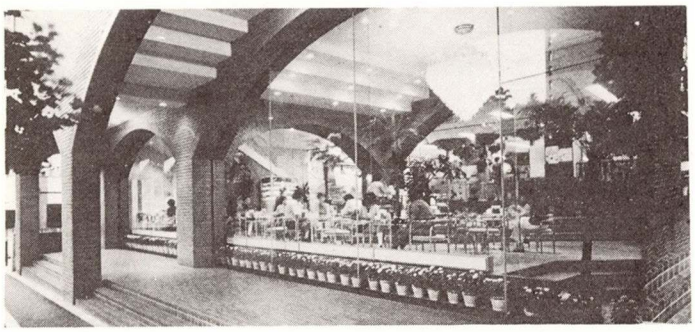
本 社 大阪市都島区中野町4丁目8－10
電話 大阪（06）358－1171大代表
支 店 東京都港区虎ノ門1丁目13番5号
電話 東京（03）503－0718代表
福岡市中央区天神1丁目10番24号
電話 福岡（092）712－0126代表
営業所 神戸 078（351）6441 鹿児島 0992（24）0115

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長 田 中 実

本 社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話 大阪（538）1171代表
営業所 東京・名古屋・広島・福岡





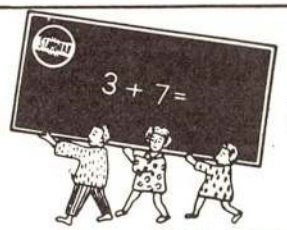
株式会社矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋２丁目９ 野村ビル5階 電話 大阪(202)4905

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
床・壁内外装用瓦……大仏敷・貼瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
新発売…古代土器調高温〆タイル……大仏古代タイル
株式会社 大仏
本社 京都市東山区今熊野大仏池田町９の９ 075(541)3344(代)
東京営業所 東京都新宿区西早稲田３丁目23番８号 03(202)7801(代)
早稲田セントラルビル１F
工場 京都清水・山城・瀬戸

信用と技術で
未来を拓く――東海電工
東海電気工事
取締役社長 坂上忠治
本社／名古屋市中区栄一丁目20番31号 〒460 ☎(052)221-1111(大代表)
支社／名古屋・岡崎・静岡・津・岐阜・長野・飯田・東京・大阪

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目七四 電話641五〇六五
ナニワ緩勾配瓦
３寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

奉仕感謝の店
タイル工事施工
株式会社 川岸窯業商店
本社 大阪市西区西本町１－13－33(靱本町バス停前)
電話 大阪 06(532)代0461 〒550
姫路営業所 姫路市北条口１２６番地(住友生命保険ビル７F)
電話 姫路 0792(82) 0999 〒670

Standard


Board&Slate
フタバ黒板
〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858代

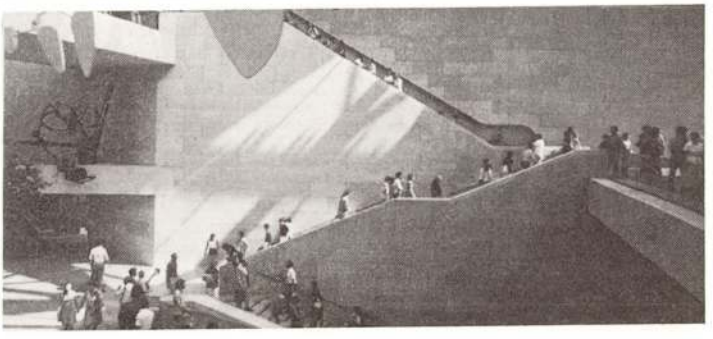
営業品目 建設省認定の防火材料
セメント系吹付材 ソリジットスタイン 基材同等 0003号
特殊リシン吹付材 エバウォール 基材同等 0003号
アクリル系吹付材 エバーサンド 基材同等 0004号
ヒル石吹付材 エバテックス 基材同等 0004号
合同特許建材工業株式会社
本社 大阪市東住吉区駒川町３－54 電話 (06)702－7814～７
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート

源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。
株式会社 吉田芳雄商店
本店 大阪市北区南森町2-1-6 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区同心２－１－31 電話(358)1790・1838

FUTABAYA DECORATORS,LTD


建築物船舶等造作工事、家具建具・室内装備工事
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式／設計施工
二葉屋装備工業株式会社
(創業大正７年)
取締役会長 若林繁吉
大阪府摂津市東別府３丁目７番８号
電話 大阪 (06)349－９１９３代表
大阪府知事建築業者許可(般－48)第12064号

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町5番2号 電話大阪(06市外局番)371代表4151～6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番) 65－5135～6
神戸営業所 神戸市長田区大橋8-4-7 電話神戸(078市外局番)611－7971
631－2021

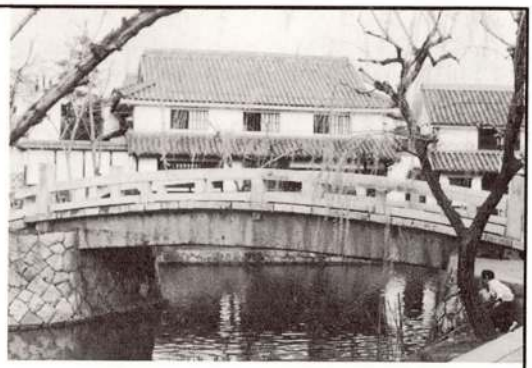
都市設計のための 新しいストラクチャー

久保貞 監修/都市設計研究会 編 A5判240頁 ¥3,300(〒200)

自然と人間をいかに融合させていくか――、土木構造物が生活空間としてどのように使われているかを、行政にたずさわっている立場から、具体的な実例と多数の写真で解説した指針書。

〈主要目次〉 I 生活空間としての土木構造物 II 道路 III 橋 IV 水 V 緑 VI 広場 VII 都市構造物の設計手法 VIII 都市づくり総力戦
自治体におけるものづくり――管理・教育・標準化について

編者――赤松勉、稲毛政信、入江田吉仁、角本直樹、雉真哲郎、笹原和喜男、佐野正明、福井直樹、増渕昌利、村主清家 (50音順)



▶倉敷の運河に架かる中橋

明日を築く知性と技術 鹿島出版会

107 東京都港区赤坂6-5-13 ☎(03)582-2251 振替東京6-180883

新刊のお知らせ

建設省建築研究所監修
月刊
建築技術
年間購読料 ¥8,400 (送料含む)
定価 ¥700

〔54年4月号〕(3月18日全国書店発売)

- 屋外に面する帳壁の基準の改正について
- 減圧プレパックド工法
- 異形棒鋼の品質とガス圧接性
- プラスチックの断熱防音窓
- 建築構造と防災計画
- RC有孔ばりのせん断強度とじん性(2)
- 在来木造住宅構法の地域特性(4)
- 水平設計震度についての質問にこたえて
- 構造計算データシート

好評発売中

〔特集号案内〕

- ●躯体生産技術の向上をめざして 特価¥780
- ●建築と接合 特価¥1,300
- ●住宅部品システムの普及 特価¥1,400
- ●工事環境と技術対策 特価¥1,000
- ●住宅の遮音 特価¥1,000

専門技術者のための
建築構造問題快答集 ★
A5判函入・430頁 ¥3,800 (送料¥200)

専門技術者のための建築構造設計参考書。日常業務の中で実際に出会うさまざまな疑問に，60余名の専門家が明快な解答を与えている。類書を見ないのも本書の特色。

目次構成

1.荷重および外力／積載荷重・風圧力・地震力・土圧・クレーン荷重 2.応力解析／矩形ラーメン・異形ラーメン・山形ラーメン・部材の応力算定 3.基礎構造／地盤・直接基礎の設計・くい基礎の設計・偏心基礎・擁壁その他 4.鉄筋コンクリート造／鉄筋・コンクリート・床スラブ・はり柱など 5.鉄骨造／応力算定・はり・柱など・接合部 6.鉄骨鉄筋コンクリート造 7.木構造その他

建築構造計算資料集 第5巻(全8巻)中川 淳編著
鉄骨鉄筋コンクリート構造
B5判・208頁・透明上敷スケール付 ¥3,200 (送料¥250)

シリーズ全8巻予定の建築構造計算資料集の第5巻目。鉄骨鉄筋コンクリート構造の柱断面算定図表，はり断面算定図表，はりおよび柱の許容せん断力等の資料を収載。

目次構成

1.柱の断面算定図表／F_c=210 SD30，F_c=240 SD30，F_c=210 SD40(SD35)，F_c=240 SD40(SD35) 2.はりの断面算定図表／F_c=210・F_c=240 SD30・SD35・SD40・SS41・SM50，引張鉄筋断面積補正値 3.はりおよび柱の許容せん断力／はりのせん断力負担比算定図表，鉄骨部分(充腹形とラチス形)の許容せん断力図表，鉄筋コンクリート部分の許容せん断力 4.その他 5.付表

建築技術

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1 中島ビル8F
☎東京(363) 4211～4・振替口座 東京0-72417番

設備合理化に貢献する

SK式グリーストラップ

（ステンレス製）

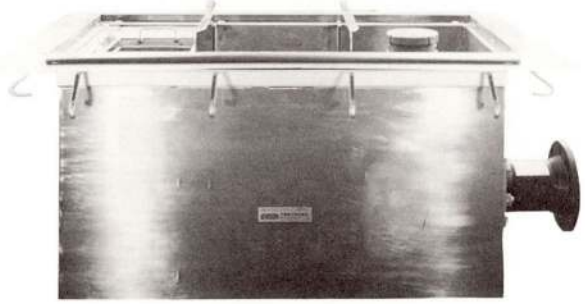


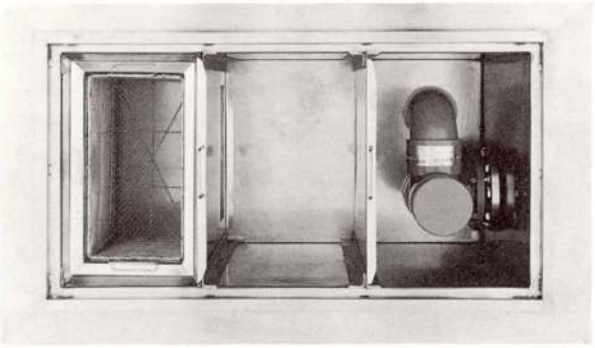
厨房の汚水に含まれているグリース分は配管設備を著しく損傷します。したがって損傷を防ぐには配管設備の手前において阻集するのが配管設備を長く使用するコツです。SK式グリーストラップはこのグリースを阻集するばかりでなくトラップ・マンホール・受カゴ・スライド板・排水管（フレキシブルジョイント）に至るまでセットになっていますので突貫工事にも充分間に合います。又、従来の鋳鉄製・鉄筋防水モルタル製のものは重量的にみても取付日数がかかり大幅な人件費が必要ですが、SK式グリーストラップは軽量で簡単に取り付けができ、据付費が大幅に低減されます。又、残渣は受カゴで取り除き、トラップ本体はスライド板により仕切ってあります。これを取り外す事により清掃が簡単にできます。特に各部品が腐食しないので大変衛生的です。又、サイズが豊富にありますからお店の大きさ、種類に合わせて無駄なく選定でき大変経済的です。

弊社は日本で初めてグリーストラップの規格化を図り既に全国的に発売致しております。

これらの製品は設計事務所・建設業社・設備業社を始め各方面から多くの引合を頂き、弊社もたゆまぬ研究を続けております。又、規格品の在庫も多く持ち皆様の需要にお答えしております。尚、規格外の製作も致しております。

SK-100S標準型





SK型：1層式(桝)／2層式／3層式／床置式／土間用

●実用新案特許　第1196331号

《おもな納入実績》

札幌全日空ホテル／札幌グランドホテル／厚別副都心商業センター／青森グランドホテル／仙台ターミナルビル／新潟新堀地下街／新東京国際空港／筑波学園都市／津田沼北口再開発／東武デパート／迎賓館／第一ホテル／三井物産大手町ビル／安田火災海上新本社ビル／野村不動産新宿ビル／新宿センタービル／池袋サンシャインシティ／西武デパート浜松／豊橋ファミリープラザ／名古屋ターミナルビル／千里レジャーセンター／吉本ダイヤビル／阪急グランドビル／大阪駅前市街地改造ビル／国鉄吹田駅前市街市再開発ビル／三宮市街地再開発ビルA棟／広島ステーションビル／鳥取一番館／高松ワシントンホテル／徳島大学／平和会館新博都ビル／西日本新聞渡辺ビル／福岡天神地下街／沖縄西武オリオンホテル／他

《営業品目》

SK式グリーストラップ／SK式ガソリントラップ／雨排水トラップ／散水栓ボックス／バルブボックス／他ステンレス製品加工全般

設　計・製　作・販　売

※カタログ・資料ご希望の方は大阪営業所へご一報下さい。

SHIMODA

製造発売元

下田機工株式会社

大阪営業所／〒532 大阪市淀川区西中島4－5－9(浅井ビル)　☎ 06 (304) 5481代
本　　社／〒130 東京都墨田区東駒形4－6－9(和幸ビル)

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

錆びない！ われない！ 燃えない！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスーパーメタル(SPM)
- オリエンタルメタル(OPM)
- オリエンタルスチールライト(STL)
- オリエンタルサンセラム(SS)

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・スチールシングル・其の他

※ カタログを御請求下さい


オリエンタル被覆鋼板製防音壁施工

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り3－26　松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
営業本部　〒660　尼崎市長洲稲川新田44　電話大阪(06)488－1081(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業．株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越5丁目6番32号　電話蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北

建築に新しい時代を拓く内・外壁材！

旭化成建材 ヘーベルライト®

- 年中快適
- クラックが入らない
- 耐火パネル
- 工期の短縮化


◀ヘーベルライト使用木造住宅
(大阪府高石市・G邸)

最高の技術が生みだした
新しい素材

ヘーベル

ZONOLITE

■吸音吹付化粧材
耐火・防火・断熱・結露防止

ゾノライト

プラスター(PA)
モルタル(MA)
コンクリート(EA)
モノコート(MK)

(法定防火材・建設省認定・基材同等第0003号)

(株)新興建材工業所

〒550 大阪市西区南堀江通4－32－11　☎(06)538－2951(代)
責任施工　工事部　直通☎(06)541－5755
(建設業　大阪府知事許可《般－52》第20210号)

明石支店　〒673　明石市西新町2-12-14　☎078(922)0007(代)
高槻営業所　〒569　高槻市宮田町2-1-29　☎0726(96)2889
中国営業所　〒742　柳井市宮本浜(柳井総合卸センター内)
☎08202(2)5211



作業停電にご協力を・・・・

電気をいつも安心してお使いいただくためには、古くなった配電線や変圧器などの改修、増強工事などが必要です。

この場合、やむをえず作業のための停電をさせていただくことがあります。停電範囲とか時間をできるだけ少なくするよう努力しています。

たいへんご迷惑をおかけしますが、停電をなくすための作業停電に、一層のご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。

なお、停電する地域のみなさま方には、広報車、ビラ、ポスター、有線放送などで前もってお知らせいたします。

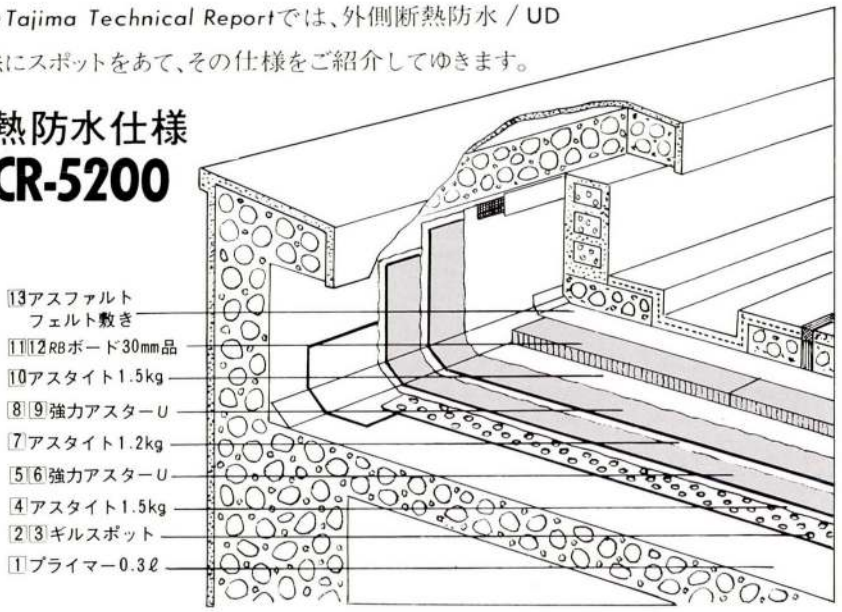
停電をなくすための停電

TAJIMA ROOfING TECHNICAL REPORT

歩行用屋上防水—外側断熱防水／UD工法

欧米で常識化されている外側断熱工法。日本でも田島ルーフィングが採用して、すでに10年以上、経過しました。最近、省エネルギー、生活環境の向上、建物の耐久性などの諸点からこの工法への理解がようやく深まってきました。日本で外側断熱が常識化される日も近いでしょう。今回のTajima Technical Reportでは、外側断熱防水／UD工法にスポットをあて、その仕様をご紹介してゆきます。

断熱防水仕様 PCR-5200



UD工法では、断熱材自体が雨水の影響をうけるため、吸水性が少なくしかも熱絶縁の高い断熱材が要求されます。この目的にそって開発されたのがRBボードです。RBボードの素材は気泡サイズをより小さくした硬質ポリスチレンフォームの特殊品です。両面にはスキン層がついています。その主な特長は——

●断熱効果が大きい。●吸水が少ない。●透湿抵抗が高い。●機械的強度が大きい。

まず、外側断熱防水／UD工法の特長。●スラブの温度変化が小さくなるので、ひびわれや動きが少なくなり、スラブに接続する壁や梁への応力も緩和され構造的にも安定する。●内部結露を防止する。●防水層は熱的に安定するとともに直接、外的影響を受けないので耐久性が増す。●外力による機械的損傷を直接うけない。●内部の直仕上げが容易である。

強力アスターUは、強力アスロンUとともに東西アス協組仕様の中核材として開発された不織布ルーフィング。良質なアスファルトがたっぷりと含浸被覆されています。従って防水性能は抜群。従来のメンブレン工法の機能を生かしながら工期短縮がはかられます。建築構造の多様化に対応し、工事省力化への移行を行った理想的な不織布ルーフィング、**強力アスターU**。その性能はストレッチルーフィングのJIS規格を超えています。●剛性が高く繰り返し応力に耐える。●腐朽変質するおそれがなく長期間の防水効果を保証する。●低温でももろくならず寒冷地の防水にも好適。●形状が変化せず安定した防水層を形成する。

断熱防水仕様 PCR-5200

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
PCR-5200 RBボード	プライマー 0.3ℓ	ギルスポット / 立上り隅 ガムロンタック30	アスタイト 1.5kg	強力アスターU		アスタイト 1.2kg	強力アスターU		アスタイト 1.5kg 刷毛塗	RBボード 30mm品		アスファルトフェルト 敷き

このほかPCR-5150・PIR-5250があります。

以下のチェックポイントを参照に断熱防水計画をお考えください。

●**下地**〈下地ごしらえ〉〈下地の種類〉〈ドレイン〉〈勾配〉〈排水〉

●**防水押え**〈伸縮目地〉〈立上り押え〉〈防水層保護材〉〈押えコンクリート〉

●**納まり**〈立上りの高さ〉〈パラペット〉〈笠木〉〈手摺〉

●**断熱性能**

●**仕様の選定**〈基本的条件〉

詳細は「アスファルト防水・仕様書」をご覧ください。
なお、この仕様書は、ご希望の方に差し上げています。企画係宛へお申し込みください。

東西アスファルト事業協同組合
田島ルーフィング株式会社
大阪：大阪市西区京町堀1—10—5　電話（06）443—0431
東京：東京都千代田区岩本町3—11—13　電話（03）862—8531
札幌（011）221—4014　広島（0822）46—8625
仙台（0222）61—3628　高松（0878）34—5362
名古屋（052）562—0501　福岡（092）712—0800

建築と社会 ARCHITECTURE & SOCIETY 第60輯第3号
昭和54年3月25日発行（毎月1回25日発行）　昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3—37 電話大阪06（231）9648・9649・9640 振替口座大阪三九九七五番
（表紙デザイン・永田祐三）
定価六五〇円